

論文執筆支援シリーズ I

# ドイツ語コーパスハンドブック 2008

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」  
東京外国語大学大学院地域文化研究科  
2008



成田節 監修  
時田伊津子／カン・ミンギョン 編

## はしがき

この「ドイツ語コーパスハンドブック 2008」は、東京外国語大学のグローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」におけるコーパス言語学班・ドイツ語コーパス言語学研究グループが2007年度に行った調査・研究活動の一部をまとめたものです。

ドイツ語のテキストコーパスに関しては、マンハイムのドイツ語研究所 (IDS = Institut für Deutsche Sprache) で公開しているものがよく知られていて、COSMAS II による書き言葉コーパスの検索は、日本でも多くのドイツ語学研究者が利用しているものと思われます。

私たちもこれまでに COSMAS II をしばしば利用してきましたが、考えてみたら、COSMAS II で検索できる膨大な量のコーパスの構成も、検索システムの極めて多様な機能も、これまであまりきちんと調べたことはありませんでした（それでも、当面必要な用例は抽出できてしまうのです）。

そこで、この機会に、まずは IDS で公開しているコーパスの構成と COSMAS II について基礎から調べてまとめてみようということになりました。もちろん、ドイツ語研究という目的があつてのコーパス検索であり、検索方法そのものをマスターすること自体が目的ではありません。しかし、単なる無知のために、検索の際に無駄な労力を費やしているかもしれませぬ。また、コーパスの構成に無自覚なために、「標準的」なドイツ語を分析しているつもりで、実は地域やジャンルの点で偏った用例を分析していたということもあるかもしれませぬ。このような意味で、これまでの足元を見直すとともに、今後のドイツ語研究のためのより確固たる土台を築くのが、このハンドブックをまとめる動機の一つでした。本ハンドブックの第1章は IDS のコーパスについて、時田（伊藤）伊津子を中心にまとめました。

さて、このような動機でこのグループが活動を始めた昨夏の最初の集まりで、IDS のコーパス以外に、ドイツ語圏ではどこにどのようなコーパスおよび検索システムがあるかについても、この機会に調査してみようということになりました。インターネットで調査を始めてしばらくして、ベルリン・ブランデンブルク科学アカデミー (BBAW = Berlin-Brandenburgische Akademie der Wissenschaften) の「20世紀のドイツ語デジタル辞典プロジェクト」(DWDS = das Digitale Wörterbuch der deutschen Sprache des 20. Jahrhunderts) が目に留まり、IDS に比べるとコーパスの量はコンパクトで、検索機能も異なりますが、使いやすさとコーパスの代表性という点で、IDS のコーパスとは違った魅力を感じました。そこで、この DWDS について調査し、まとめたものが本ハンドブックの

第2章です。第2章は主としてカン・ミンギョンが担当しました。

なお、ベルリンの DWDS の開発チームと協議した結果、共同で DWDS 検索用の日本語版プラットフォームを作成することになりました。2008 年春ごろには機能は一部制限されますが、基本的な検索は日本語でできるようになる予定です (<http://www.dwds.de/jp>)。

本ハンドブックの付録として、ドイツで公開されている主なコーパス・検索サイトについて、時田伊津子とカン・ミンギョンがまとめたリストをつけました。今年度の活動では、IDS の COSMAS II と BBAW の DWDS の調査とまとめに作業の大部分を費やしたので、このリストはあくまでも暫定的なものです。今後、機会があればさらに充実していきたいと考えています。

本ハンドブックはタイトルの「2008」に見られるように、2007 年度末（実質的には 2008 年 2 月半ばまで）という期限付きでまとめたもので、完璧とは程遠いものと自覚しています。今後、可能ならば内容の補足・改訂をしていきたいと考えています。お気づきの点などをお知らせいただければ幸いです。

2008 年 3 月 20 日

東京外国語大学グローバル COE プログラム  
「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」コーパス言語学班  
ドイツ語コーパス言語学研究グループ代表  
成田節

# 目 次

はしがき .....	i
<b>第 1 章 IDS のコーパス .....</b>	<b>1</b>
<b>第 1 節 IDSコーパスの概要 .....</b>	<b>1</b>
0. はじめに.....	1
1. IDS Mannheim のプロジェクト .....	1
2. COSMAS II .....	2
3. COSMAS II で利用できるコーパス .....	7
4. 現代書き言葉コーパス .....	12
5. 付録.....	14
<b>第 2 節 COSMAS II Client クイックマニュアル .....</b>	<b>23</b>
0. はじめに.....	23
1. 準備する.....	24
2. 検索する.....	26
3. 検索結果を表示する .....	28
4. 検索結果をエクスポートする .....	30
<b>第 3 節 COSMAS II Client 使用マニュアル .....</b>	<b>35</b>
0. はじめに.....	35
1. 利用環境の整備 .....	36
2. 検索手順.....	47
<b>第 4 節 COSMAS II 検索具体例 .....</b>	<b>77</b>
<b>第 2 章 BBAW のコーパス .....</b>	<b>85</b>
<b>第 1 節 DWDS の概要 .....</b>	<b>85</b>
0. はじめに.....	85
1. コーパスの構成 .....	86
2. コーパスの特徴 .....	87
3. 利用条件および利用上の制約 .....	89
4. 付録.....	90

第2節 DWDS マニュアル.....	99
0. はじめに.....	99
1. ユーザー登録とログイン.....	99
2. 検索語・検索式の入力.....	101
3. 検索に関する様々な機能.....	103
第3節 DWDS 検索具体例.....	113
<u>巻末付録</u> .....	125
参考文献.....	127

# 第1章 IDSのコーパス

- 第1節 IDS コーパス概要
- 第2節 COSMAS II Client クイックマニュアル
- 第3節 COSMAS II Client 使用マニュアル
- 第4節 COSMAS II 検索具体例

## 第1節 IDSコーパス概要

### 0. はじめに

本節では、IDSのコーパス検索システムであるCOSMAS IIと、このプログラムに収録されているコーパスについての概要を述べる。COSMAS IIの具体的な使用方法については、次節以降に提示する。

- [1. IDS Mannheimのプロジェクト](#)
- [2. COSMAS II](#)
- [3. COSMAS IIで利用できるコーパス](#)
- [4. 現代書き言葉コーパス](#)
- [5. 付録](#)

### 1. IDS Mannheimのプロジェクト

<http://www.ids-mannheim.de/projekte/laufend.html>

マンハイムのドイツ語研究所 (Institut für Deutsche Sprache, Mannheim; IDS) は、さまざまなプロジェクトを進めており、コーパス言語学に関しては、書き言葉コーパス、話し言葉コーパス、歴史コーパスの編纂が行われており、コーパス調査分析システム (COSMAS II) の開発やコーパス分析・開発メソッドの研究が進められている。また、その他、コーパスに基づく語彙情報システム (elexiko) などのプロジェクトも設置されている。

プロジェクトは、それぞれ異なる部門 (Abteilungen) が担当している。例えば、書き言葉コーパスのプロジェクトは語彙 (Lexik) 部門のうちコーパス言語学班 (Programmbereich Korpuslinguistik) が、歴史コーパスのプロジェクトは辞書学班 (Programmbereich Lexikologie und Lexikografie) が行っており、話し言葉コーパスのプロジェクトは語用論 (Pragmatik) 部門が行っている。また、COSMAS II は中央情報処理サービス (Zentrale DV-Dienste) の担当である。

このように担当部署は異なるが、各プロジェクトの関連は密接であり、例えば書き言葉コーパスも歴史コーパスもCOSMAS IIを介して利用することができる。

## 2. COSMAS II

### 2.1 COSMAS IIとは <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/>

COSMAS IIとは、IDSが開発しているコーパス調査分析システム（Corpus Search, Management and Analysis System）の第二世代である。2007年8月現在、OSに依存せずWeb上で利用できるCOSMAS II WebのVersion 1.2.1と、MS-Windowsにインストールしてプログラムを利用するCOSMAS II ClientのVersion 3.6.1が公開されている。<sup>1</sup> COSMAS IIの運営やプログラムはIDSの中央情報処理サービスが担当しており、プラットフォームの構想やデザインはコーパス言語学班の協力の下に行われている。COSMAS IIで利用できるコーパスは、書き言葉コーパス、歴史コーパス、形態統語的タグ付きコーパスなどがある。詳細は3.2に提示する。

### 2.2 利用条件について

#### 2.2.1 利用条件 <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/registrierung/home.html>

学術上の目的のみで利用し、商業的な目的で用いないことが利用条件として挙げられている。これを承認し登録を行うと、利用が許可される。

#### 2.2.2 登録方法 <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/registrierung/home.html>

COSMAS II Webと、Clientのいずれを使用する場合も登録が必要である。下記サイトで利用条件を承認の上、氏名、電子アドレス、電話番号、国などを入力し、ユーザーIDとパスワードを指定し、登録すると、電子メールに返信があり、そこで登録が承認される。このユーザーID、パスワードは、COSMAS II Web、Clientの両方に共通して利用できる。

また、IDSのオンライン出版の言語学論文集（Online publizierte Arbeiten zur Linguistik; OPAL）にも有効である。

[\(http://www.ids-mannheim.de/pub/laufend/opal/\)](http://www.ids-mannheim.de/pub/laufend/opal/)

### 2.3 利用方法の概要

#### 2.3.1 COSMAS II Web

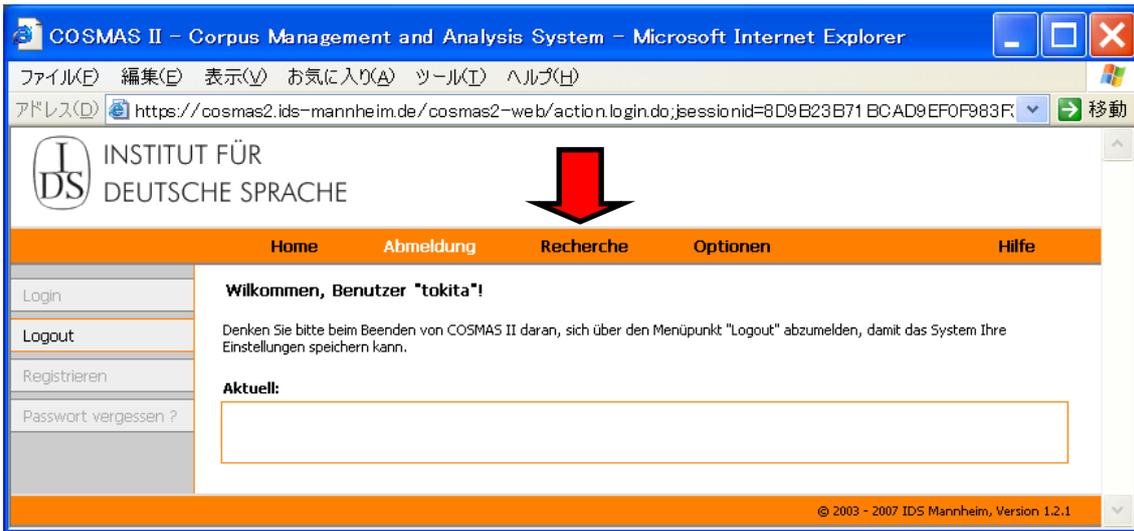
①以下のサイトでログインする。

<https://cosmas2.ids-mannheim.de/cosmas2-web/menu.registration.login.do>

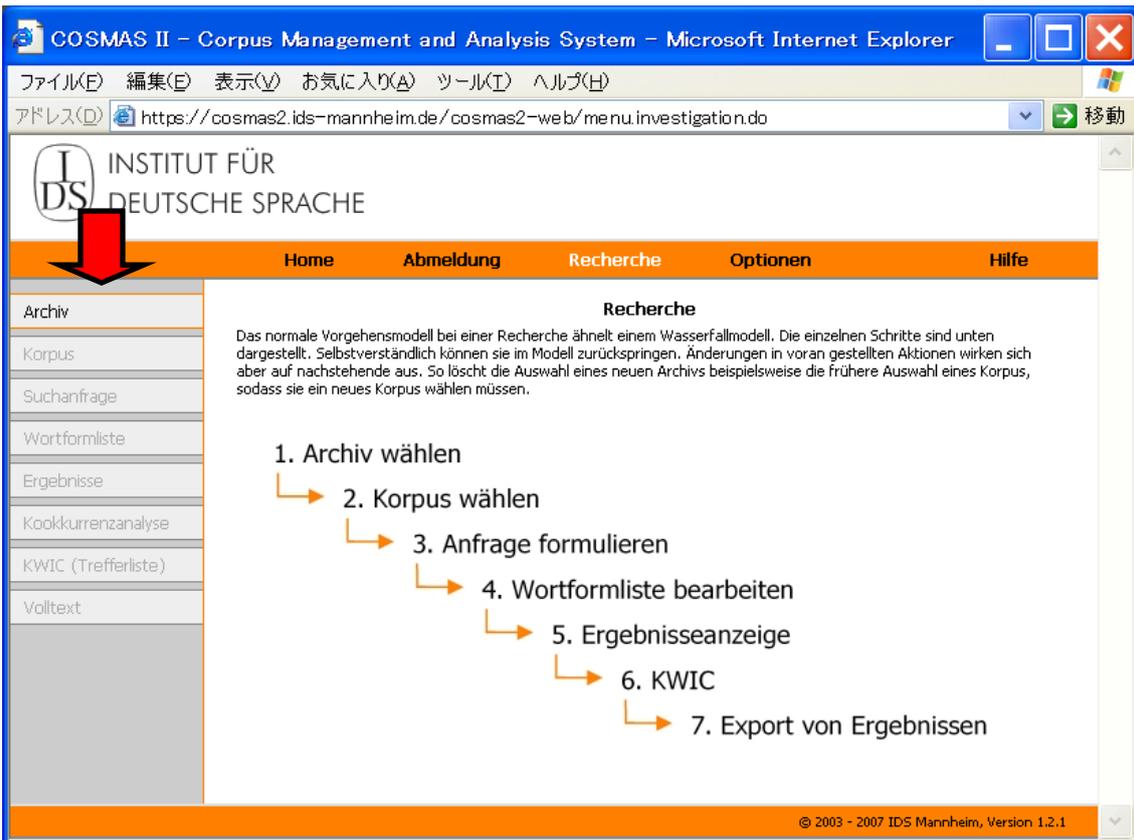
②ログインができ、以下のようなページに移ったら、上部のバーにある Recherche をクリックする。

---

<sup>1</sup> なお、2008年3月5日付けで、COSMAS II Client Version 3.6.1は、COSMAS II win Version 3.7としてバージョンアップされた。



③提示してあるチャートに従って、検索条件を指定していく。その際、左端にあるメニューの項目を順にクリックして、設定を進めていく。



参考：チャートの表示

1. アーカイブを選ぶ
2. コーパスを選ぶ

3. 検索式を入力する
4. 語形リストを処理する
5. 結果表示
6. KWIC
7. 結果のエクスポート

### 2.3.2 COSMAS II Client

①以下のサイトでプログラムをダウンロードする。

<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/#download>



- ②ダウンロードしたプログラムを、インストールした後に開き、ログインする。
- ③アーカイブを選ぶ。
- ④コーパスを選んだ上で、検索画面に検索式を入力する。
- ⑤語形リストを処理する
- ⑥結果を表示する。
- ⑦必要に応じて、KWIC 表示や結果エクスポートを行う。

なお、詳しい利用方法は、1章3節に示す。

### 2.3.3 COSMAS II Web Version 1.2.1 と Client 3.6.1 との利用方法の相違

#### 1) プログラムの利用環境

##### Web

- ・ Web 上で利用可能

##### Client

- ・ダウンロードが必要。
- ・パソコンがイントラネットに接続している際や、ファイヤーウォールを経由してインターネットに接続する際は、利用のための設定が必要（ネットワークの前提（Netzwerk-Voraussetzungen）を参照）。

(<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/#download>)

## 2) 検索手順

### Web

- ・全てが Internet Explorer の一画面で設定される（ダイアログボックスなどは現れない）。
- ・手順に従って順に進めなくてはならない。

### Client

- ・手順に従って、オプションボタンが表示され、オプションは専用画面で設定可。
- ・必要に応じて詳細設定することで、手順を省略できる。

例) 書き言葉アーカイブを選択すると、自動的に書き言葉コーパス全体を検索対象のコーパスにするような設定ができる。

## 3) 検索式

### Web

- ・コマンド入力画面によって検索語や検索式を入力する。

### Client

- ・コマンド入力画面も、検索式パレットも用いることができる
- ・コマンド入力画面では、入力画面に検索語や検索式を入力する。

- ・検索式パレットでは、グラフィックを用いて式が設定できる。左の欄にある「\$ UND」「\$ SUCHWORT」などのボタンをドラッグして中央にコピーし、ダブルクリックによって画面を開き、検索語を入力すると検索式の代わりになる。



#### 4) 検索結果の提示

##### Web

- Ergebnisse (結果) ボタンを押すと、すぐに結果が表示される
- Kookkurenzanalyse (共起分析) ボタンも明示され、すぐに選択できる。
- Documentansicht (ドキュメント表示) を必ず経由する。
- KWIC 画面でアルファベット順、年代順などのソートができない。
- Volltext (全文表示) が該当事例全てについて一覧表示される。

##### Client

- 結果を表すには、基本画面右側に現れた表示をクリックする。  
(オプション設定により検索後すぐに結果を表示できる。)
- Kookkurenzanalyse (共起分析) は、この表示を右クリックして表示する。
- KWIC 画面でアルファベット順、年代順のソートができる。その際、エクスポートでも KWIC と事例について、アルファベット順、あるいは年代順が選択可能になる。
- KWIC 画面での事例選択が、事例番号で指定できる。
- Volltext (全文表示) が画面では事例毎に表示される。

#### 5) ウムラウト表示

##### Web

- 問題なし

##### Client

- 日本語 Windows の場合、多くの画面で不可能。但し、エクスポート後のファイルでは可能。

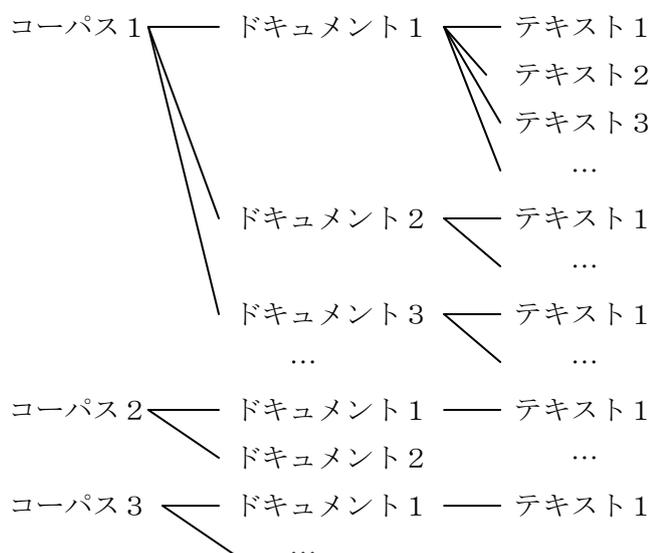
### 3. COSMAS IIで利用できるコーパス

#### 3.1 コーパスの構成 <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/referenz/korpora.html>

COSMAS IIでは、多数の出版社等から提供されたテキストがコーパスとして用いられている。COSMAS IIには、現在、31億を超える語数（本にすると約780万ページ）が収録されている。なお、コーパスリストは[5.1 付録](#)に提示する。

IDS の定義においては、各「コーパス」は「ドキュメント」から構成され、各「ドキュメント」は「テキスト」から構成される。

コーパスの構造：



例えば、

トーマスマンコーパス(thm)は 14 のドキュメント (『ブッデンブローック家の人々』, 『選ばれし人』, 『小説集』, 『ファウスト博士』, 『大公殿下』 など) から構成される。ドキュメント『小説集』(THM/AME)は、『散文スケッチ「ヴィジョン」』(THM/AME.00001)など、32 のテキストから構成される。

また、コーパス t97 は tageszeitung の 12 のドキュメントから構成され、それぞれのドキュメントが 1997 年の一ヶ月分のテキストを含む。ドキュメント T97/JUL は 4858 のテキストから構成され、それぞれが 1997 年 7 月の一記事分である。例えば、1997 年 7 月 31 日の「Engel-Durchsuchung」(T97/JUL.31287)という記事が一つのテキストである。

#### 3.2 アーカイブ <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/referenz/archive.html>

COSMAS II に利用できる各コーパスは「アーカイブ」(Archiv) に分類されている。コーパス利用は、アーカイブ毎に行われ、最大の場合、特定のアーカイブのコーパス全部を検索対象にすることができる。複数のアーカイブを対象に検索を行う際は、1つのアーカイブを閉じ、次のアーカイブを開く必要がある。

アーカイブの分類は、構成や作業状態、フォーマットなど、コーパスの基本的な特徴に基づいている。

COSMAS II の約 190 のコーパスは、次のアーカイブに分類されている。

2008 年 1 月 16 日現在

略号	アーカイブ名	アクセス種類	語数	テキスト数	注
W	Archiv der geschriebenen Korpora (書き言葉コーパスアーカイブ)	総数	1,815,048,058	6,974,719	
		公開数	1,085,360,363	4,505,908	
W-ÜBRIG	Archiv der aussortierten geschriebenen Korpora (元書き言葉コーパスアーカイブ)	総数	42,202,654	224,542	以前 W に収録
		公開数	42,202,654	224,542	
N	Archiv der Neuakquisitionen (最新取得コーパスアーカイブ)	総数	163,811,619	807,415	
		公開数	107,934,423	571,125	
WK-PH	Wendekorpora, phasengegliedert (ヴェンデコーパス, フレーズ区切り)	総数	3,712,968	3,187	W に収録 <sup>1</sup>
		公開数	3,712,968	3,187	
HIK	Archiv der historischen Korpora (歴史コーパスアーカイブ)	総数	6,302,644	1,559	
		公開数	2,772,974	1,148	
FNZ	Archiv der frühen Nachkriegszeit (戦後初期アーカイブ)	非公開	1,742,558	8,086	
TAGGED	Archiv der morph. annotiert. Korpora (形態統語的タグ付きコーパスアーカイブ)	総数	26,399,460	102,057	W に収録 <sup>1</sup>
		公開数	18,290,591	89,018	
SZ	Archiv der Korpora der Süddeutschen Zeitung, eingeschränkte Zugriffsrechte. (南ドイツ新聞コーパスアーカイブ, アクセス権制限有)	総数	156,160,922	456,628	

	合計：	総数	2,209,925,357	8,570,107	複数回 <sup>2</sup>
		公開数	1,260,273,973	5,394,928	

<sup>1</sup>アーカイブ W にも収録

<sup>2</sup>複数回数えられているテキストを含む

アーカイブ W については、4.を参照。

アーカイブ W-ÜBRIG には、以前、書き言葉コーパスのアーカイブ (W) に収録されていたコーパスが集められている。

アーカイブ N には、継続的に最新のテキストが集められている。このテキスト資料は適宜、適切なアーカイブに移されて、その際、N は空になる。

アーカイブ TAGGED は、MECOLB-Minimal Tagset に基づき、形態・統語的にタグ付けされたコーパスである。利用の際には、あるプログラム (英語では **Tagger**) によって機械的に品詞をタグ付けされている点を留意する必要がある。大規模なテキストをタグ付けするには、プログラムによる自動化された作業が不可欠であるが、このような作業では誤ったタグが付けられる可能性もある。アーカイブ TAGGED の現在のバージョンでは、大幅な手間がかかるため、人の手による修正は行われていない。利用の際には、現在のタグの質が調査にとって十分であるかを各自で判断する必要がある。近い将来、このアーカイブは新しい処理方法で改めてタグ付けされ、大幅に規模を拡大することになっている。

### 3.3 ヴァーチャルコーパス <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/referenz/virtuell.html>

COSMAS II を用いた調査は、常に特定のコーパスに対して行われる。対象コーパスは既存のヴァーチャルコーパスから選択することも可能であり、また、ユーザー独自のヴァーチャルコーパスを設定することもできる。

ヴァーチャルコーパスとは、COSMAS II の特定のアーカイブから任意のドキュメントを選択したもので、どのアーカイブの、どのドキュメントを調査するのかを決定するものである。最小ではドキュメント一つ、最大では一つのアーカイブの全てのドキュメントを含むものが対象となる。

COSMAS II では、各アーカイブのすべてのテキストを対象としたヴァーチャルコーパスと並んで、各アーカイブにいくつかのヴァーチャルコーパスを定義している。このような既定のヴァーチャルコーパスは (利用者アクセス権を考慮した上で) 公開されている。

また、COSMAS ユーザーも独自のヴァーチャルコーパスが作成でき、作成したコーパスは、「利用者 (プライベート) ヴァーチャルコーパス」として、保存、選択、検索が可能である。

現在、COSMAS III には 72 のヴァーチャルコーパスが既定されている。[付録 5.2](#)のリストを参照。

3.4 タグセット <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/referenz/tagset.html>

[http://www.bubenhofer.com/korpuslinguistik/kurs/index.php?id=cosmas\\_tagset.html](http://www.bubenhofer.com/korpuslinguistik/kurs/index.php?id=cosmas_tagset.html)

形態統語的タグ付きコーパスのアーカイブ (TAGGED) を利用する際は, 検索語の指定の代わりに, 以下の品詞や下位カテゴリーを選択することでも, 事例の検索ができる, MECOLB-Minimal Tagsetについての情報は, [LDV-INFO](#) 8 のCloeren (1996)<sup>2</sup>に詳しい。

品詞		選択カテゴリー
Adjektiv	形容詞	Kasus (格) Numerus (数) Genus (性) Komparation (比較級・最上級) Form (形態)
Adverb	副詞	Komparation (比較級・最上級) Funktion (機能)
Artikel	冠詞	Form (形態) Kasus (格) Numerus (数) Genus (性)
Konjunktion	接続詞	Typ (タイプ)
Numerale	数詞	Typ (タイプ) Kasus (格) Numerus (数) Genus (性)
Präposition		Position (位置) Kasus (格) Artikel-Verschmelzung (定冠詞融合)
Pronomen	代名詞	Art (種類) Kasus (格) Numerus (数)

<sup>2</sup> Jan Cloeren (1996): „Morphosyntaktische Annotationen in einem mehrsprachigen Umfeld. Der MECOLB-Minimal Tagset und seine Anwendung auf das Deutsche“. In: LDV-INFO 8. Informationsschrift der Arbeitsstelle Linguistische Datenverarbeitung. Hrsg. vom Institut für deutsche Sprache. Redaktion: Irmtraud Jüttner, Robert Neumann. 171 + 14 S. - Mannheim: 1996.

		Genus (性) Person (人称)
Substantiv	名詞	Unterklasse (下位分類) Kasus (格) Numerus (数) Genus (性)
Verb	動詞	Genus Verbi (態) Tempus (時制) Modus (法) Numerus (数) Genus (性) Person (人称)
Verb (Hilfs-)	助動詞	Numerus (数) Genus (性) Person (人称)
Verb (-präfix)	動詞前綴り	

## 4. 現代書き言葉コーパス

### 4.1 概要 <http://www.ids-mannheim.de/kl/projekte/korpora/>

IDS の現代書き言葉コーパス (Korpora geschriebener Gegenwartssprache) は、現代ドイツ語の書き言葉のテキストによる電子コーパスを、言語学的な視点から収集した世界最大の言語学的コレクションであり、2008年2月現在、32億語以上を収録している。

対象となっているのは、文学作品、学術書、一般向け学術書、新聞記事、その他様々なテキストであり、常に最新のテキストが追加されている。

このコーパスの編纂においては、規模の大きさ、可変性、質、最新性が追求されており、利用の際には、検索結果に代表性を求めるか、あるいは特殊な目的の結果を収集するかなど応じて、ヴァーチャルコーパスの構成が可能になっている。

### 4.2 コーパスアーカイブ <http://www.ids-mannheim.de/kl/projekte/korpora/archiv.html>

#### 【規模】

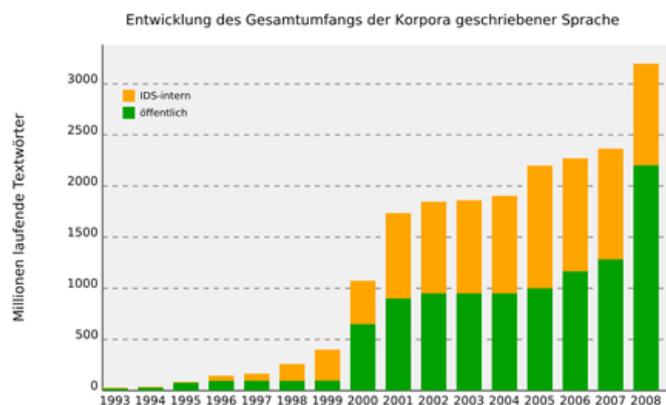
IDS は 1960 年代に電子コーパスの構築を始めた。コーパスの規模は 1992 年の 2800 万語から 2008 年の 321 億万語 (400 語/頁の換算で、800 万頁) にまで拡大した。

語数の推移はグラフに示すとおりである。(グラフの緑色部分は公開コーパスの語数、オレンジ色の部分は IDS 内部公開コーパスの語数を 100 万語単位で表している。)

#### 【アーカイブ化されたコーパス】

アーカイブ化されたコーパスの一部は、著作権保護のために一般に公開されておらず、IDS 内部でのみアクセス可能となっている。IDS のコーパスは商業的な利用ではなく、学術目的での利用しか認められていない。

公開されている書き言葉コーパスアーカイブに収録されているコーパスのリストは、[付録 5.3](#)に提示する。



### 4.3 形態統語的タグ付け (Morphosyntaktische Annotationen)

<http://www.ids-mannheim.de/kl/projekte/korpora/annotationen.html>

IDS コーパスの一部は、1990 年代半ばに、機械的に形態統語的なタグ付けをおこなった。この作業は 1996 年から COSMAS II システムの完成までの間、中断されている。すでにタ

タグ付けされたコーパス（約 2600 万語）は、1998 年に COSMAS I システム上で公開された。このことによって、文法的指標（Merkmal）を用いて文法関係を調査することができるようになった。

例えば、次のような検索が可能である。

「zu 不定詞」

die Chance zu nutzen

Schulden beglichen zu haben

「未来形，未来完了」

... später werde ich dir alles erzählen

... wird die Umstellung am 14. April abgeschlossen sein ...

「最上級 2 格の形容詞」

einer der beliebtesten deutschen Filmstars

nach Ansicht höchster Stellen

「1 人称複数（話法）助動詞

wir müssen / können / sollen / konnten / haben / wollen / hatten / werden / könnten / sollten / hätten ...

COSMAS II のシステムが完成し、運用が安定した後、タグ付け作業が再開される見通しである。その際には、書き言葉コーパスすべてに、体系的に形態統語的タグを付けることになっている。

## 5. 付録

### 5.1 COSMAS IIコーパスリスト

<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/referenz/korpora.html>

(以下のリストの「規模」は、100万語の単位。)

(2008年1月11日現在)

略号	コーパス名	規模
a97 - a01	St. Galler Tagblatt 1997 - 2001	99.86
b97 - b05	Berliner Zeitung, Aug 1997 - Jul 2005	185.2
bih	Herausgebertexte zum Korpus bio	0.28
bio	Biografische Literatur (2006年5月追加)	2.0
bzk	Bonner Zeitungskorpus	3.62
c93 - c98	Computer Zeitung 1993 - 1998	8.0
div (以前の loz-div)	Belletristik des 20. & 21. Jahrhunderts; diverse Schriftsteller (2006年7月追加)	3.1
dkg	Fachsprachen-Korpus 2: Gentechnologie	0.91
dpa06	Meldungen der Deutschen Presse-Agentur, Jan 2006 – Jul 2007	52.8
dsk	Dialogstrukturenkorpus (話し言葉データバンク経由でのみ利用可能)	0.25
e96 - e00	Züricher Tagesanzeiger 1996 - 2000	61.27
f93-f05	Frankfurter Allgemeine Zeitung: 93年と95年: 1年分, 97年以後: 奇数年, 奇数月 (非公開)	140.0
fko	Freiburger Korpus (話し言葉データバンク経由でのみ利用可能)	0.78
fsp	Fachsprachen-Korpus 1 (2006年5月追加)	0.9
goe	Goethe-Korpus	1.65
gr1	Grammatik-Korpus	0.27
gri	Brüder Grimm: Kinder- u. Hausmärchen; Kinderlegenden; Dt. Sagen	0.43
h85 - h88	Handbuch-Korpora 1985 – 1988	12.69
hi1	Historisches Korpus 1	1.34
hi2	Historisches Korpus 2	2.07
hmp05-hmp06	Hamburger Morgenpost, Apr 2005 - Jul 2007	15.1
i96 - i00	Tiroler Tageszeitung 1996 - 2000	50.41
iko	Interview-Korpus	0.67
k96 - k00	Kleine Zeitung 1996 - 2000	65.87
l97 - l99	Berliner Morgenpost 1997 - 1999	21.32

lim	LIMAS-Korpus	1.23
lim-TAG	LIMAS-Korpus, 形態統語的タグ付き	1.23
loz-div	div を参照	
loz-hes	Belletristik des 20. Jahrhunderts; Stefan Heym	0.34
loz-les	Belletristik des 20. Jahrhunderts; Siegfried Lenz	1.98
loz-wam	Belletristik des 20. Jahrhunderts; Martin Walser	0.7
meg	Korpus Marx-Engels-Gesamtausgabe (選択されたテキスト)	1.73
mew	Korpus Marx-Engels-Werke (選択されたテキスト)	0.96
mk1	Mannheimer Korpus 1	2.57
mk2	Mannheimer Korpus 2	0.41
mld	Korpus Magazin Lufthansa Bordbuch / Deutsch	0.23
m89-m05	Mannheimer Morgen 1989, 1991, 1994 - 2006	214.4
m91-TAG	Mannheimer Morgen 1991, 形態統語的タグ付き	3.2
m94-TAG	Mannheimer Morgen 1994, 形態統語的タグ付き	2.9
m95-TAG	Mannheimer Morgen 1995, 形態統語的タグ付き	7.4
m96-TAG	Mannheimer Morgen 1996, 形態統語的タグ付き	5.75
mwa	mew の著者注釈	0.19
n91 - n00	Salzburger Nachrichten 1991 - 2000	102.34
o94 - o00	Neue Kronen-Zeitung 1994 - 2000	72.67
p91 - p00	Die Presse 1991 - 2000	101.35
pfe	Pfeffer-Korpus (話し言葉データベース経由でのみ利用可能)	0.68
r97 - r99	Frankfurter Rundschau 1997 -1999	106.46
rei	Reden und Interviews: Reden der Bundestagsfraktion Bündnis 90/DIE GRÜNEN 2002 - 2005 (公開)	1.9
rrhz06 - rhz07	Rhein-Zeitung Jan 2006 - Jul 2007	91.1
s93 - s94	Der Spiegel 1993 - 1994	8.11
s93-TAG	Der Spiegel 1993, 形態統語的タグ付き	4.72
s94-TAG	Der Spiegel 1994, 形態統語的タグ付き	4.47
spk	Spektrumdirekt 1997 - 2006	3.8
t86 - t06	die tageszeitung 1986 - März 2006	323.7
thm	Thomas-Mann-Korpus	4.1
u95 - u99 <sup>1</sup>	Süddeutsche Zeitung 1995 - 1999	156.2
v97 - v00	Vorarlberger Nachrichten 1997 - 2000	40.36
vdi06	VDI Nachrichten (Verein Deutscher Ingenieure) Feb 2006 - Jul 2007	3.0

wkb	Wendekorpus/West	2.1
wkb-ph	Wendekorpus/West, フレーズ句切り	2.1
wkd	Wendekorpus/Ost	1.74
wkd-ph	Wendekorpus/Ost, フレーズ句切り	1.75
wkv	Wendekorpus/Vereinigung	0.12
wpd	Wikipedia Stand 2005 (非公開)	53.3
x96 - x00	Oberösterreichische Nachrichten 1996 - 2000	39.91
z94 - z04	Die Zeit 1994 - 2004	53.9

<sup>1</sup> これらのコーパスには特別な利用条件が設定されており, IDS 内部で一度に1アクセスのみ使用できる。

## 5.2 COSMAS IIのヴァーチャルコーパス

2008年1月11日現在

歴史コーパスアーカイブ「HIK」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注	アクセス
hik-gesamt	hik marx	アーカイブ全て	非公開
hik-öffentilch	marx	アーカイブの 公開部分	公開
hik	hi1 hi2		非公開
hi1	hi1		非公開
hi2	hi2		非公開
meg	meg		公開
mew	mew		公開
mwa	mwa		公開
marx	mew meg mwa		公開

戦後初期アーカイブ「FNZ」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注	アクセス
fnz	fnz	アーカイブ全て	非公開

話し言葉アーカイブ「GESPR」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注
fko	fko	これらのコーパスは, 話し言葉データ バンクを経由しないとアクセスできな い
dsk	dsk	
pfe	pfe	

形態統語的タグ付きコーパスのアーカイブ「TAGGED」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注	アクセス
TAG-gesamt	mm-TAG lim-TAG spiegel-TAG	アーカイブ全て	非公開
TAG-öffentlich	mm-TAG lim-TAG	アーカイブの公開 部分	公開
lim-TAG	lim-TAG	LIMAS-Korpus , タグ付き	公開
mm-TAG	m91-TAG m94-TAG m95-TAG m96-TAG	Mannheimer Morgen, タグ付き	公開
spiegel-TAG	s93-TAG s94-TAG	Der Spiegel, タグ 付き	非公開

句切り付き Wendekorpora アーカイブ「WK-PH」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注
wk-ph	wkb-ph wkd-ph	アーカイブ全て (すべて公開)
wkb-ph	wkb-ph	
wkd-ph	wkd-ph	

書き言葉コーパスアーカイブ「W」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注	アクセス
W-gesamt	bio bih bzt dkg dpa faz fsp iko loz spiegel taz thm wkv zeit W- öffentlich	アーカイブ全て	非公開
W-öffentlich	bio-pub bmp bzk cz frr goe gr1 gri hbk hmp lim loz-pub mk mld mm ozk rei sgt spk vdi wk wpd zta	アーカイブの公開部分	公開
bio	bio	自伝文学	非公開
bio-pub	bio-pub	自伝文学公開部分	公開
bih	bih	自伝文学コーパスの編者の テキスト	非公開
bmp	197 198 199	Berliner Morgenpost	公開
bzt	b97-b06 (2007年9月追加)	Berliner Zeitung	非公開
bzk	bzk	Bonner Zeitungskorpus	公開

cz	c93 c94 c95 c96 c97 c98	Computer Zeitung	公開
dpr	p91 p92 p93 p94 p95 p96 p97 p98 p99 p00	die Presse, オーストリア	公開
dkg	dkg	専門語コーパス 2 : 遺伝子工学	非公開
dpa	dpa06	ドイツ通信社 (dpa) のニュース, 2006 年 1 月~9 月 (2006 年 11 月 16 日追加)	非公開
faz	f93 f95 f97 f99 f01 f03 f05	Frankfurter Allgemeine, 93 年と 95 年 : 1 年分, 97 年以後 : 奇数年, 奇数月 (2006 年 11 月 16 日追加)	非公開
fsp	fsp	専門語コーパス	非公開
frf	r97 r98 r99	Frankfurter Rundschau	公開
goe	goe	Goethe-Korpus	公開
gr1	gr1	Grammatik-Korpus	公開
gri	gri	Grimm-Korpus	公開
hbk	h85 h86 h87 h88	Handbuchkorpora	公開
hmp	hmp05 hmp06	Hamburger Morgenpost, 2005 年 4 月~2006 年 9 月 (2006 年 11 月 16 日追加)	公開
iko	iko	Interview-Korpus	非公開
klz	k96 k97 k98 k99 k00	kleine Zeitung, オーストリア	公開
lim	lim	LIMAS-Korpus	公開
lit	bio bih gr1 goe1 loz-div loz-hes loz-les loz-wam mk1 <sup>1</sup> mk2 <sup>1</sup> thm1	文芸作品, 通俗文学	非公開
lit-pub	bio-pub gr1 goe1 loz-div-pub loz-wam mk1 <sup>1</sup> mk2 <sup>1</sup>	Korpus lit の公開部分	公開
loz	loz-div loz-hes loz-les loz-wam	20, 21 世紀の文芸作品	非公開
loz-pub	loz-div-pub loz-wam	Korpus loz の公開部分	公開
mk1	mk1	Mannheimer Korpus 1	公開
mk2	mk2	Mannheimer Korpus 2	公開
mk	mk1 mk2	Mannheimer Korpora 1 と 2	公開
mld	mld	Magazin Lufthansa Bordbuch	公開

mm	m96 - m06	Mannheimer Morgen, 1996-2006 (2007年9月追加) m89, m91, m94 は W-ÜBRIG へ移動	公開
ndR	bzt hmp mm taz zeit spk fir	大部分が新正書法のコーパス 1999年8月以後	非公開
ndR-pub	hmp mm spk fir	Korpus ndR の公開部分	公開
nkz	o94 o95 o96 o97 o98 o99 o00	Neue Kronen-Zeitung, オーストリア	公開
oon	x96 x97	Oberösterreichische Nachrichten, x98-x00 は W-ÜBRIG へ移動済み	公開
ozk	dpr klz nkz oon sbn ttz van	オーストリアの新聞コーパス	公開
rei	rei	Reden und Interviews-Korpus: Reden der Bundestagsfraktion Bündnis 90/DIE GRÜNEN, 2002-2006	公開
sbn	n91 n92 n93 n94 n95 n96 n97 n98 n99 n00	Salzburger Nachrichten, オーストリア	公開
sgt	a97 a98 a99 a00 a01	St. Galler Tagblatt, スイス	公開
spiegel	s93 s94	Der Spiegel	非公開
spk	spk	spektrumdirekt (2007年9月追加)	公開
taz	t86-t05	die tageszeitung, 2005年3月まで	非公開
thm	thm	Thomas Mann-Korpus	非公開
ttz	i96 i97 i98 i99 i00	Tiroler Tageszeitung, オーストリア	公開
van	v97 v98 v99 v00	Vorarlberger Nachrichten, オーストリア	公開
vdi	vdi06	VDI Nachrichten (ドイツ技術者協会) 2006年2月~9月 (2006年11月16日追加)	公開
wkb	wkb	Wendekorpus/West	公開

wkd	wkd	Wendekorpus/Ost	公開
wkv	wkv	Wendekorpus/Vereinigung	非公開
wk	wkb wkd	Wendekorpus/West+Ost, wkv (壁崩壊後のテキストを含 み, 非公開のコーパス) は 除く	公開
wpd	wpd	Wikipedia, 2005年現在	公開
zeit	z95 z96 z97 z98 z99 z00 z01 z02 z03 z04	Die Zeit, 1999年以後オンラ イン版	非公開
zta	e96 e97 e98 e99 e00	Züricher Tagesanzeiger, スイ ス	公開

最新取得コーパスアーカイブ「N」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャル コーパス	内訳	注	アクセス
N-gesamt	b07 dpa07 hmp07 m07 rhz06-07 t06-07 vdi07	アーカイブ N の全てのコーパス	非公開
N-öffentlich	hmp07 m07 rhz06-07 vdi07	アーカイブ N の全ての公開コーパス	公開
bzt	b07	Berliner Zeitung, 2007年1月～7月	非公開
dpa	dpa07	ドイツ通信社 (dpa) のニュース, 2007 年1月～7月	非公開
hmp	hmp07	Hamburger Morgenpost, 2007年1月～7 月	公開
mm	m07	Mannheimer Morgen, 2007年1月～7月	公開
rhz	rhz06-07	Rhein-Zeitung, 2006年1月～2007年7 月 (2007年9月導入)	公開
taz	t06-t07	die tagenzeitung, 2006年1月～2007年3 月	非公開
vdi06	vdi07	VDI Nachrichten (ドイツ技術者協会ニュ ース) 2007年1月～7月	公開

南ドイツ新聞アーカイブ「SZ」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャルコーパス	内訳	注	アクセス
SZ-gesamt	sz	南ドイツ新聞の全て 1995年～1999年	非公開

元書き言葉コーパスアーカイブ「W-ÜBRIG」のヴァーチャルコーパス

ヴァーチャル コーパス	内訳	注	アクセス
gesamt	mmm oon	W-ÜBRIG の全てのコーパス (全て公開)	公開
mmm	m89 m91 m94	Mannheimer Morgen 1989, 1991, 1994 年	公開
oon	x98 x99 x00	Oberösterreichische Nachrichten 1998 年～ 2000 年	公開

### 5.3 公開されている書き言葉コーパスのアーカイブ

Belletristik des 20. und 21. Jahrhunderts; diverse Schriftsteller (loz-div-pub)

Belletristik des 20. Jahrhunderts; Martin Walser (loz-wam)

Berliner Morgenpost (bmp / 1997-1999)

Bonner Zeitungskorpus (bzk)

COMPUTER ZEITUNG (cz; deutsch / 1993-1998)

Die Presse (dpr; österreichisch / 1991-2000)

Fachsprachen-Korpus 1 (fsp-pub)

Frankfurter Rundschau (ffr / 1997-1999)

Goethe-Korpus (goe)

Grammatik-Korpus (gr1)

GRIMM-Korpus (gri)

Hamburger Morgenpost (hmp05, hmp06 / 04/2005 - 12/2006)

Handbuchkorpora (hbk) gesondert nach Jahrgängen: h85, h86, h87, h88

Kleine Zeitung (klz; オーストリア / 1996-2000)

LIMAS-Korpus (lim /形態統語的タグ付き)

Korpus-Kartei der Gesellschaft für deutsche Sprache, Wiesbaden (gfds)

Korpus Magazin Lufthansa Bordbuch (mld / 1995-1997)

Mannheimer Korpora (mk)

Mannheimer Korpus 1 (mk1), Mannheimer Korpus 2 (mk2)

Mannheimer Morgen (mmm / 1989, 1991, 1994-2005 / 一部, 形態統語的タグ付き)

Marx-Engels-Korpora

Marx-Engels-Gesamtausgabe – 選択されたテキスト(meg)

Marx-Engels-Werke – 選択されたテキスト (mew)

Herausgeber-Anmerkungstexte zu mew (mwa)

Neue Kronen-Zeitung (nkz; オーストリア / 1994-2000)

Oberösterreichische Nachrichten (oon / 1996-2000)

## Reden und Interviews

Salzburger Nachrichten (sbn / 1991-2000)

St. Galler Tagblatt (sgt; スイス / 1997-2001)

Tiroler Tageszeitung (ttz / 1996-2000)

VDI Nachrichten (vdi06 / 02/2006-12/2006)

Vorarlberger Nachrichten (van / 1997-2000)

Wendekorpus (wk)

Wendekorpus West (wkb; ドイツ連邦共和国)

Wendekorpus Ost (wkd; ドイツ民主共和国)

Wikipedia - Die freie Enzyklopädie (wpd / 2005 年 3 月現在)

Züricher Tagesanzeiger (zta / 1996-2000)

IDS 内部でのみアクセス可能な書き言葉コーパス

Belletristik des 20. und 21. Jahrhunderts; 様々な作家 (loz-div)

Belletristik des 20. Jahrhunderts; Stefan Heym (loz-hes)

Belletristik des 20. Jahrhunderts; Siegfried Lenz (loz-les)

Berliner Zeitung (b97-b04 / 1997 - 2005)

Biografische Literatur (bio)

Der Spiegel (s93, s94 / 1993 - 1994 / 形態統語的タグ付きも)

Die Zeit (z94-z04 / 1994 - 2004 - teilw. nur Online-Ausgabe)

die tageszeitung (t86-t06 / 1986 - 03/2006)

Meldungen der Deutschen Presse-Agentur (dpa06 / 2006)

Fachsprachen-Korpus 1 (fsp)

Fachsprachen-Korpus 2: Gentechnologie (dkg)

Frankfurter Allgemeine (f93, f95 / 1993 und 1995)

Herausgebertexte zum Korpus bio (bih)

Historisches Korpus 1 (hi1)

Historisches Korpus 2 (hi2)

Interview-Korpus (iko)

Süddeutsche Zeitung<sup>1</sup> (u95-u99 / 1995 - 1999)

Thomas-Mann-Korpus (thm)

Wendekorpus Vereinigung (wkv)

<sup>1</sup> このコーパスは、IDS 内部で問い合わせの上、アクセスできる。

## 第2節 COSMAS II Client クイックマニュアル (COSMAS II Client v.3.6.1 編)

### 0. はじめに

本節では、COSMAS II Client の利用の流れを概観する。それぞれの項目の詳細については、1章3節「使用マニュアル」に記載する。

以下では、まず初めに、1で検索を行う準備に必要な操作について述べる。

次に、2で検索方法をたどる。その際に対象とするヴァーチャルコーパスは、アーカイブ「W – Archiv der geschriebenen Sprache」（書き言葉）のすべてのコーパスとし、検索語には「Sonne」（太陽）を設定する。

その後、3で検索結果の表示方法を示す。その際には「St. Galler Tagblatt, 1997」（A97）というコーパスの結果を表示する。

最後に、4で検索結果のエクスポートに必要な操作を示す。

#### 目次

- [1. 準備する](#)
- [2. 検索する](#)
- [3. 検索結果を表示する](#)
- [4. 検索結果をエクスポートする](#)

## 1. 準備する

### 1) COSMAS II Clientをインストールする。

1章3節「使用マニュアル」1.1を参照のこと。

### 2) COSMAS II Clientを起動する。

「スタートメニュー>すべてのプログラム>(IDS>COSMAS>)COSMAS II Client v.3.6.1」から、あるいはデスクトップのショートカットなどからソフトを開く。

### 3) ユーザー登録する。

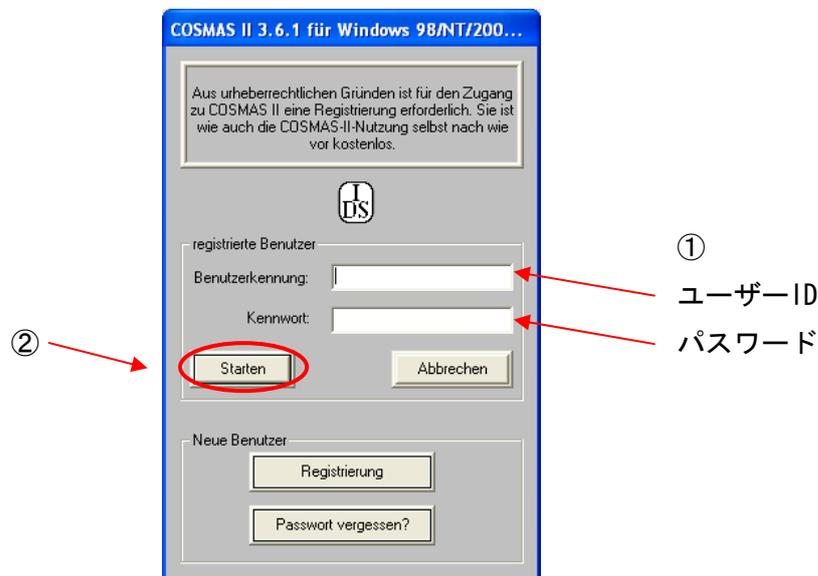
1章3節「使用マニュアル」1.3を参照のこと。

### 4) ログインする。(⇒1章3節「使用マニュアル」1.4)

①COSMAS II Clientを起動すると、以下のログイン画面が現れるので、registrierte Benutzer（登録ユーザー）の部分に、ユーザーID（Benutzerkennung）とパスワード（Kennwort）を入れる。

②次に「starten」（スタート）ボタンをクリックする。

（なお、ログイン後にCOSMAS II-Dienst: Benutzerspezifische Nachrichten（COSMAS II サービス：利用者へのニュース）という画面が出ることがある。主な内容はIDSからのお知らせである。OKをクリックして先へ進む。）



### 5) アーカイブを選択する。(⇒1章3節「使用マニュアル」2.1)

①ログインすると、以下の「Liste der verfügbaren Archive」（アーカイブリスト）ウィンドウが開くので、「W – Archiv der geschriebenen Sprache」（W-書き言葉アーカイブ）を表示

していることを確認する。

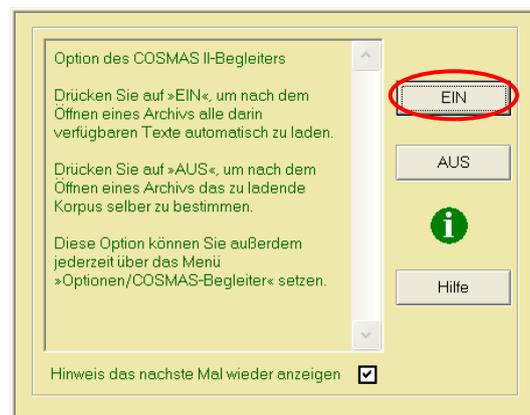
②確認ができれば「öffnen」(開く) ボタンをクリックする。

(なお、ログイン直後、「Willkommen bei COSMAS II」(COSMAS II へようこそ) という黄色の画面が現れたら、「überspringen」(キャンセル; 文字化けの場合「・erspringen」) ボタンをクリックする。)



6) ヴァーチャルコーパスを設定する。(⇒ 1章3節「使用マニュアル」2.2)

①アーカイブを選択した後、以下のような「Option des COSMAS II-Begleiter」(COSMAS II ガイドのオプション) という黄色の画面が現れたら「EIN」(オン) ボタンをクリックする。この操作により、アーカイブ W の全てのコーパスを利用するヴァーチャルコーパスとして設定できる。



(なお、この後、「Hinweise」(ヒント) という黄色の画面が現れたら、「überspringen」(キャンセル; 文字化けの場合「・erspringen」) ボタンをクリックする。さらにその後、「Option des COSMAS II-Begleiter」(COSMAS II ガイドのオプション) という黄色の画面が現れたら「EIN」(オン) ボタンをクリックする。)

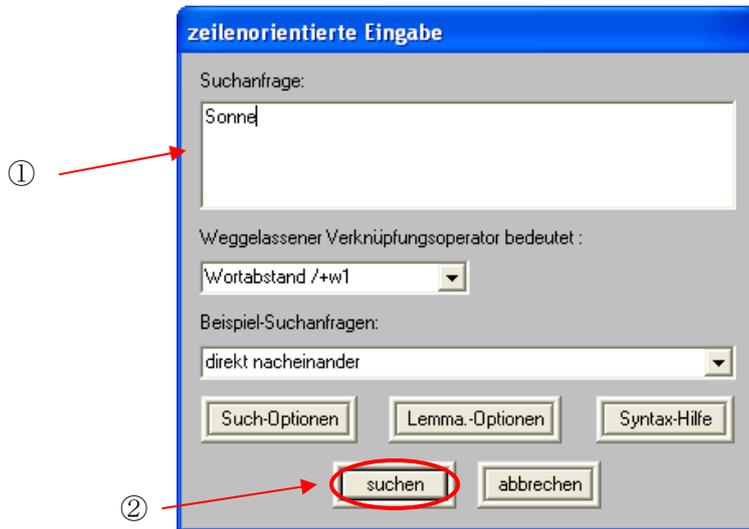
## 2. 検索する

### 1) 検索語を設定する。(⇒ 1章3節「使用マニュアル」2.3)

① 「zeilenorientierte Eingabe」(コマンド方式入力)という画面が現れたら、「Suchanfrage」(検索式)の欄に検索語「Sonne」(太陽)を入力する。

②その後、「suchen」ボタンをクリックする。

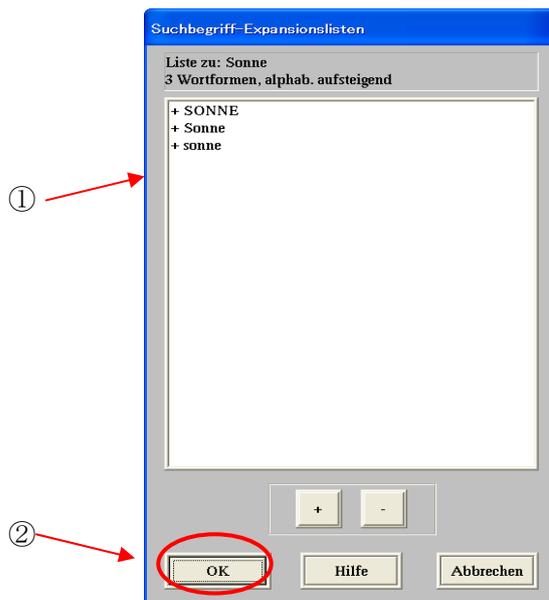
(検索式についての詳細は、1章4節「検索具体例」に詳しい記載がある。)



### 2) 検索語のヴァリエーションを限定する。(⇒ 1章3節「使用マニュアル」2.4)

①以下のような「Suchbegriff-Expansionslisten」(検索語候補リスト)という画面では、「Sonne」(太陽)のヴァリエーションがいくつかあることが分かる。検索から除外したい候補がある場合、候補の前にある「+」マークをクリックして「-」に変える。<sup>1</sup>

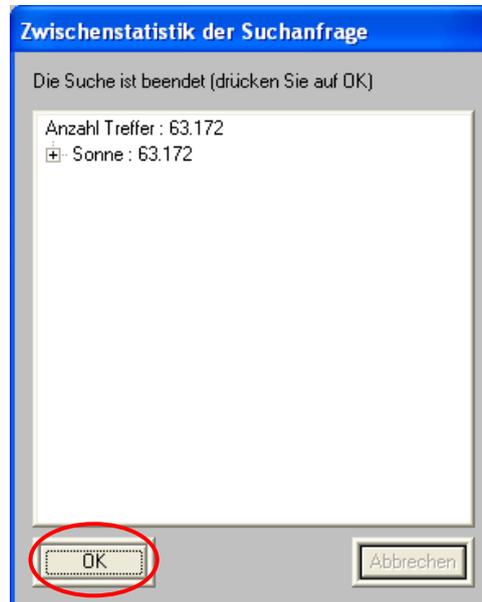
②設定後、「OK」ボタンをクリックする。



<sup>1</sup> 対象とした「現代書き言葉コーパス」の登録語数が増えた場合、検索語の候補も増えることがある。

3) 検索ヒット数を確認する。(⇒ 1章3節「使用マニュアル」2.5)

「Zwischenstatistik der Suchanfrage」(検索語の中間統計)という画面が現れたら、ヒット数を確認し、「OK」ボタンをクリックする。



(その後、「Option des COSMAS II-Begleiters」(COSMAS II ガイドのオプション)という黄色の画面が現れたら「AUS」(オフ)ボタンをクリックする。さらにその後、「Hinweise」(ヒント)という黄色の画面が現れたら「weiter」(進む)をクリックする。)

### 3. 検索結果を表示する (⇒ 1 章 3 節 「使用マニュアル」 2.6)

#### 1) 検索結果を開く。

基本画面の右の欄に現れた「Sonne: 63172 Treffer」(太陽: 63172 ヒット) というボタンをダブルクリックすると、検索結果の画面が開く。



#### 2) コーパス毎のヒット数を確認する。

以下の 1 行目の場合、St. Galler Tagblatt 1997 (A97) というコーパスの 656 のテキストに、838 の事例がヒットしたことを示している。

The screenshot shows a window titled "Ergebnisse von 'sonne' in Korpus: W-öffentlich - alle öffentlic...". It contains a table with the following data:

Treffer	Texte	von	bis	Korpus
838	656	1997	1997	A97 St. Galler Tagblatt 1997
1.695	1.277	1998	1998	A98 St. Galler Tagblatt 1998
2.140	1.463	1999	1999	A99 St. Galler Tagblatt 1999

The first row is highlighted with a red box.

#### 3) 事例をKWICで表示する。

この 1 行目 (St. Galler Tagblatt 1997) をダブルクリックすると、以下のように、St. Galler Tagblatt (A97) のヒットの初めの 200 例が KWIC で表示される。以下の一行目の場合、A97/APR の 00555 という例文が Sonne (太陽) という検索語を含んでいることが分かる。



#### 4) 事例を全文表示で表示する。

① 1 行目のヒット (A97/APR.00555) をダブルクリックすると、以下のように、このヒットの全文を表示できる。



#### 4. 検索結果をエクスポートする (⇒ 1 章 3 節「使用マニュアル」2.7 )

##### 1) エクスポートするヒットを限定する。

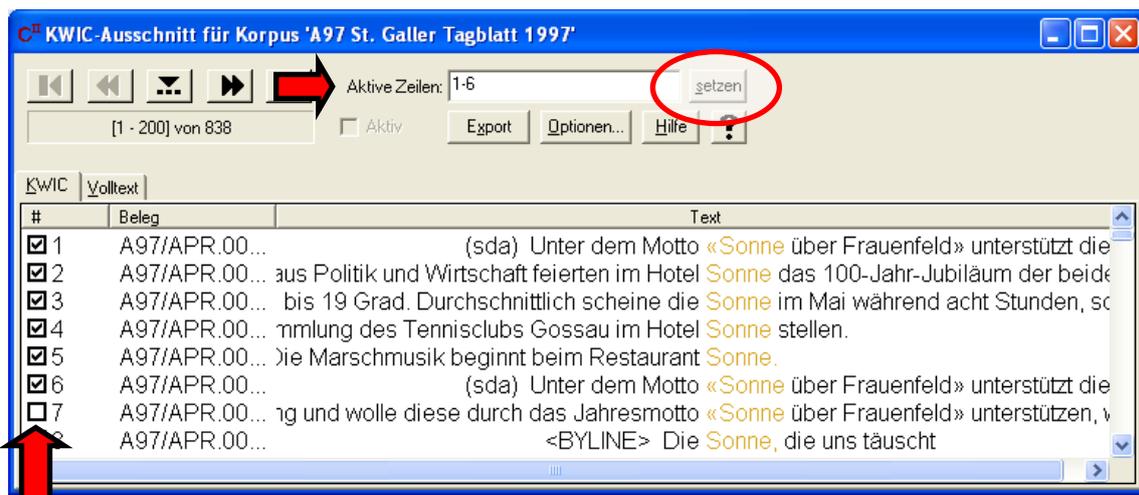
いくつかの事例のみをエクスポートするときは、以下①～の手順に従って当該の事例を指定する必要がある。

ヒットした全ての事例をエクスポートするときは、2) のエクスポートオプションの設定に進む。

① 「KWIC」のタブをクリックし、KWIC 表示に戻る。

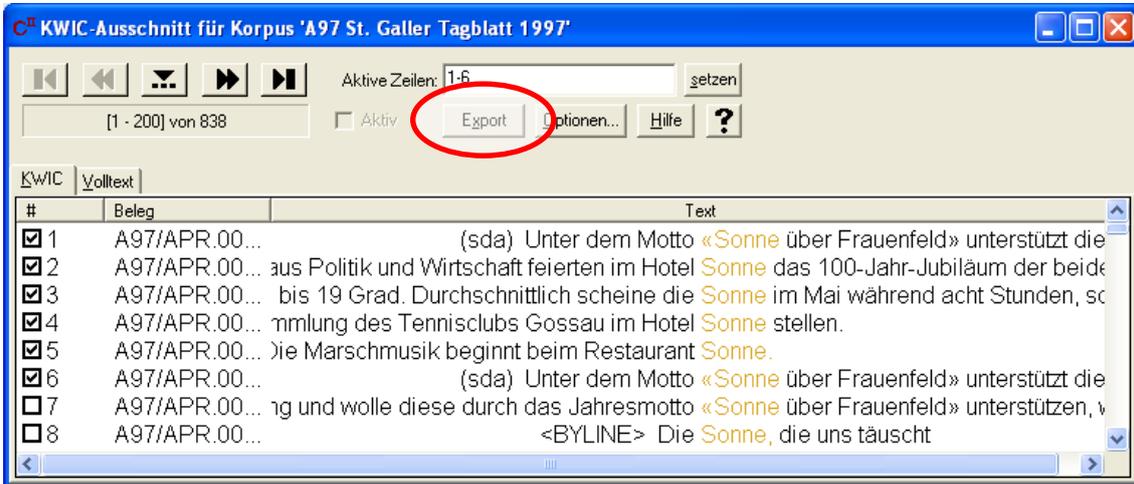


②エクスポートしたいヒットの行頭にあるボックスにチェックを入れる。あるいは、画面上部の Aktive Zeilen (アクティブな行) の枠に該当するヒットの番号を入れた後、「setzen」(設定) ボタンをクリックすることによっても、チェックを入れることができる。



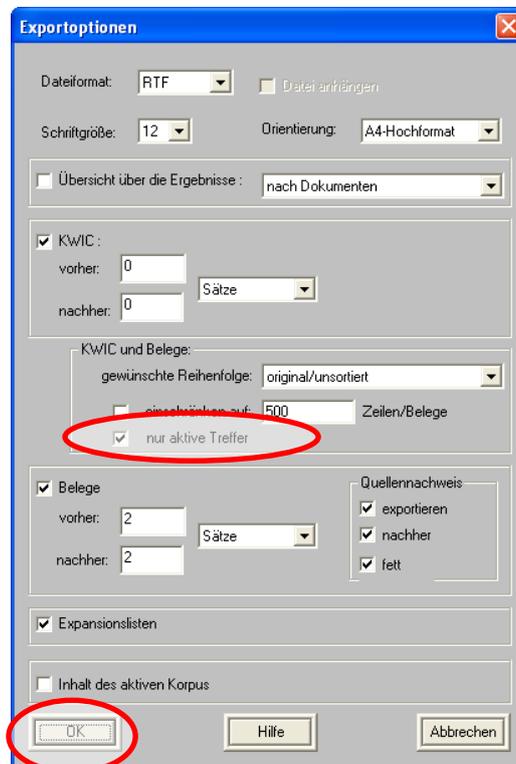
2) Exportoptionen (エクスポートオプション) を設定する。

① 「Export」 (エクスポート) ボタンをクリックし、「Exportoptionen」 (エクスポートオプション) 画面を開く。



②いくつかの事例のみをエクスポートするときは、「Exportoptionen」 (エクスポートオプション) 画面の中央の「KWIC und Belege」 (KWIC と例文) 枠内にある「nur aktive Treffer」 (アクティブなヒットのみ) の行頭のボックスにチェックを入れてから、「OK」をクリックする。

全ての事例をエクスポートするときは、チェックを入れない。

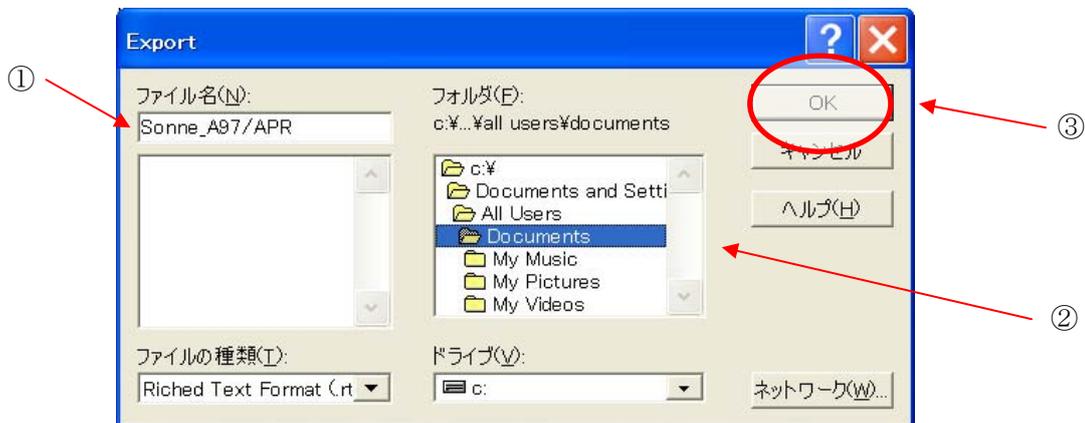


### 3) エクスポートファイルを保存する。

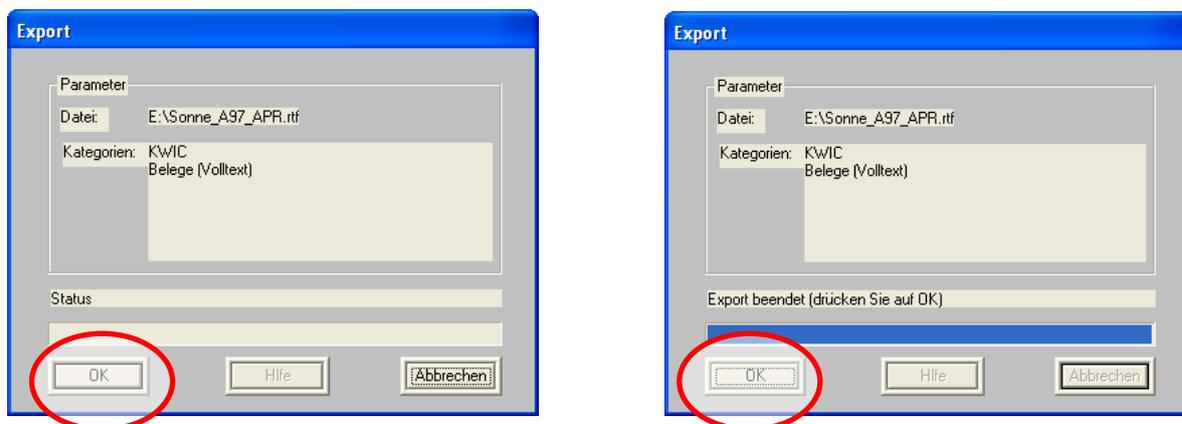
①「Export」(エクスポート)画面が開いたら、ファイル名の欄に「Sonne\_A97」など任意の名前を入れる。

②保存したいフォルダを設定する。

③その後、「OK」ボタンをクリックする。



④すると、内容の異なる「Export」(エクスポート)画面が二度開くので、それぞれ「OK」ボタンをクリックする。



### 4) エクスポートファイルを開く。

検索結果をエクスポートしたファイルを開くと、次のようになっている。

①はじめに、エクスポートの日付、対象コーパス、検索式、結果のヒット数が表示される。

②次に、Exportoptionen (エクスポートオプション) で KWIC にチェックを入れた場合、KWIC の概要が表示され、事例が KWIC の形式で並べられる。

③さらに、Exportoptionen (エクスポートオプション) で Belege (例文) にチェックを入れた場合、例文が出典とともに表示される。

①日付 → Datum : Montag, den 22. Oktober 2007, 9:32:28  
 対象コーパス名 → Korpus : W-öffentlich - alle öffentlichen Korpora des  
 Archivs W  
 検索式 → Suchanfrage:  
 Sonne  
 ヒット数 → Ergebnis : 63.172 Treffer

---

**KWIC-Übersicht (original/unsortiert)**

②KWIC  
 ヒット数 → Anz. Treffer = 63.172  
 出力数 → Anz. exportierte Zeilen = 10000 (interne Begrenzung)  
 表示範囲 → Angezeigter Kontext: 0 Sätze links, 0 Sätze rechts.  
 注意書き → Es werden nur die markierten KWIC-Zeilen exportiert = 20.

KWIC 事例 →

A97 (sda) Unter dem Motto «**Sonne** über Frauenfeld»  
 A97 feierten im Hotel **Sonne** das 100-Jahr-Jubiläum der  
 A97 scheine die **Sonne** im Mai während acht  
 A97 Gossau im Hotel **Sonne** stellen.

③全文の事例 **Belege (original/unsortiert)**

ヒット数 → Anz. Treffer = 63.172  
 出力数 → Anz. exportierte Belege = 10000 (interne Begrenzung)  
 表示範囲 → Angezeigter Kontext: 2 Sätze links, 2 Sätze rechts.  
 注意書き → Es werden nur die markierten Belege exportiert = 20.

例文 →

Ein Jahr voller Sonnenblumen  
 (sda) Unter dem Motto «**Sonne** über Frauenfeld» unterstützt die Stadt Frauenfeld im  
 laufenden Jahr eine Reihe von Aktionen, welche die positive Grundstimmung in der  
 Bevölkerung weitertragen sollen.  
 Zu diesem Zweck sind an allen markanten Punkten in der Stadt Sonnenblumen gepflanzt  
 worden. Auslöser der Idee sei der positive Entscheid der PTT gewesen, ihr neues  
 Postpaketzentrum in Frauenfeld zu bauen. (A97/APR.00555 St. Galler Tagblatt,  
**25.04.1997; Ein Jahr voller Sonnenblumen**)



## 第3節 COSMAS II Client 使用マニュアル (COSMAS II Client v.3.6.1 編)

### 0. はじめに

本節では、IDSのコーパス検索システムであるCOSMAS IIのうち、Windowsにインストールして用いるプログラムCOSMAS II Client v.3.6.1 の使用方法を説明する。<sup>1</sup>ここでは、「書き言葉コーパス」アーカイブの利用を前提とする。COSMAS II Clientの簡単な検索手順については、1章2節のクイックマニュアルに示してある。

なお、OSがWindowsでない場合、ソフトがインストールできない場合、COSMAS II Webを利用し、類似の作業をすることができる (<https://cosmas2.ids-mannheim.de/cosmas2-web/>)。

### 目次

- [1. 利用環境の整備](#)
  - [1.1 COSMAS II Client v.3.6.1.のインストール](#)
  - [1.2 アンインストール](#)
  - [1.3 ユーザー登録](#)
  - [1.4 ログイン](#)
  - [1.5 ログアウト](#)
- [2. 検索手順](#)
  - [2.0 初回ログインの際の設定](#)
  - [2.1 対象アーカイブの選択](#)
  - [2.2 ヴァーチャルコーパスの選択](#)
  - [2.3 コマンド検索式の入力](#)
  - [2.4 候補リストの処理](#)
  - [2.5 ヒット数表示](#)
  - [2.6 KWIC表示](#)
  - [2.7 結果のエクスポート](#)

---

<sup>1</sup> なお、2008年3月5日付けで、COSMAS II Client Version 3.6.1 は、COSMAS II win Version 3.7 としてバージョンアップされた。そのためインストールのサイトは、このマニュアルに提示したものと一部異なる。

## 1. 利用環境の整備

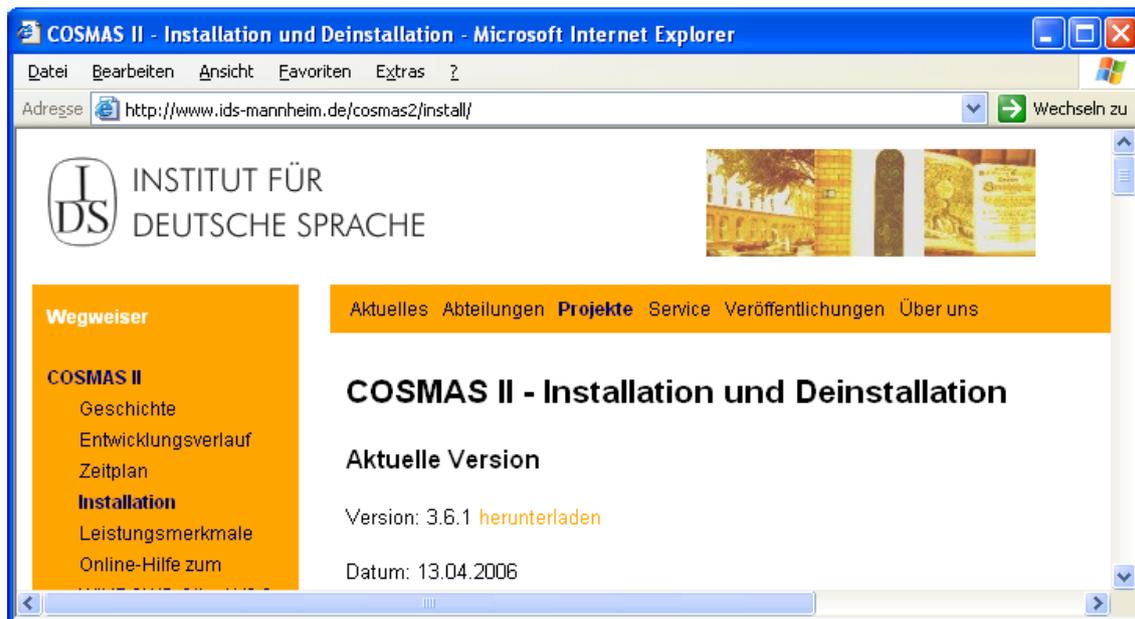
まず、COSMAS II Client を利用するための準備を行う。

### 1.1 COSMAS II Client v.3.6.1.のインストール

初めに COSMAS II Client を Windows にインストールする。

#### 1) ダウンロードサイト

<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/>にアクセスする。



#### 2) 動作環境

「COSMAS II - Installation und Deinstallation」(COSMAS II インストールとアンインストール)のサイトが開いたら、まず、動作環境 (Technische Anforderungen) を満たしているか確認する。

##### 【動作環境】 (Technische Anforderungen)

OS	Windows 9x/NT/2000/XP (WINDOWS ME は動作未確認)
接続	ネットワーク接続
メモリ	最小 32MB
ハードディスク	空き容量 3MB (プログラムとファイルのため)

#### 3) ネットワーク要件

次に、コンピュータがイントラネット接続である場合、あるいはファイヤーウォールのある環境でインターネットに接続している場合は、ネットワーク要件 (Netzwerk-

Voraussetzungen)を確認する。<sup>1</sup>

ファイヤーウォールを経由してインターネットに接続している場合、COSMAS II Client をインストールした後、接続ができなければ（プログラムが正常に動作しなければ）管理者へ問い合わせる必要がある。ただし、COSMAS II のサーバー等の不具合で、一時的に接続できない場合もある。

#### 4) インストール時の注意

以下のインストールする際の注意を確認する。

##### 【Web ブラウザからインストールする際の注意】

(Zu beachten bei der Installation aus einem WWW-Browser)

常に、このページから最新のセットアップデータをダウンロードする必要がある。さもないと、セットアップファイルの古いバージョンがキャッシュから呼び出され、インストールされるおそれがある。そのような場合は、ブラウザの設定かインターネットオプションを開き、キャッシュデータやテンポラルインターネットサイトを削除する必要がある。

#### 5) インストールの開始

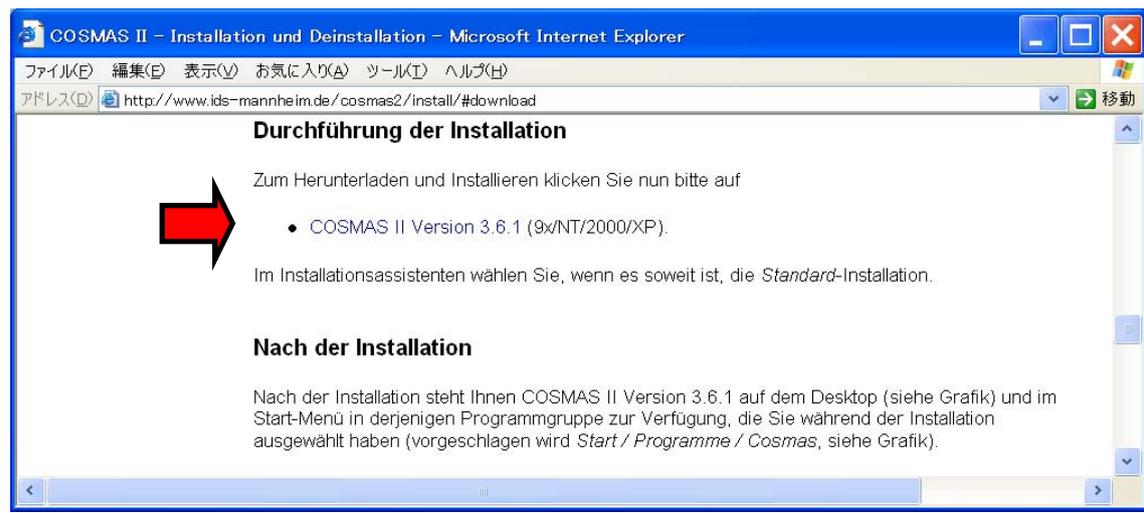
インストール方法の説明に従って、インストールを始める。

##### 【インストール方法の説明】

##### Internet Explorerの場合（単純）

(Anleitung zur Installation mit Internet Explorer (einfach))

①<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/#download>の「COSMAS II Version 3.6.1」をクリックし、インストールデータをダウンロードする。



<sup>1</sup> 【ネットワーク要件】（Netzwerk-Voraussetzungen）

COSMAS II サーバーに接続するためには、TCP ポート 6301-6302 を開放する（ネットワーク管理者に問い合わせる）。場合によっては、ファイヤーウォールを COSMAS II 電算機への接続のためにも開放する。（cosmas2.ids-mannheim.de (IP: 193.196.8.7)）

②「このファイルを実行または保存しますか？」という Internet Explorer 画面が現れるので、「実行」(Ausführen)を選択する。(次の画面はドイツ語 Windows の場合。日本語版 Windows では、文字化けが見られる場合がある。以下も同様。)



③インストールアシスタントに従って設定する (以下の 6 を参照)。

#### Netscapeの場合 (複雑)

(Anleitung zur Installation mit Netscape (umständlich))

- ①<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/#download>の「COSMAS II Version 3.6.1」をクリックし、インストールデータをダウンロードする。
- ②インストールデータを一時保存するフォルダを尋ねる Netscape 画面が現れるので、適切なフォルダを選択する。
- ③「OK」をクリックし、インストールデータがダウンロードされるのを待つ。
- ④WINDOWS-Explorer を用いて、インストールデータを保存したフォルダを開く。
- ⑤セットアップデータ「c2-setup-v3.6.1.exe」をダブルクリックし、インストールアシスタントに従って、インストールを行う。

#### 6) インストールアシスタントの利用

インストールアシスタントを用いてインストールする。(Internet Explorer の場合)

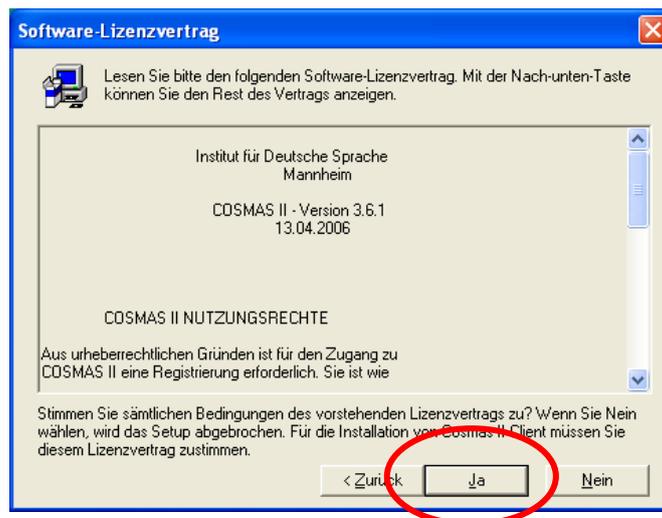
- ①初めの「Bestätigen Sie die Installation von COSMAS II, Version 3.6.1 ... auf Ihrem PC.」(WinZipSelf-Extraktor「Winzip 自己解凍」という画面は、PC に COSMAS II をインストールするか、確認を促している。インストールを了解する場合は、「OK」ボタンをクリックする。  
なお、インストールを中断する場合は「Abbrechen」(キャンセル) ボタンをクリックする。



②インストールアシスタントが起動すると、「Willkommen」（ようこそ）という名の画面が出る。ここでは、セットアップの前に他のプログラムを終了することが推奨されている。他のプログラムが開いている場合は「Abbrechen」（キャンセル）ボタンをクリックし、全てのプログラムを終了してから、再びインストールを始める。他のプログラムが起動していない場合は、「weiter」（進む）ボタンをクリックする。なお、この場面の後半では、このソフトの不正な再製や販売は罰せられると警告がなされている。



③次の「Software-Lizenzvertrag」（ソフトウェアライセンス）という名の画面では、著作権保護のために、COSMAS II の利用の際には、登録が必要であることが記されている。また、商業的な利用ではなく、研究目的のみの利用を行うことが求められている。了解する際には、「Ja」をクリックする。



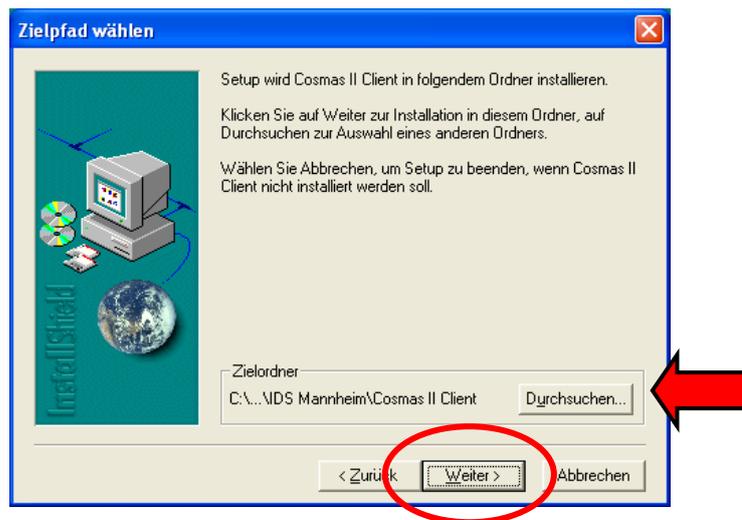
④ 「Informationen」 (インフォメーション) という名の画面では、COSMAS IIの説明が簡潔に提示されている。またここでも、COSMAS IIは商業的な目的ではなく、コーパス言語学の目的のためにのみ用いることができると述べられている。さらに、COSMAS IIのインストールについて記されたサイト (<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/install/>), COSMAS IIの開発履歴を掲載したサイト (<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/projekt/entwicklung/>), オンラインヘルプのサイト (<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/hilfe/>) のアドレスも挙げられている。

内容を確認したら、「Weiter」 (進む) ボタンをクリックする。



⑤ 「Zielpfad wählen」 (インストール先選択) という名の画面では、インストールフォルダを設定する。フォルダを変更したい場合は、「Durchsuchen」 (フォルダ参照) ボタンをクリックし、適切なフォルダを探し、選択する。

設定ができれば、「Weiter」 (進む) をクリックする。



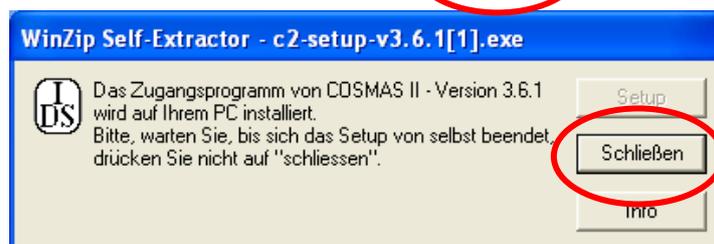
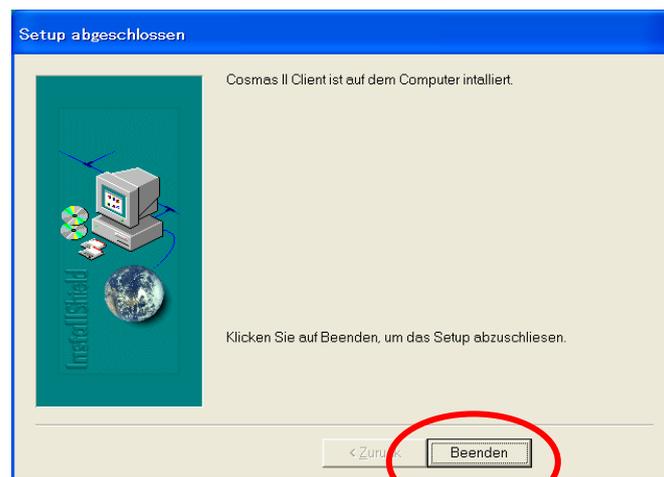
⑥ 「Setup-Typ」 (セットアップタイプ) という名の画面が出たら、「Benutzer」 (ユーザー設定), 「Minimal」 (最小), 「Standard」 (標準) から、「Standard」 を選択し、「Weiter」 (進む) をクリックする。



⑦ 「Programmordner auswählen」 (プログラムフォルダ選択) という名の画面ではプログラムフォルダに加えるフォルダ名を設定できる。「IDS Cosmas」あるいは任意の名前を設定して「weiter」 (進む) ボタンをクリックする。



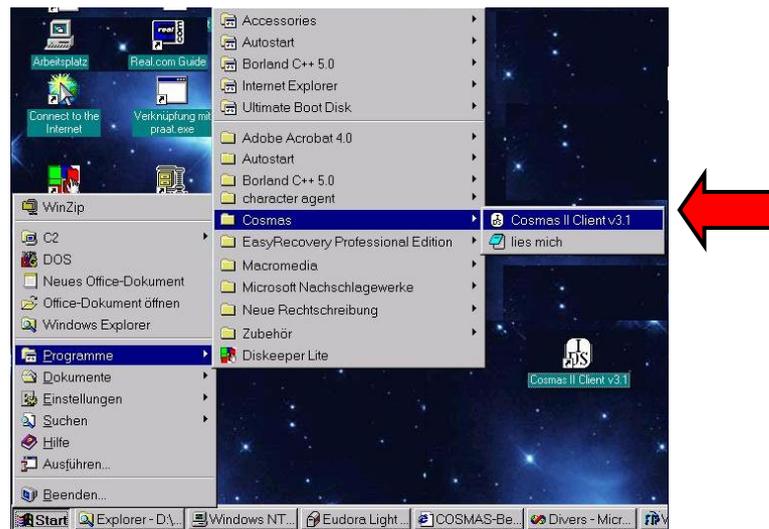
⑧その後、セットアップが自動的に終わるので、「Beenden」（終了）、「Schließen」（閉じる）をクリックする。



## 7) COSMAS IIの起動

インストールが終わったら、COSMAS II を起動してみる。

「スタートメニュー>すべてのプログラム> (COSMAS>) COSMAS II Client v.3.6.1」から、あるいはデスクトップのショートカットなどからプログラムを開く。



## 1.2 アンインストール

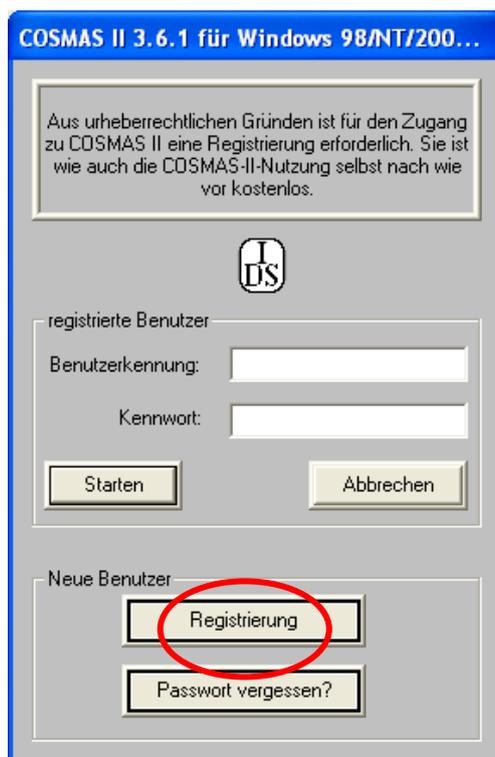
「スタートメニュー> (設定>) コントロールパネル>プログラムの追加と削除」から COSMAS II Client を選択して、アンインストール (Deinstallation) を行うことができる。

### 1.3 ユーザー登録

COSMAS II はインターネット接続して利用するプログラムであり、プログラムを開く度にログインする必要がある。そのためユーザー登録を行う。

① <http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/registrierung/home.html>にアクセスする。

あるいは、Clientをインストール済みの場合、COSMAS II Client v3.6.1 を起動し、新規ユーザー（Neue Benutzer）のための「Registrierung」（登録）をクリックする。<sup>1</sup>



②登録用の画面が開くので、利用制限（商業的な目的ではなく、学術的な目的にのみ利用すること、個人データを保存すること）に同意し、下の方にあるチェックボックス（オレンジ色の枠内）にチェックを入れる。

③性別、名、姓、E-Mail アドレス、電話、国（日本の場合、Japan）を記入し、好みのユーザーID（Kennung）、パスワード（Kennwort）2回を入力する（その他の項目は任意記入）。このE-Mail アドレスには、後ほど登録完了のメールが送付される。

④「Registrieren」（登録）をクリックする。

<sup>1</sup> Clientを起動した後、ログインやアクセスなしのまま5分経過すると、ダイアログボックスを表示してプログラムが終了することがある。その際は、再び起動すればよい。（詳細は<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/hilfe/allgemein/sitzung.html>を参照。）

erung - Microsoft Internet Explorer

お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

mannheim.de/cosmas2/registrierung/home.html

Ich bin mit den oben genannten Nutzungsbeschränkungen und der Speicherung meiner Daten einverstanden.

②同意

③

性別 (女・男) →  Frau  Herr

名 → \_\_\_\_\_ Vorname\*

姓 → \_\_\_\_\_ Nachname\*

E-Mail アドレス → \_\_\_\_\_ E-Mail-Adresse\*

電話 (市外局番・番号) → \_\_\_\_\_ Telefon (Ortskennzahl / Nummer)\*

国名 → \_\_\_\_\_ Land\*

機関 (記入は任意) → \_\_\_\_\_ Institution

住所 (記入は任意) → \_\_\_\_\_ Adresse 仕事で利用／私的に利用

berufliche  private Nutzung 言語学調査

linguistische  andere Untersuchungen ／他の調査

**Wählen Sie sich bitte Ihre künftigen Kenndaten aus**

④ユーザーID → \_\_\_\_\_ Kennung\*

パスワード → \_\_\_\_\_ Kennwort\*

パスワード確認 → \_\_\_\_\_ Kennwort wiederholen\*

⑤登録 →

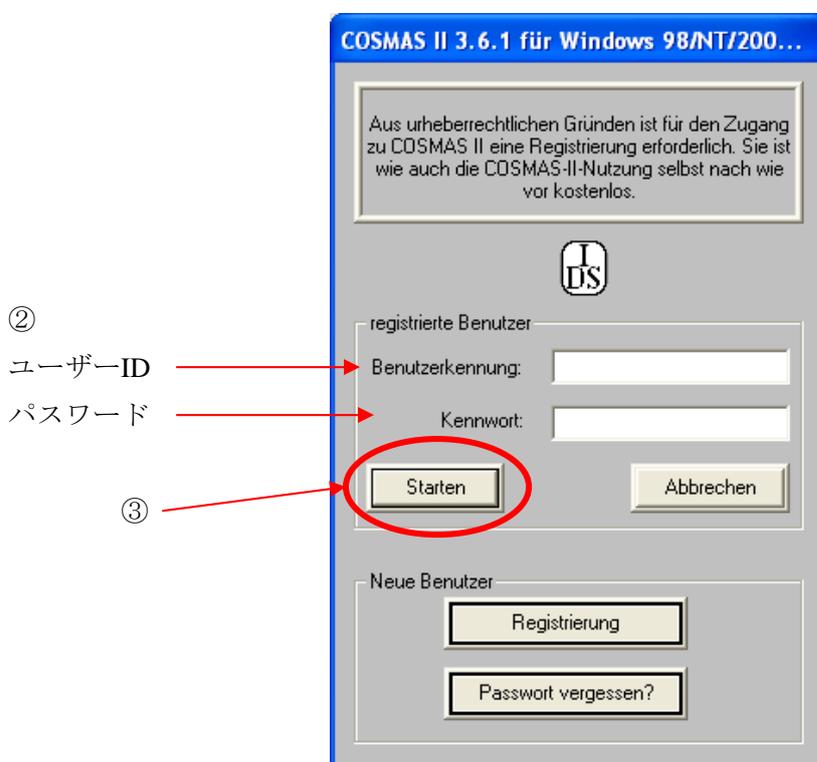
## 1.4 ログイン

COSMAS II を利用するには、毎回ログインが必要となる。

① 「スタートメニュー>すべてのプログラム> (COSMAS>) COSMAS II Client v.3.6.1」, あるいはデスクトップのショートカットなどからプログラムを開く。

② registrierte Benutzer (登録ユーザー) の部分に、上記 1.3 で設定したユーザーID (Benutzerkennung) とパスワード (Kennwort) を入れる。

③その後、「starten」(開始) ボタンをクリックする。



## 1.5 ログアウト

ログアウトするには、プログラムの全ての画面を閉じる。

## 2. 検索手順

ここでは、COSMAS II を使用して、検索を行う方法を説明する。検索は以下のような順序で進め、最終的には検索結果の表示、エクスポートを行う。

### 【検索の流れ】

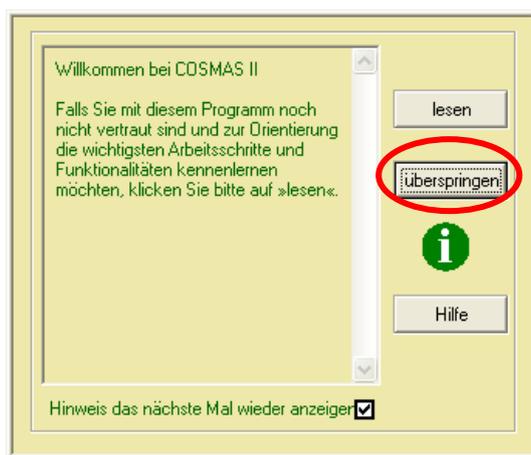
1. アーカイブを選ぶ (2.1)
2. コーパスを選ぶ (2.2)
3. 検索式を入力する (2.3)
4. 語形リストを処理する (2.4)
5. 結果表示 (2.5)
6. KWIC (2.6)
7. 結果のエクスポート (2.7)

### 2.0 初回ログインの際の設定

まず、初回ログインの際に現れる画面の設定をする。

①インストール後、初めてログインすると、IDS からのお知らせが表示される場合がある。内容を確認して「OK」ボタンをクリックする。

②次に、「Willkommen bei COSMAS II」という画面が現れ、オンラインヘルプを読むかどうかを聞いてくるので、必要がなければ、「überspringen」（文字化けの場合「・erspringen」と表示）をクリックする。なお、この画面を次回以降に表示しないためには、下のチェックボックスのチェックを外しておく。



オンラインヘルプを読む場合、「lesen」をクリックする。次の URL から同じヘルプを読むことができる。

(<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/hilfe/allgemein/quicktour.html>)

## 2.1 対象アーカイブの選択

検索の対象とするアーカイブを選択する。

①ログインすると、「Liste der verfügbaren Archive」(アーカイブリスト)画面が開く。リストの中から検索の対象とするアーカイブを選択する。本書では「W - Archiv der geschriebenen Sprache」(W - 書き言葉アーカイブ)を選択しておく。その後、「öffnen」(日本語 Windows において文字化けがある場合「fnen」と表示)をクリックする。



アーカイブは2008年2月現在、以下のリストから選択できる。

略号	アーカイブ名
W	書き言葉コーパス
W-ÜBRIG	元書き言葉コーパス収録
N	最新取得コーパス
GFDS	(接続なし)
HIK	歴史コーパス
TAGGED	タグ付きコーパス
WK-PH	フレーズ句切り

すでに、ログイン済みの場合は、メニューの「Korpus」(コーパス) > 「Archiv öffnen」(アーカイブを開く)を選択すると上記の「Liste der verfügbaren Archive」(アーカイブリスト)画面が開く。但し、それまでの検索結果は消失してしまうので、注意が必要。<sup>1</sup>

注①：初回ログインの場合、黄色の画面が開き、COSMAS II ガイドのオプション (Option des COSMAS II-Begleiters) が設定できる。この画面には、以下のような記載がある。

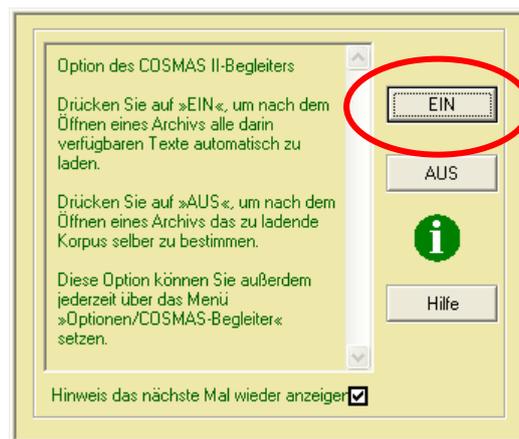
アーカイブを開いた後、そのアーカイブ内の全てのテキストを含むヴァーチャルコーパスを自動的に設定する場合は、「EIN」(オン)を、自分でヴァーチャルコーパスを選択する際には「AUS」(オフ)を選択する。

<sup>1</sup> 1回のログインで変更できるアーカイブの数は4つであり、それ以上のアーカイブを開こうとすると、一度接続が切断され、プログラムが自動的に終了する。

なお、この設定は、メニューの「Optionen」(オプション) > 「COSMAS-Begleiter」(COSMAS ガイド) で設定できる。

本書では「EIN」(オン) を選択した場合の説明を行う。

設定後、ヴァーチャルコーパスをデフォルトで選択しないようにするには、メニューの「Optionen」(オプション) > 「COSMAS II Begleiter」(COSMAS IIガイド) で「Alle Texte beim Öffnen eines Archivs laden」(アーカイブを開くとき全てのコーパスを対象にする) のチェックを外す。<sup>1</sup>



注②：初回ログインの場合、上記の直後に、再び黄色の画面が開き、ヒント (Hinweis) が表示される。この画面には、次のような記載がある。

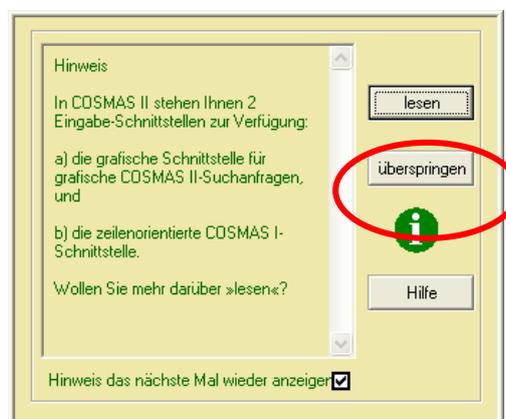
COSMAS II では、入力のインターフェイスに 2 種類ある：

a) COSMAS II 検索式のためのグラフィックのインターフェイス

b) コマンドライン方式の COSMAS I インターフェイス

これについて、詳細な説明を読むには「lesen」をクリックする。

本著では、コマンド検索式を用いたbの方式について説明を行う。説明を読む必要がなければ、「überspringen」(スキップ) をクリックする。<sup>2</sup>



<sup>1</sup> なお、この画面を次回以降に表示しないためには、下のチェックボックスのチェックを外しておく。

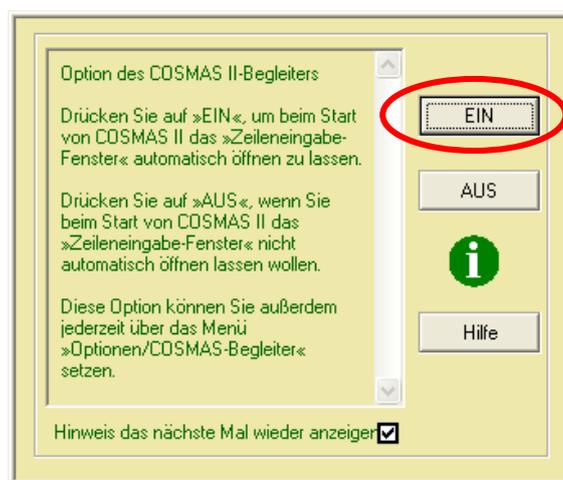
<sup>2</sup> なお、この画面を次回以降に表示しないためには、下のチェックボックスのチェックを外しておく。

注③：初回ログインの場合，上記の直後に再び黄色の画面が開き，ヒント（Hinweis）が表示される。ここでは，COSMAS II ガイドのオプション（Option des COSMAS II-Begleiters）が設定できる。

この画面には，以下のような記載がある。

COSMAS II を起動した際，検索のための「コマンド入力画面」を自動的に開くようにするには「EIN」（オン）を，開かないようにするには「AUS」（オフ）をクリックする。この設定は，メニューの「Optionen」（オプション）＞「COSMAS-Begleiter」（COSMAS ガイド）でも設定できる。

ここでは「EIN」（オン）を選択した場合の説明を行う。<sup>1</sup>



<sup>1</sup> なお，この画面を次回以降に表示しないためには，下方のボックスのチェックを外しておく。

## 2.2 ヴァーチャルコーパスの選択

検索の対象とするヴァーチャルコーパスを選択する。

### 1) デフォルトのヴァーチャルコーパスを使用する場合

各アーカイブでは、公開されているコーパスの全てを対象にしたものがデフォルトのヴァーチャルコーパスとして設定されている。

①上記の設定（2.1 注①）により、この時点では、デフォルトのヴァーチャルコーパスが設定されている。そのヴァーチャルコーパスを使用する際にはそのまま検索に移る。（→ 2.3「検索式の入力」）

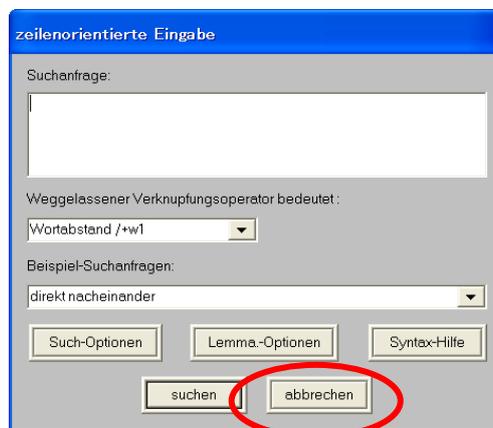
デフォルトヴァーチャルコーパスは、2008年2月現在、以下のリストから選択できる。

アーカイブ略号	アーカイブ名	デフォルトヴァーチャルコーパス
W	書き言葉コーパス	W-öffentlich
W-ÜBRIG	元書き言葉コーパス収録	öffentlich
N	最新取得コーパス	N-öffentlich
HIK	歴史コーパス	hik-öffentlich – Marx-Engels-Korpora
TAGGED	タグ付きコーパス	TAG-öffentlich
WK-PH	フレーズ句切り	wk-ph

### 2) 既存のヴァーチャルコーパスを選択する場合

各アーカイブには、デフォルト以外にもヴァーチャルコーパスが用意されている。

①ヴァーチャルコーパスを変更する場合、ログイン直後は、以下の「zeilenorientierte Eingabe」（コマンド方式入力）画面が現れるので、まず「abbrechen」をクリックし、この画面を閉じ、基本画面を表示する。

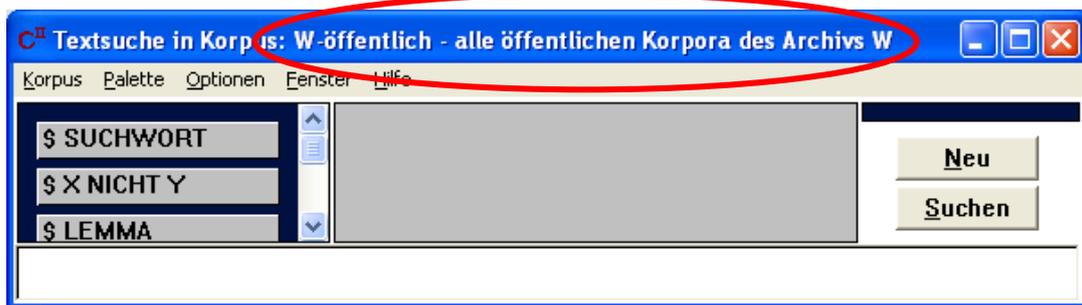


②既定のヴァーチャルコーパスに変更する場合、メニューの「Korpus」 > 「vordefiniertes

「Korpus laden」をクリックし、以下のような「Liste der verfügbaren virtuellen Korpora」の画面を開く。目的のコーパスを選択し、「laden」をクリックする（ヴァーチャルコーパスについての詳細は1章1節「コーパス概要」に掲載）。設定ができれば「2.3 検索式の入力」へ進む。



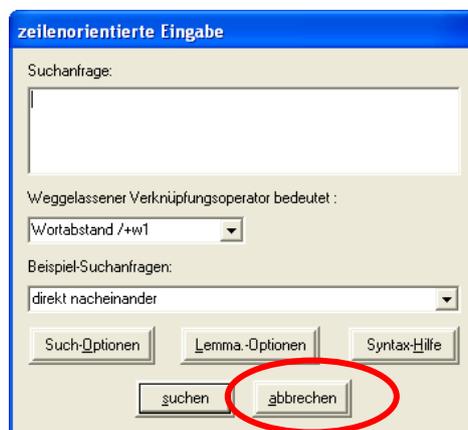
③基本画面の上部の表示で、作成したコーパスが設定されているか確認する。



### 3) ユーザー独自のヴァーチャルコーパスを作成する場合

検索の目的に合わせてユーザー独自のコーパスを作成することもできる。

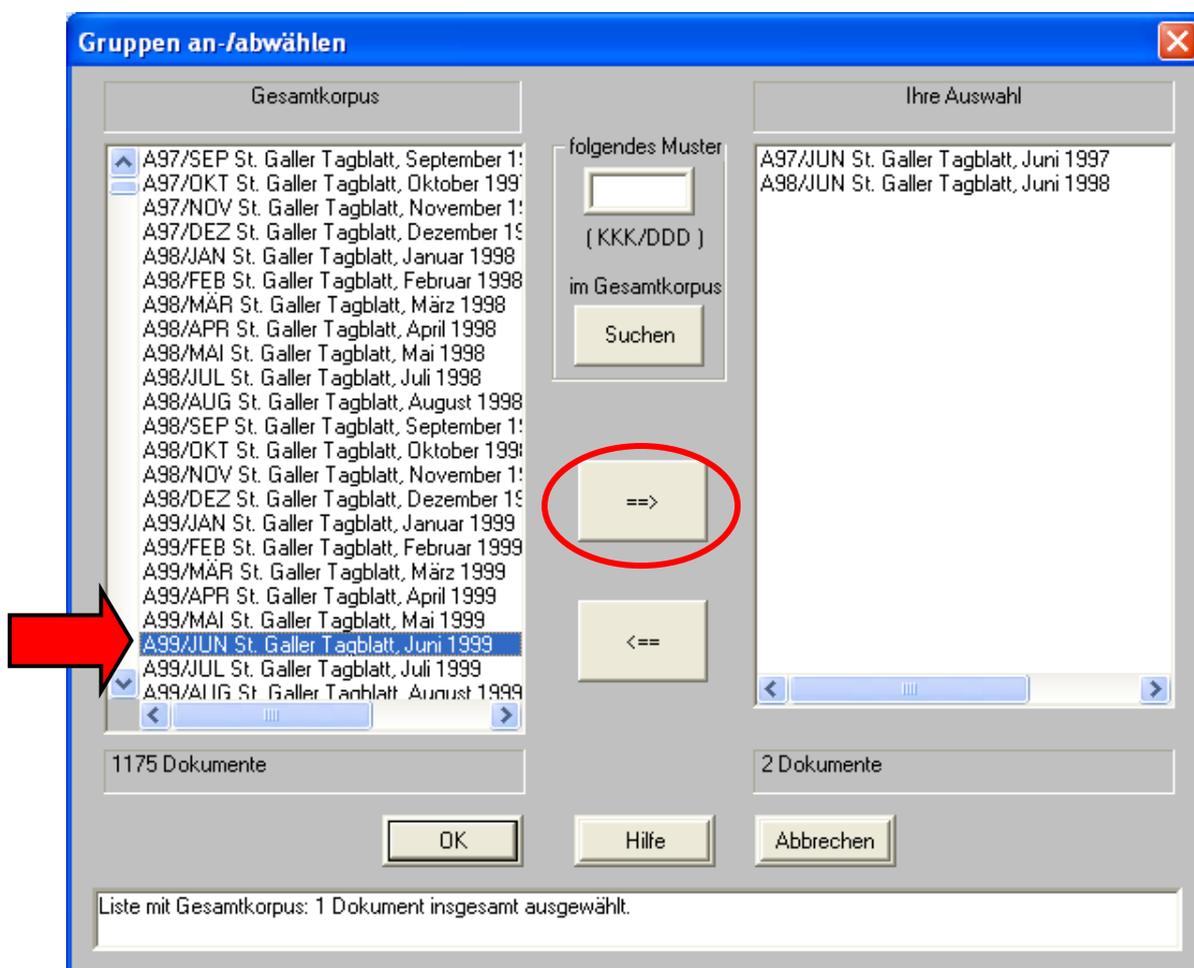
①ヴァーチャルコーパスを変更する場合、ログイン直後は、以下の「zeilenorientierte Eingabe」（コマンド方式入力）画面が現れるので、まず「abbrechen」をクリックし、この画面を閉じ、基本画面を表示する。



②ユーザー独自のヴァーチャルコーパスを使用する場合、以下のとおりにコーパスを作成する。

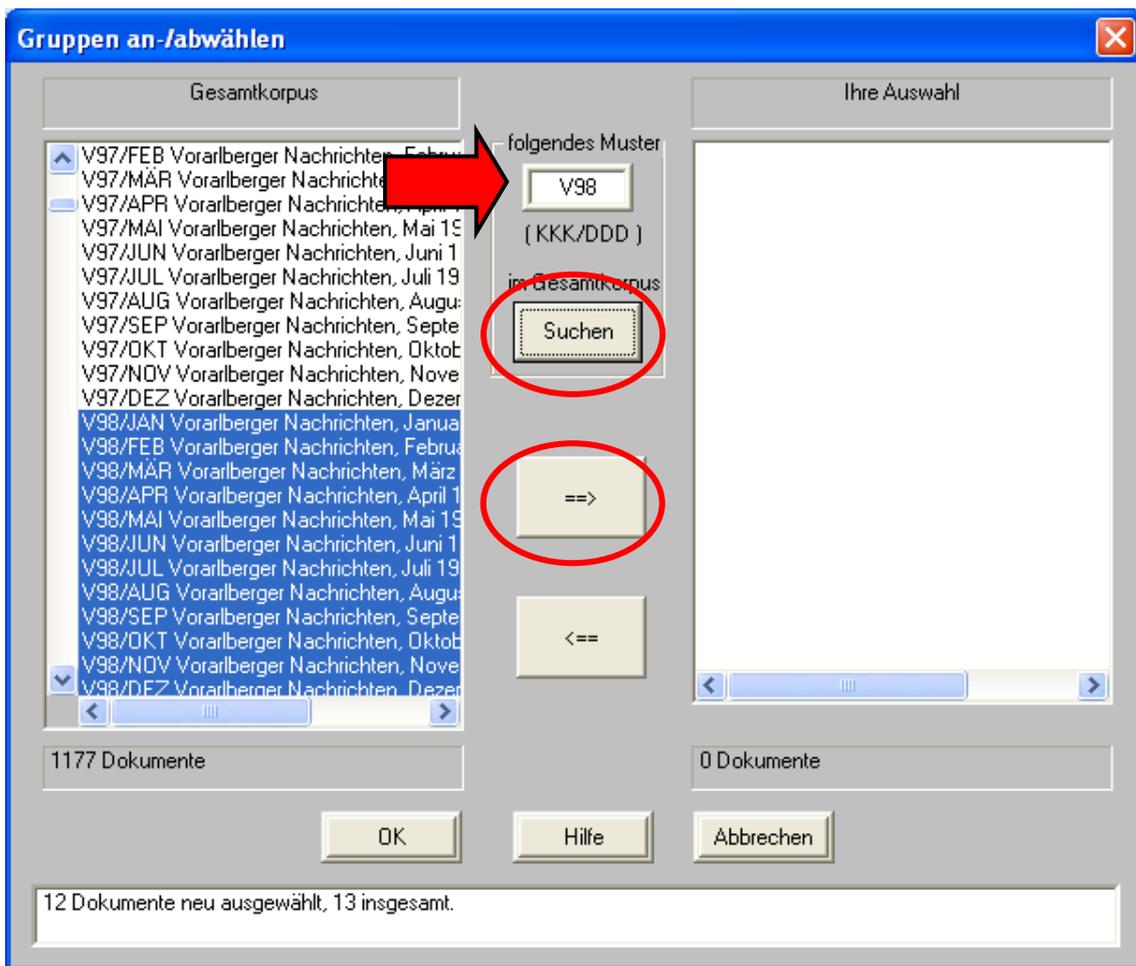
a) メニューの「Korpus」(コーパス) > 「Gruppen an-/abwählen」(句ループ選択)をクリックし、同名の画面を開く。左のリスト (Gesamtkorpus ; コーパス全体) から対象とするドキュメントを直接選択した上で「→」ボタンをクリックし、右の欄 (Ihre Auswahl ; あなたの選択) に移動させる。

逆に選択から削除したい場合、右の欄にある対象ドキュメントを選択した上で「←」ボタンをクリックし、左の欄に戻す。

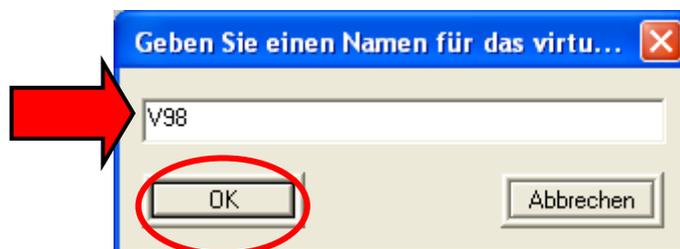


b) あるいは、対象とするドキュメントをまとめて指定する。

「folgendes Muster」(以下のモデル) の空欄に、コーパス名などドキュメント検索語を入れ、「Suchen」(検索) ボタンをクリックすると、対象ドキュメントが選択される。青く反転しているのを確認した上で「→」ボタンをクリックすることによって、右の欄 (Ihre Auswahl) に移動させる。



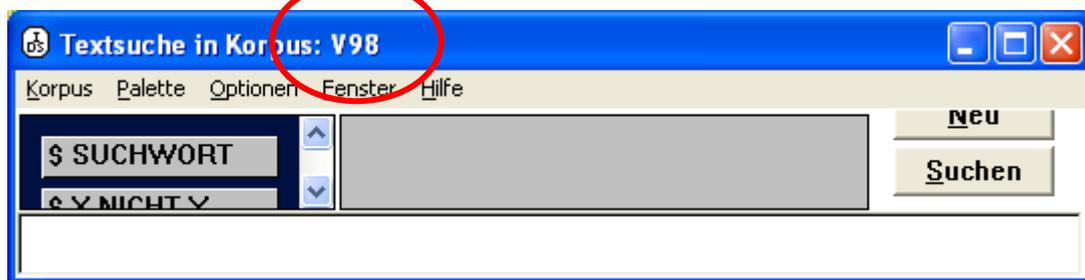
c) 右の欄に移動し終わったら、下部の「OK」ボタンをクリックする。すると「Geben Sie einen Namen für das virtuelle Korpus」（このヴァーチャルコーパスに名前を付けてください）という画面に移る。そこで、抜き出したドキュメントの組合せに、ヴァーチャルコーパスとしての名前を付け、「OK」をクリックする。



d) 基本画面に戻ったら、メニューの「Korpus」（コーパス）> 「eigenes Korpus sichern」（ユーザーコーパスを確定する）をクリックし、この作成したヴァーチャルコーパスを保存する。その後、OK ボタンをクリックする。



③基本画面の上部の表示で、作成したコーパスが設定されているか確認する。



④作成したユーザー独自のコーパスが選択されていない場合や、他のコーパスを使用した後、再びこのコーパスを利用する際には、メニューの「Korpus」(コーパス) > 「eigenes Korpus laden」(ユーザーコーパスを対象にする) から当該のコーパスを選択する。

⑤このヴァーチャルコーパスを削除する際は、メニューの「Korpus」(コーパス) > 「eigenes Korpus löschen」(ユーザーコーパスを消去にする) から当該のコーパスを選択する。

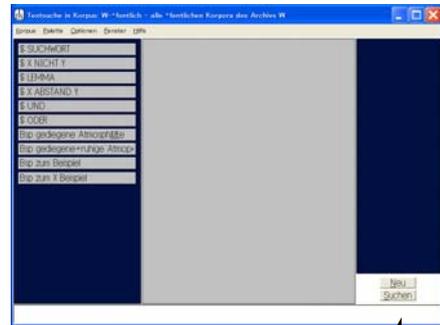
## 2.3 コマンド検索式の入力

本節では、検索式を文字列で入力する方法の一例を説明する。

①まず、「zeilenorientierte Eingabe」（コマンド方式入力）の画面を開く。

ログイン直後、ヴァーチャルコーパスを変更していない場合、2.1 注③で設定したとおり、そのまま画面が開く。

右のような基本画面が開いている場合、メニューの「Fenster」（画面）>「Zeileneingabe」（コマンド入力）をクリックするか、下部の白い部分をクリックして、「zeilenorientierte Eingabe」（



コマンド方式入力) 画面を開く。<sup>1</sup>

②検索式の画面が開いたら「Suchanfrage」（検索式）の欄に、検索式を入力する。



以下に検索式の例を挙げる。検索式については、1章4節「検索具体例」でさらに詳しい例を挙げる。

a) 一語（Mond）を検索するには：

**Mond**

b) 連続する2語（schwimmen gegangen）を検索するには：

**schwimmen gegangen**

<sup>1</sup> ログイン後に、コマンド検索画面を開かないようにするには、メニューの「Optionen」>「COSMAS II Begleiter」から「Zeileneingabe-Fenster beim Start öffnen」（スタート時にコマンド入力画面を開く）のチェックを外す。

あるいは

**schwimmen /+w1 gegangen**

c) 動詞 *kommen* の全ての変化形を検索するには：

**&kommen**

d) 名詞 *Spiel* の全ての変化形を検索するには：

**&Spiel**

e) 助動詞 *werden* と過去分詞 *gewechselt* の共起（受動文）を検索するには：

**gewechselt /s0 &werden<sup>1</sup>**

f) 分離動詞 *herausfordern* の全ての変化形を検索するには：

**&herausfordern oder (&fordern /+s0 heraus)<sup>2</sup>**

③次に、必要に応じて、「Such-Optionen」（検索オプション）ボタンをクリックし、オプションを設定する。

a) Suchmodalitäten（検索方式）の枠では、変化形を含まない検索の場合、検索語の綴りのうち（第一文字、あるいはそれ以外の）大文字・小文字を考慮するかしないか（Groß/Klein beachten）を設定できる。また、ウムラウトなどの補助符号を考慮するか（Diakritische Zeichen beachten）も選択できる。いずれも考慮する場合には、チェックボックスにチェックを入れる。

---

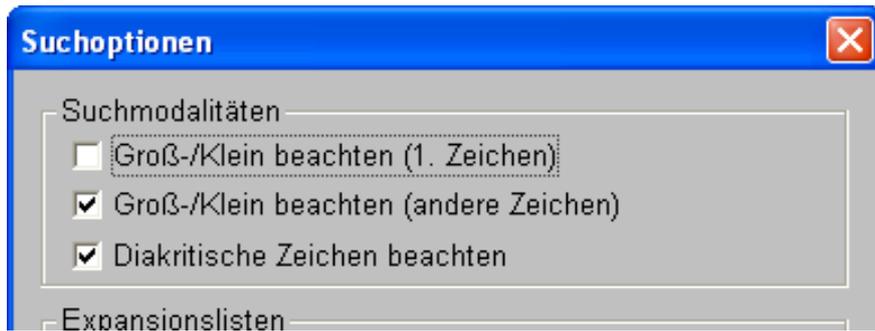
<sup>1</sup> 「s」は文を表し、「/s0」は「同一の文内に前後の語があること」を表すが、IDS のコーパスでは現在、「.」「?」「!」「:」などまでが一文と見なされている。そのため、コーパス上で、これらの記号までの間に文が複数含まれている場合（例えば、主文と副文がある場合）、検索された *werden*（の変化形）と *gewechselt* などが必ずしも文法的に結びついているとは限らないので、注意が必要である。現時点では、このような事例は手作業で見分けなければならない。

例えば、以下の例は、*gewechselt* と *werden* の変化形 *werde* が現れているが、過去分詞 *gewechselt* は受動の助動詞 *werde* と結びついているわけではない。

Jetzt, da der Mann zur FPÖ *gewechselt* sei, *werde* er verfolgt und ...

<sup>2</sup> 上の例と同様に、(**&fordern /+s0 heraus**)については、検索された *fordern*（の変化形）と *heraus* が必ずしも文法的に結びついているとは限らないので、注意が必要である。例えば、以下の例には、*fordern* の変化形 *forderte* と *heraus* が現れているが、*heraus* は *forderte* と結びついているわけではない。

Mortier *forderte*, "am Endpunkt der Evolution einer bürgerlichen Gesellschaft" die Tradition neu einzuordnen und zu betrachten, um aus ihr *heraus* "neue Modelle für die Zukunft zu entwerfen".

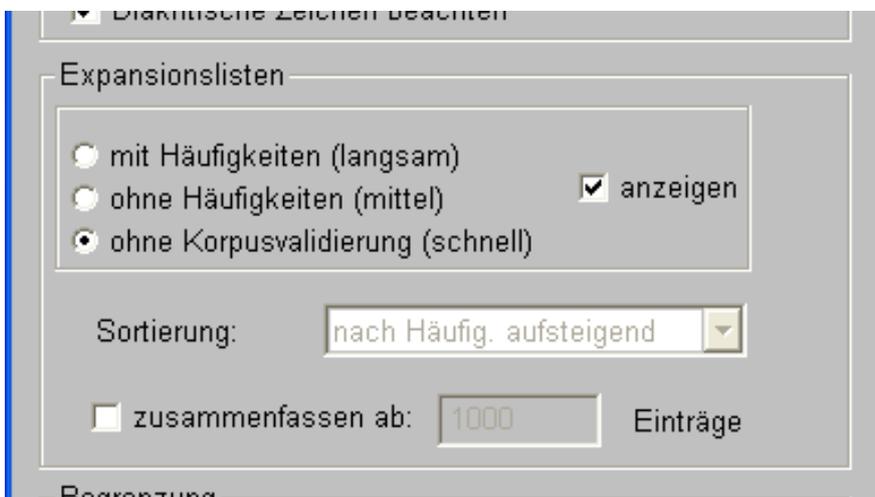


b) Expansionslisten (候補リスト) の枠では、検索語の候補を選択する画面 (Suchbegriff-Expansionslisten) を表示する (anzeigen) かどうかを決定できる。

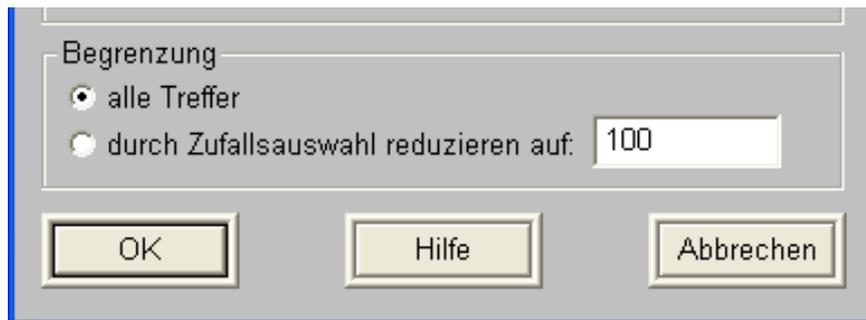
表示する場合、ボックスにチェックを入れる。また、検索語の候補を頻度と共に表示するか (mit Häufigkeiten)、頻度を表示しないか (ohne Häufigkeiten)、ヴァリエーションを表示しないか (ohne Korpusvalidierung) のうち一つを選択する。

頻度表示 (mit Häufigkeiten) を選択した際は、ソート (Sortierung) 基準の選択もでき、候補を頻度順に表示するか (nach Häufigkeiten aufsteigend/absteigend)、アルファベット順に表示するか (alphabetisch aufsteigend/absteigend)、逆引きで表示するか (rückläufig aufsteigend/absteigend) という選択もできる。それぞれ、昇順 (aufsteigend) と降順 (absteigend) のヴァリエーションがある。

事例数が多い場合、zusammenfassen ab: ... Einträge の行頭にあるボックスにチェックを入れると、～語以上はまとめて表示するという設定も可能である。

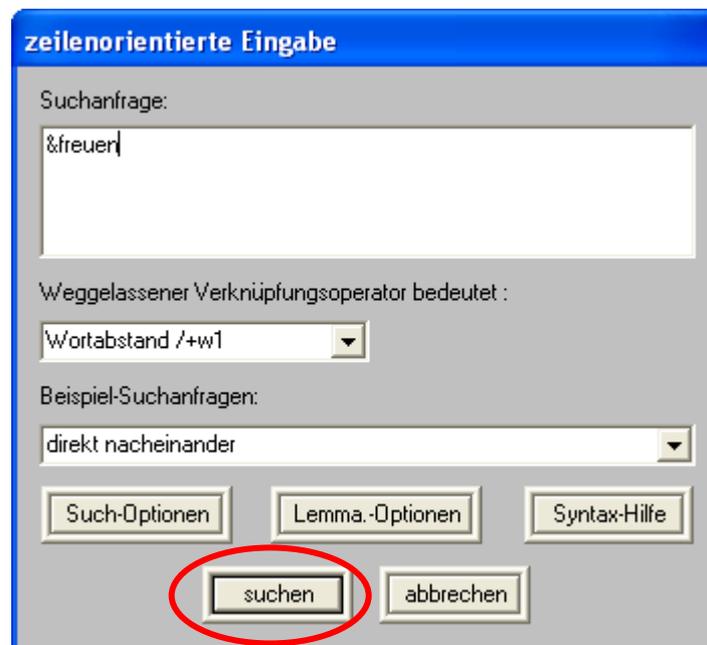


c) Begrenzung (制限) の枠では、全ての事例を表示させるか (alle Treffer)、任意選択によって、～語に制限するか (durch Zufallsauswahl reduzieren auf: ...) を選択できる。



以上の設定が終わったら「OK」ボタンをクリックする。

- ④オプションの設定が終了したら「suchen」(検索)ボタンをクリックする。  
(検索式で複数候補等の設定をした場合→2.4「候補リストの処理」へ)  
(検索式で複数候補等の設定をしていない場合→2.5「結果表示」へ)



## 2.4 候補リストの処理

検索式で変化形等の設定をした場合、検索の候補が表示される。そこで、結果に含める語と含めない語を選別する。

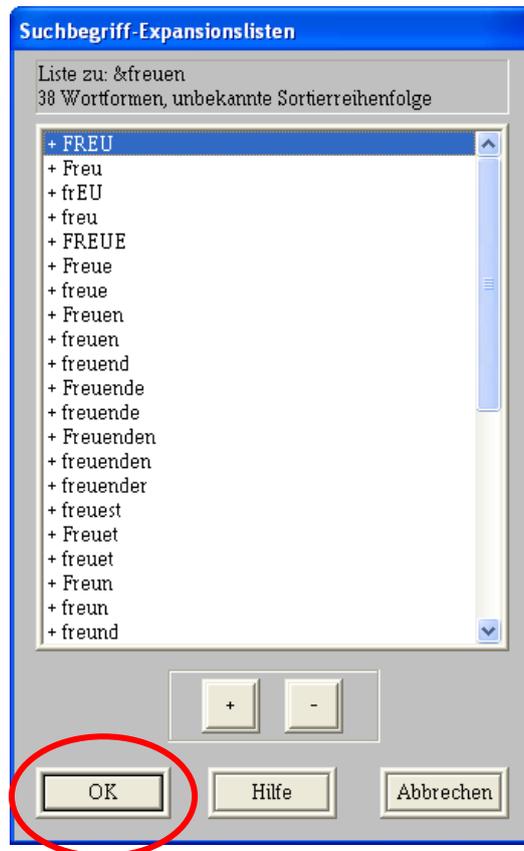
①検索式を記入後、「suchen」(検索)をクリックし、該当する文字列の候補の検索が終わると「Suchbegriff-Expansionslisten」(検索語候補リスト)の画面が表示される。

②リストに上っている候補を検索対象から外すには、該当する語の前に付いている「+」マークを「-」マークにする。「-」に変更するには、該当する語をダブルクリックするか、当該の語を選択した上で、下方の「-」ボタンをクリックする。

なお、連続した行の語を複数選択するには、先頭の語をクリックしたまま下の行までドラッグする。離れた行の語を複数選択するには、Ctrl キーを押したまま、該当の語をクリックする。

③全ての語を設定できたら、「OK」をクリックする。

検索式に複数の語を記入した場合は、それぞれの語の候補を設定する画面が現れるので、上記の手順に従って設定する。<sup>1</sup>

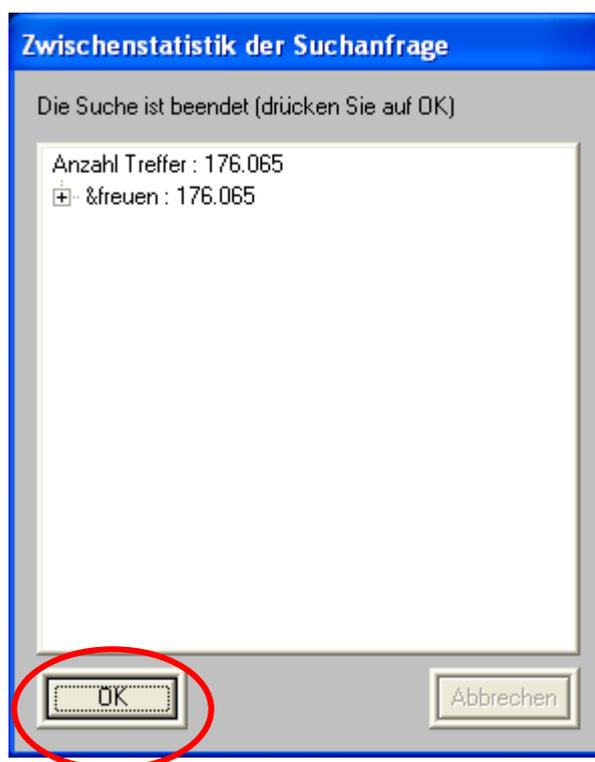


<sup>1</sup> 語によっては、この画面で候補が大量に提示され、選択が困難な場合もある。最終的に出力したデータを手作業で分別するのであれば、候補リストの段階で無理に取捨選択する必要はないと思われる。

## 2.5 ヒット数表示

検索の後、まずヒットした事例数が表示される。

- ①変化形を決定し、「OK」をクリックすると、途中、「Zwischenstatistik der Suchanfrage」(検索語の中間統計)が表示される。この画面では、検索語の事例数が表示される。なお、ここで「+」マークをクリックすると、候補語との事例数が表示される。確認の上、「OK」をクリックする。



注①：初回ログインの場合、上記の直後に、黄色の画面が開き、COSMAS II ガイドのオプション (Option des COSMAS II-Begleiter) が設定できる。

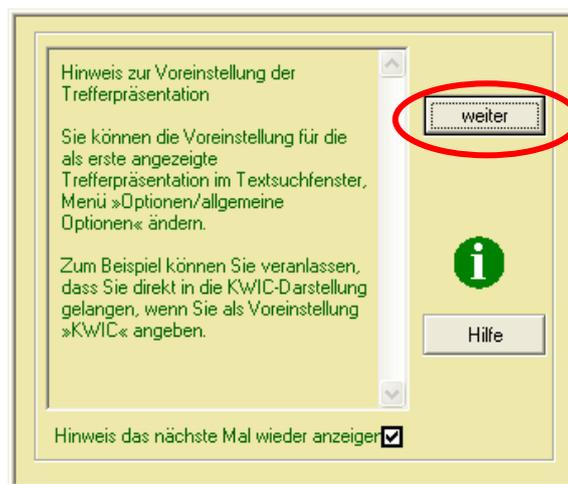
検索式を入力した後、自動的に「結果画面」(Ergebnisfenster) を開くには「EIN」(オン) ボタンを、「基本画面」のままにするには「AUS」(オフ) をクリックする。

ここでは、「AUS」(オフ) を選択した場合を説明していく。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> このオプションは、メニューの「Optionen」>「COSMAS II Begleiter」から「Ergebnisfenster am Ende einer Suche öffnen」(検索語に結果画面を開く) にチェックを入れることでも設定できる。なお、次回この黄色の画面を表示しないようにするには、下方のボックスのチェックを外す。

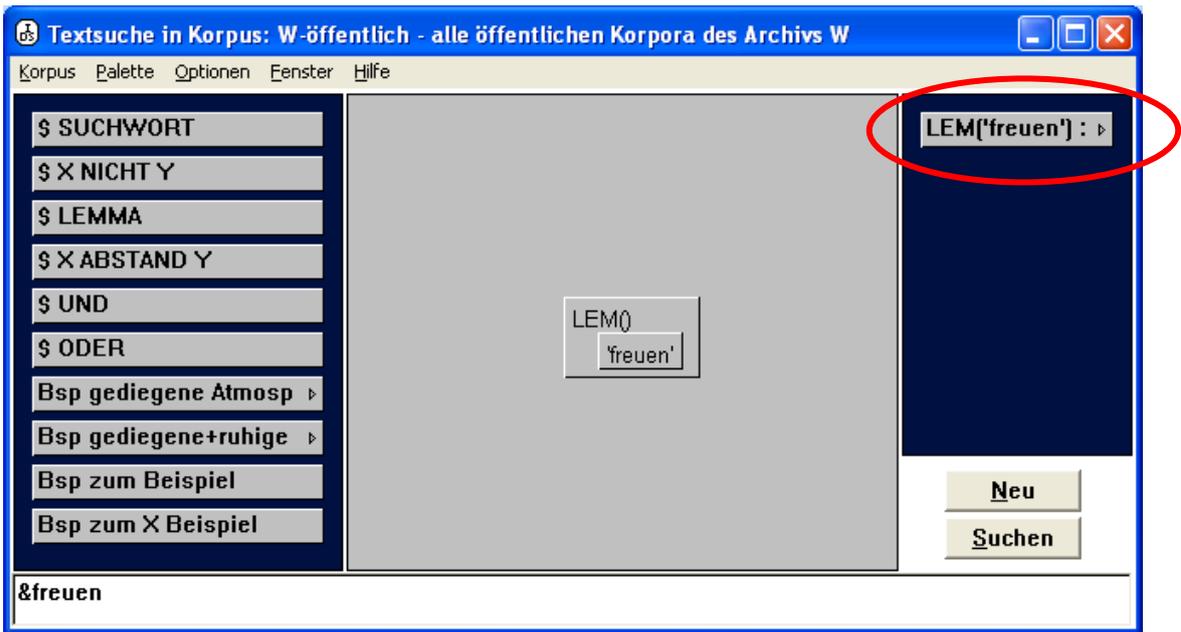


注②：初回ログインの場合，上記の直後に，再び黄色の画面が開き，「ヒント」(Hinweis) が現れる。ここには，ヒットの表示方法をメニューの「Optionen」(オプション) > 「allgemeine Optionen」(一般オプション) で設定できることが書かれている。本書では，以下の③でその設定を行う。内容を確認したら「weiter」(進む) をクリックする。<sup>1</sup>



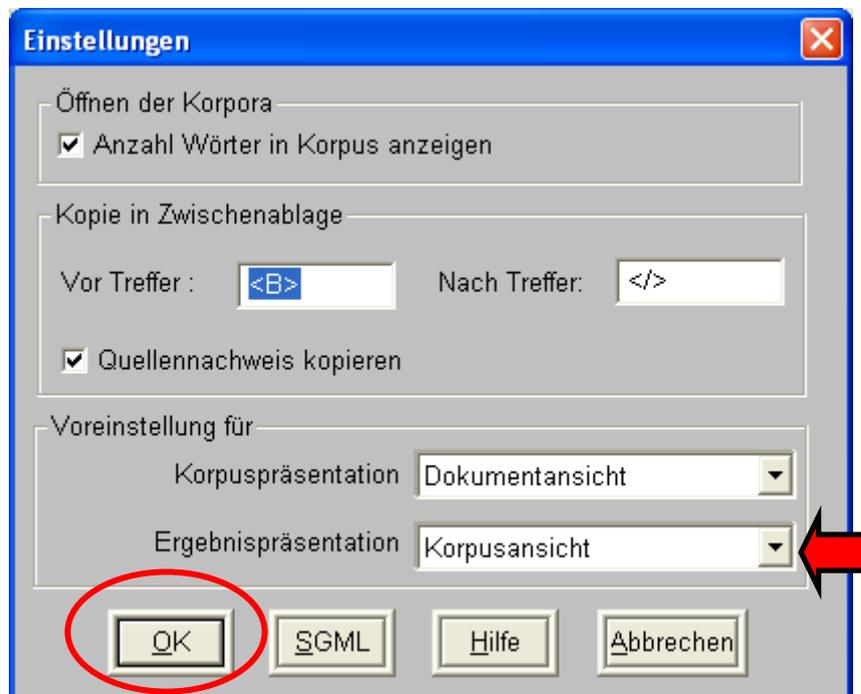
②次に，基本画面の右の結果欄に，新たな表示が現れたことを確認する。検索の結果，該当事例があった場合は，右側の結果欄に結果アイコンが表示される。該当するアイコンをダブルクリックすれば，結果が表示される。また，右クリックでエクスポート等の作業も可能である。

<sup>1</sup> 次回この黄色の画面を表示しないようにするには，下方のボックスのチェックを外す。



③必要に応じて、オプションを設定する。

メニューの「Optionen」(オプション) > 「Allgemeinen」(一般) から、「結果表示のデフォルト」(Voreinstellung für Ergebnispräsentation) の形式を選択する。ここで、「コーパス表示」(Korpusansicht) を選択すると、結果画面でコーパス毎の集計が表示される。



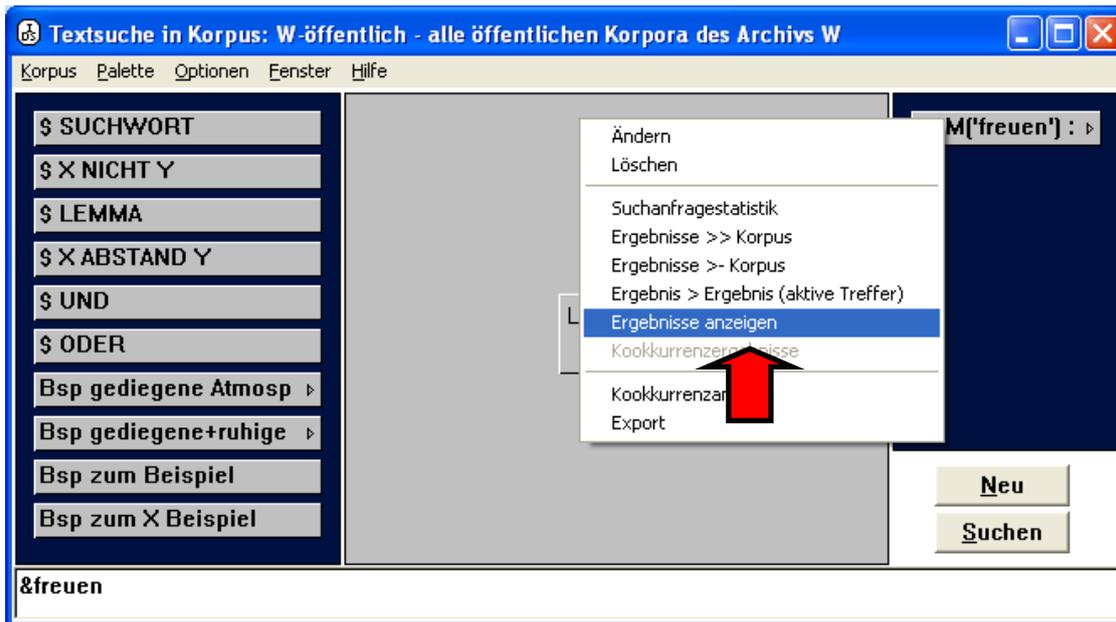
## 2.6 KWIC表示

検索結果としてヒットした事例は KWIC 形式で表示することができる。

### 1) コーパスごとの表示

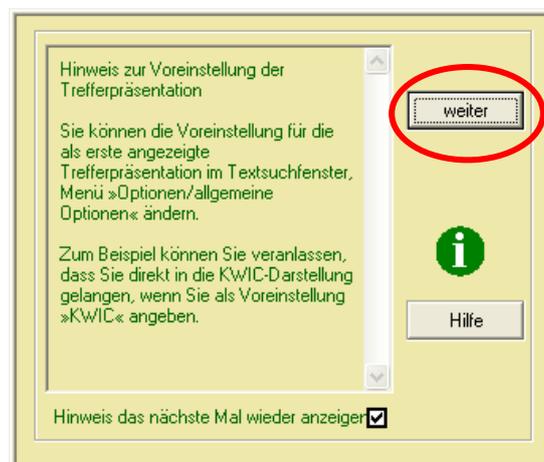
①基本画面の右の結果欄に現れた結果表示をダブルクリックする。

あるいは以下のように、右クリックでメニューを表示した上で、「Ergebnisse anzeigen」（結果を表示）を選択する。



注①：初回ログインの場合，上記の直後に，黄色の画面が開き，「事例表示のデフォルトについてのヒント」（Hinweis zur Voreinstellung der Trefferpräsentation）が現れる。

上記で設定したように，最初の結果表示画面で，デフォルトとする画面を選択できることが書かれている。確認後，「weiter」（進む）をクリックする。<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 次回この黄色の画面を表示しないようにするには，下方のボックスのチェックを外す。

②次に、結果表示画面が開き、検索語の事例数（Treffer）と、該当テキスト数（Texte）、該当する年（Jahr (min)～Jahr (max)）が、コーパス名（Korpus）ごとに表示される。たとえば、以下の 1 行目では、A97 という 1997 年のコーパス（St. Galler Tagblatt 1997）には、2160 のテキストに 2422 ヒットがあると表示されている。

Treffer	Texte	Jahr (min)	Jahr (max)	Korpus
2.422	2.160	1997	1997	A97 St. Galler Tagblatt 1997
5.769	5.059	1998	1998	A98 St. Galler Tagblatt 1998
6.924	6.006	1999	1999	A99 St. Galler Tagblatt 1999
6.511	5.702	2000	2000	A00 St. Galler Tagblatt 2000
4.122	3.632	2001	2001	A01 St. Galler Tagblatt 2001
...	...	...	...	...

なお、メニューの「Ansicht」から以下の表示方法を選択すると、コーパス以外にも、ドキュメント、日付などの単位で事例数が表示される。

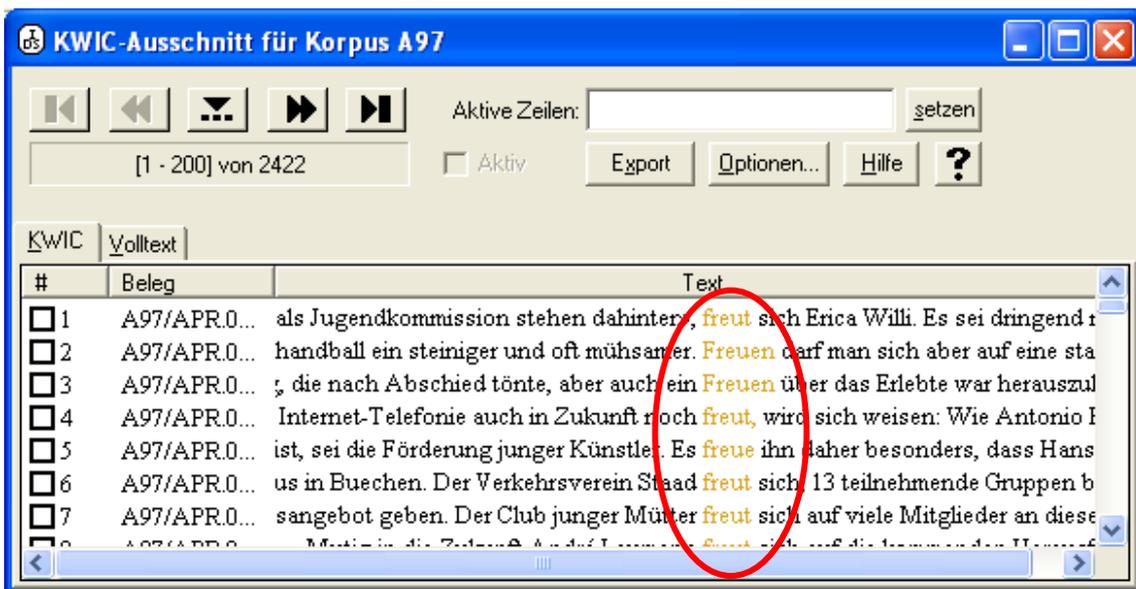
Dokumentansicht	ドキュメント単位
Korpusansicht	コーパス単位
Ansicht von/seit Wendepunkt	指定年の 1 月 1 日以前／以降
Ansicht nach Jahrzehnt	10 年単位
Ansicht nach Jahr	年単位
Ansicht nach Jahr/Monat	年月単位
Ansicht nach Jahr/Monat/Tag	年月日単位

## 2) KWIC画面

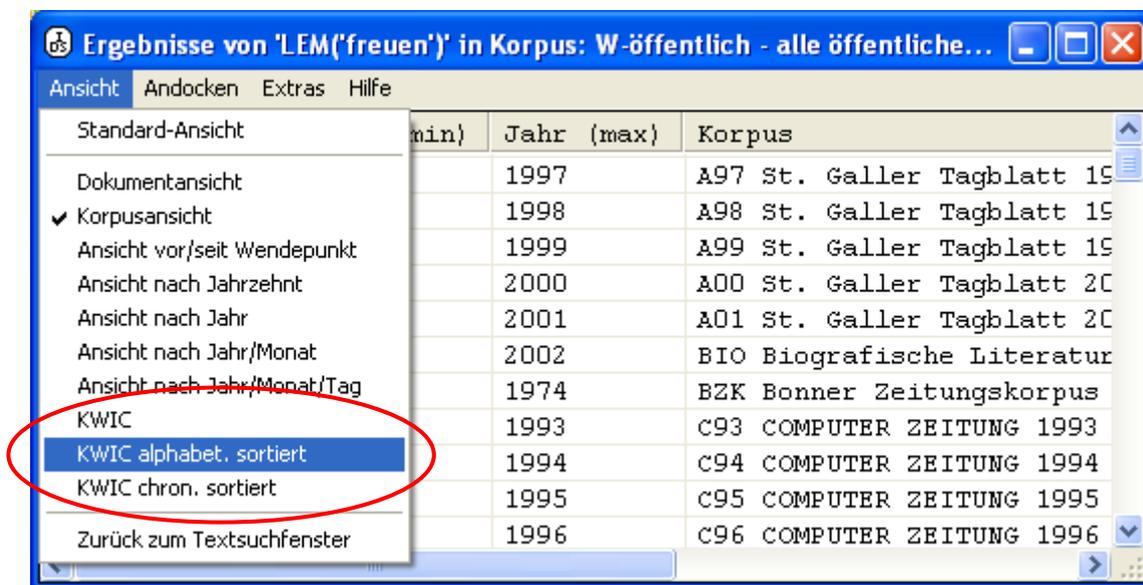
①事例を含むコーパスのリストから、特定の行をダブルクリックすると、そのコーパス（ドキュメント、年など）の例文が KWIC の形式で表示される。

KWIC画面では、事例毎に、チェックボックスと行番号（#），出典（Beleg），テキスト（Text）が表示される。テキストは検索語を中心に提示される。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 検索語に 2 語以上を入力した場合、ヒットした文の中で先行する 1 語が中心となって提示され、またこの語がアルファベット順ソートの Suchwort（検索語）と見なされる。



②コーパスのリストが表示される画面において、メニューの「Ansicht」（表示）から「KWIC」（KWIC 掲載順）、「KWIC alphabetisch sortiert」（KWIC アルファベット順ソート）、「KWIC chronologisch sortiert」（KWIC 年代順ソート）の表示方法を選択すると、コーパスやドキュメントの単位にかかわらず、全ての事例を一度に KWIC 表示できる。



③アルファベット順にソートする際には、ソートの基準とする語を選択する必要がある。

a) 「Alphabetische Sortierung des KWICs: Definition」（KWIC のアルファベット順ソート：定義）という名の画面が現れたら、第一の基準（1. Kriterium）から第三の基準（3. Kriterium）を採用するか否かをチェックボックスで指定し、基準とする語を指定する。

b) 基準の語は、「Suchwort」（検索語）、「1.Vorgänger」（検索語の1つ前の語）から「3.

Vorgänger」(検索語の3つ前の語), 「1. Nachfolger」(検索語の1つ後ろの語) から 「3. Nachfolger」(検索語の3つ後ろの語) のうちから選択する。<sup>1</sup>

c) ソート順を昇順ではなく降順にする場合は, 「rückläufig」のボックスにもチェックを入れる。

d) 「Sonderzeichen ignorieren」にチェックを入れると, 引用符など特殊記号を無視することができる。

e) その上で「OK」ボタンをクリックすると, アルファベット順の結果が表示される。



### 3) 全文表示

①文全体を表示するには, KWIC 画面に現れた事例の行をダブルクリックするか, 行を選択した上で「Volltext」(全文)のタブをクリックする。



②Volltext の画面では, 次のように出典と全文 (Volltext) が表示される。

<sup>1</sup> 検索語に2語以上を入力した場合, ヒットした文の中で先行する1語が中心となって提示され, またこの語がアルファベット順ソートの Suchwort と見なされる。

出典については、コーパスの略号（以下では A97）、ドキュメント名（APR）、テキスト番号（00015）とともに、詳しい出典情報（文書名、日付、記事名）が挙げられる。

全文の事例は、当該の一ヒットについて表示される。日本語 Windows においてはウムラウトが表示できない。そのため、フォントが途中で変わり、また、検索語をマークするはずの指定色が前後にずれていることが多い。ただし、エクスポートしたファイルでは正常に表示される。



③次の事例の全文表示を表示するには、左上の矢印をクリックするか、KWIC 画面に戻って、次の文を選択したうえで同様に表示する。

④必要に応じて、表示オプションを設定する。

KWIC 画面、全文画面の上部にある「Optionen...」（オプション）ボタンをクリックするか、基本画面のメニューの「Optionen」>「Anzeigeoptionen」（表示オプション）から、オプション画面を表示できる。



オプションでは、フォントの種類やサイズ、マークの色が変更できる。また、KWIC と全文 (Volltext) の表示において、検索語の前後の文脈を、どの程度表示するかを設定できる。単位は文字数 (Zeichen)、語数 (Wörter)、文の数 (Sätze)、段落数 (Absätze) である。例えば、以下の数値では、検索語とその前後 10 語が表示される。

vorher: 10

nachher: 10 Wörter

さらに、KWIC の枠内では、ページサイズ (Seitengröße) の欄で、1 頁に表示する行 (事例) の数を指定することもできる。

**Anzeigeoptionen**

Anzeige  
Times New Roman 10

Franz jagt im komplett verwahrlosten Taxi quer durch B

Markierungsfarbe: Goldrute

KWIC  
vorher: 10  
nachher: 10 Wörter  
Seitengröße: 200

Volltext  
vorher: 0  
nachher: 0 Absätze

OK  
Abbrechen  
Hilfe

## 2.7 結果のエクスポート

検索結果は、COSMAS II プログラムの中で閲覧するだけでなく、ファイルとしてエクスポートし、保存することができる。

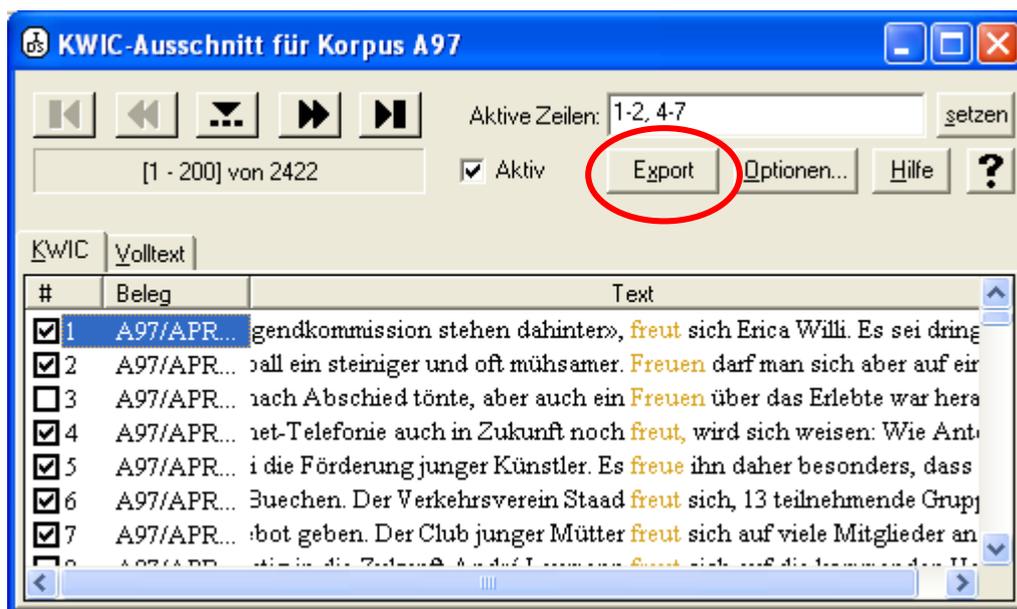
①エクスポートする事例を決定する。

全ての事例をエクスポートする場合、上部中央の「Export」(エクスポート) ボタンをクリックする。

特定の事例のみをエクスポートする場合、まず、次のいずれかの操作を行う

- 該当する行のチェックボックスにチェックを入れる。
- 行を選択した上で上部中央の「Aktiv」(アクティブ) の左のボックスにチェックを入れる。
- 上部中央の「Aktive Zeilen:」(アクティブな行) の右の欄に行番号を入力し、「setzen」(設定) ボタンをクリックする。

エクスポートする事例が決定したら、「Export」(エクスポート) ボタンをクリックする。



②オプション画面が表示されるので、設定を行う。

a) 「データフォーマット」 (Dateiformat) は「TXT」 (テキスト形式) と「RTF」 (リッチテキスト形式) から選択する。「TXT」の場合、プログラムによってウムラウトが文字化けすることがある。「RTF」の場合、Word で開くことができ、検索語や出典が太字で表示される。

b) 「フォントサイズ」 (Schriftgröße) は好みに応じて設定する。用紙の向き (Orientierung) は A4 縦 (A4-Hochformat) か A4 横 (A4-Querformat) から選択する。横にすると、KWIC の行も長くなる。

Exportoptionen

Dateiformat: RTF  Datei anhängen

Schriftgröße: 12 Orientierung: A4-Hochformat

Übersicht über die Ergebnisse : nach Korpussigle

c) 「結果の概要」 (Übersicht über die Ergebnisse) を表示する際には、行頭のボックスにチェックを入れる。結果画面で一度表示したものから「nach Dokumenten」 (ドキュメント順), 「nach Korpussigle」 (コーパス略号順) などで事例数を提示できる。

<sup>1</sup> 事例の表示を Zufallauswahl (無作為抽出) に設定している場合、「結果の概要」 (Übersicht über die Ergebnisse) は表示できない。また、KWIC で aktiv として選択していない事例についても記載される。

d) 「KWIC」の結果を表示する際には、行頭のボックスにチェックを入れる。2.6 3)と同様、検索語の前後を、どの程度表示するかを設定できる。単位は文字数 (Zeichen)、語数 (Wörter)、文の数 (Sätze)、段落数 (Absätze) から選択が可能となっている。例えば、以下の値は、前後 0 文を表示する指定となっており、検索語を含む文のみが表示される。

The screenshot shows a search interface with the following settings:

- KWIC :
- vorher: 0
- nachher: 0
- Unit: Sätze (selected from a dropdown menu)
- KWIC und Belege:**
  - gewünschte Reihenfolge: original/unsortiert (selected from a dropdown menu)
  - einschränken auf: 500 Zeilen/Belege
  - nur aktive Treffer

e) 「KWIC und Belege」(KWIC と例文)では、出力の対象とする事例表示について設定できる。「gewünschte Reihenfolge」(希望の順序)では、KWIC のソート順、「original/unsortiert」(ソートなし)、「alphabetisch sortiert」(アルファベット順)、「chronologisch sortiert」(年代順)の中から、既に一度表示したものを選択できる。

f) 「einschränken auf: ... Zeilen/Belege」(～行／例に制限する)では、行頭のチェックを入れると、ヒット数が多い場合などに、出力する事例数を制限できる。出力する事例を KWIC 画面で限定した場合「nur aktive Treffer」(アクティブなヒットのみ)のボックスにチェックを入れる。全ての事例をエクスポートする際は、チェックをはずす必要がある。

g) 例文を表示する際には、「Belege」の行頭のボックスにチェックを入れる。KWICと同様、検索に事例した語の前後を、どの範囲で表示するかを設定できる。

The screenshot shows a settings panel with two main sections. The left section, titled 'Belege', contains a checked checkbox, two input fields labeled 'vorher:' and 'nachher:' both containing the number '0', and a dropdown menu currently showing 'Sätze'. The right section, titled 'Quellennachweis', contains three checked checkboxes labeled 'exportieren', 'nachher', and 'fett'. Red arrows point from the text box above to the 'Belege' checkbox and the 'Sätze' dropdown.

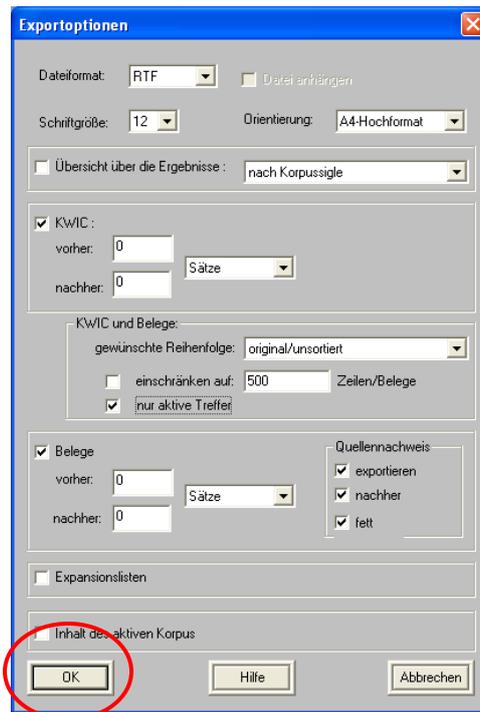
h) 「Quellennachweis」(出典証明)では、出典をエクスポートするか (exportieren)、その際、事例の後ろに表示するか (nachher)、太字表示にするか (fett) を設定できる。「nachher」にチェックを入れると、出典は事例と同じ行の後半に表示される。チェックを入れないと、出典と事例は別の行に表示される。

i) 「Expansionslisten」(拡張リスト)を表示する際には、行頭のボックスにチェックを入れる。検索時に選択した候補を出力できる。  
注：KWICでaktivとして選択していない事例についても記載される。

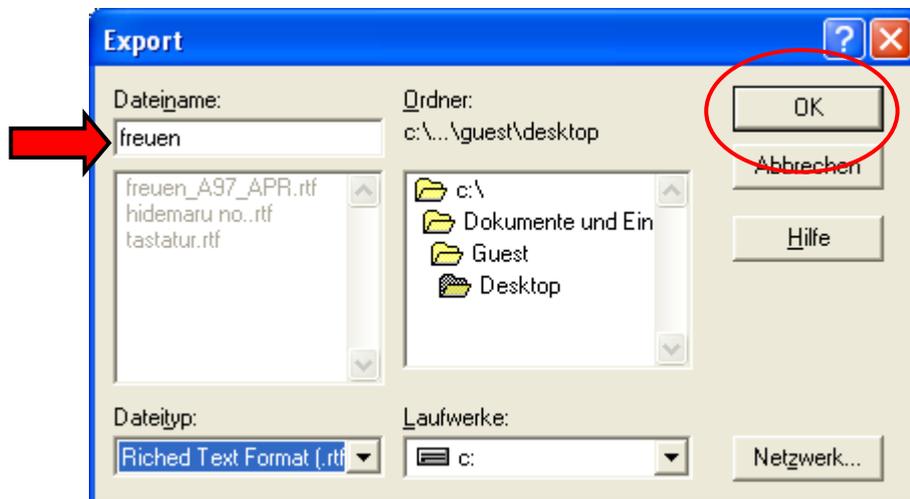
The screenshot shows a settings panel with two unchecked checkboxes: 'Expansionslisten' and 'Inhalt des aktiven Korpus'. Below these are three buttons: 'OK', 'Hilfe', and 'Abbrechen'. Red arrows point from the text box above to the 'Expansionslisten' checkbox and the 'Inhalt des aktiven Korpus' checkbox.

j) 「Inhalt des aktiven Korpus」(アクティブコーパスの内容)を表示する際には、行頭のボックスにチェックを入れる。検索範囲となった全てのコーパスについて、テキスト数、語数、ドキュメント名が出力される。

③オプションの設定後、「OK」をクリックする

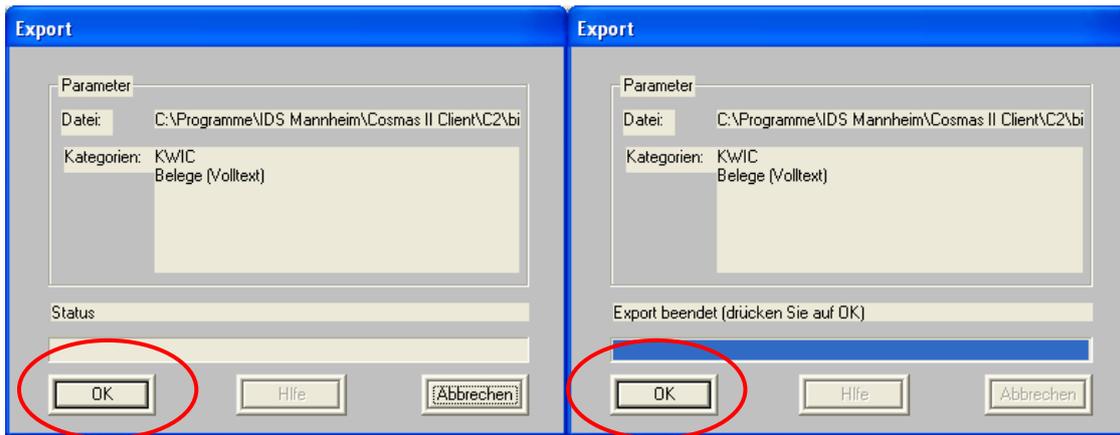


④次に、ファイル名 (Dateiname), 保存場所フォルダ (Ordner) を設定する画面が現れる。適切なファイル名を付け、保存場所を選択した後、「OK」をクリックする。



⑤その後、エクスポート作業状況を示す画面が現れる。「OK」をクリックすると、作業が始まり、終了すると下部の欄に「Export beendet (drücken Sie auf OK)」(エクスポート終了 (OKをクリックしてください)) と表示されるので、指示に従う。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 同名の既存ファイルがある場合、「…は既に存在します。上書きしますか?」というダイアログボックスが現れる。



⑥指定した保存場所フォルダにファイルが作成されたか確認し、開いてみる。すると概ね次のような形式になっている。KWIC 事例の下に全文の事例が表示されている。

© Institut für Deutsche Sprache, Mannheim  
COSMAS II, Version 3.6.1.3

---

日付 → Datum : Montag, den 12. November 2007, 6:38:30

ヴァーチャルコーパス → Korpus : W-öffentlich - alle öffentlichen Korpora des Archivs W

検索式 → Suchanfrage:  
&freuen

ヒット数 → Ergebnis : 176.065 Treffer

---

KWIC 概要 **KWIC-Übersicht (original/unsortiert)**

ヒット数 → Anz. Treffer = 176.065

エクスポート数 → Anz. exportierte Zeilen = 10000 (interne Begrenzung)

表示範囲 → Angezeigter Kontext: 0 Sätze links, 0 Sätze rechts.

注意書き → Es werden nur die markierten KWIC-Zeilen exportiert = 6.

---

KWIC 事例 → A97 stehen dahinter», **freut** sich Erica Willi.  
A97 und oft mühsamer. **Freuen** darf man sich  
aber auf



## 第4節 COSMAS II 検索具体例

### はじめに

本節では、COSMAS II のコマンド方式検索で用いることのできる具体例をいくつか挙げる。

A では、一語検索、二語検索の場合、また語の間隔を指定する場合を考慮した「用途別具体例」をまとめた。B では、動詞、名詞、副詞（形容詞述語的用法）、接続詞に分け、「品詞別具体例」をまとめた。

偶数ページ（左ページ）に検索語の入力例、奇数ページ（右ページ）に解説を掲載した。

なお、検索式については、次のサイトに詳細な記述がある：

<http://www.ids-mannheim.de/cosmas2/win-app/hilfe/suchanfrage/eingabe-zeile/syntax/>

### 目次

- A 用途別具体例
  - A1. 一語検索
  - A2. 二語検索
  - A3. 語の間隔
- B 品詞別具体例
  - B1. 動詞
  - B2. 名詞
  - B3. 副詞（形容詞述語的用法）
  - B4. 接続詞

## A 用途別具体例

### A1. 一語検索

A1.1 特定の語形	Brief
	gehen
	groß
A1.2 ある語の様々な語形変化形	&Brief
	&gehen
	&groß
A1.3 任意の一文字を含む語	Mond?
	?ater
	Me?er
A1.4 連続した任意の文字数を含む語	Kreativität*
	*schirm
	Freu*schaft

### A2. 二語検索

A2.1 二語の両方を含むテキスト	Kohl und Helmut
A2.2 二語のいずれかを含む	Auto oder Wagen
A2.3 二語の一方を含み、一方を含まないテキスト	Kohl nicht Helmut

### A3. 語の間隔

A3.1 隣同士（一語以内）	finden Sie
	finden /w1 Sie
A3.2 特定の間隔以内	Gegenwart /w3 Zukunft
	Gegenwart /s2 Zukunft
	Gegenwart /p4 Zukunft
A3.3 特定の間隔の範囲	Gegenwart /s2:1 Zukunft
A3.4 提示通りの語順	finden / +w1 Sie
A3.5 提示と逆の語順	finden / -w1 Sie

特定の語形を検索する際には、その形を入力する。
ある語の語形変化形も含めて検索する場合、語頭に「&」を入力する。
任意の一文字を含む語を検索する場合、その文字は「?」で表す。
任意の文字列（0文字以上）を含む場合、その文字列は「*」で表す。

二語の両方を含むテキストを検索する場合、二語の間に「und」を入れる。
二語のいずれかを含むテキスト（文）を検索する場合、二語の間に「oder」を入れる。
一語（Kohl）が含まれ、もう一語（Helmut）が含まれないテキストを検索する場合、二語をこの順序で並べ、間に「nicht」を入れる。

隣り合う二語を検索する場合、並び順通りに二語を並べる（Verknüpfungsoperatorは「Wortabstand /+w1」にしておく）。
隣り合う二語を順不同で検索する場合、「/w1」を入れる。
二語の距離が3語以内の場合、間に「/w3」を入れる。
二語の距離が2文以内の場合、間に「/s2」を入れる。
二語の距離が4段落以内の場合、間に「/p4」を入れる。
二語の距離が1文以上2文以内の場合、間に「/s2:1」を入れる。
提示どおりに二語が現れる文を検索する場合、間隔を表す記号に「+」を加える。
提示と逆順に二語が現れる文を検索する場合、間隔を表す記号に「-」を加える。

## B 品詞別具体例

### B1. 動詞

B1.1 動詞単独	gegangen
	&gehen
	zer*
B1.2 動詞と前置詞	&warten /s0 auf
	&warten %s0 auf
B1.3 動詞といずれかの名詞	(Landschaft oder Gegend) /s0 &schauen
B1.4 副詞といずれかの動詞	offen /s0 (&sprechen oder &diskutieren)
B1.5 話法の助動詞と本動詞	&können /s0 sprechen
B1.6 受動文	&werden /s0 zerstört
	&werden /w5 zerstört
B1.7 基礎動詞と分離前つづり	&fordern /+s0 heraus
B1.8 分離動詞	&herausfordern oder (&fordern /+s0 heraus)

### B2. 名詞

B2.1 名詞単独	Herzens
	&Herz
	*heit
	Ver*
	die Email

動詞の特定の変化形 (gegangen) のみを検索する場合、その形を入力する。
ある動詞 (gehen) を変化形 (gehe, gehst, geht, gehen, ging, gingen, gegangen など) も含めて検索したい場合、不定形の語頭に「&」をつける。
ある接頭辞 (zer) を持つ語を検索する場合、その接頭辞の後ろに任意の文字列を表す「*」をつける。なお、名詞を除外する (文頭が小文字のものに制限する) には、検索オプション (Suchoptionen) の Suchmodalitäten で、「Groß-/Klein beachten (1.Zeichen)」のボックスにチェックを入れておく。
ある動詞 (warten の変化形) と、ある前置詞 (auf) が現れる文を検索する場合、「/s0」を二語の間に入れる。
ある動詞 (warten の変化形) が現れ、ある前置詞 (auf) が現れない文を検索する場合、「%s0」を二語の間に入れる。
二つの名詞 (Landschaft と Gegend) のいずれかが現れる文を検索する場合、二語を「oder」で繋ぐ。いずれかの名詞 (Landschaft あるいは Gegend) が現れ、かつ、ある動詞 (schauen の変化形) が現れる文を検索したい場合、前者の検索式を ( ) で囲み、「/s0」を二つの式の間に入れる。
ある副詞 (offen) とある動詞 (sprechen の変化形 あるいは diskutieren の変化形) が現れる文を検索する場合、「/s0」を二語の間に入れる。
ある助動詞 (können の変化形) と、ある動詞 (sprechen) が現れる文を検索する場合、「/s0」を二語の間に入れる。
ある助動詞 (werden の変化形) とある動詞の過去分詞 (zerstört) が現れる文を検索する場合、「/s0」を二語の間に入れる。
ある助動詞 (werden の変化形) から 5 語以内の距離に、ある動詞の過去分詞 (zerstört) が現れる文を検索する場合、「/w5」を二語の間に入れる。
ある動詞の基礎動詞 (fordern の変化形) と前綴り (heraus) が提示した順番で現れる文を検索する場合、「/+s0」を二語の間に入れる。
ある分離動詞 (herausfordern) の基礎動詞 (fordern の変化形) と前綴り (heraus) が提示した順番で現れる文を検索する場合、「/+s0」を二語の間に入れる。分離動詞 (herausfordern の変化形)、あるいはその基礎動詞と前綴りの組合せ (fordern の変化形 と heraus の組合せ) のいずれかが現れる文を検索する場合、二者を「oder」で繋ぐ。

特定の変化形 (Herzens) のみを検索する場合、その形のみを入力する。
名詞 (Herz) について変化形 (Herz, Herzen, Herzens など) も含めて検索する場合、不定形の語頭に & をつける。
接尾辞 (heit) を持つ語を検索する場合、接尾辞以外の部分は、任意の文字列を表す「*」で代用する。
接頭辞 (Ver) を持つ語を検索する場合、接頭辞以外の部分は、任意の文字列を表す「*」で代用する。
定冠詞に「&」記号は付けられないため、検索語に定冠詞を用いる場合、特定の語形を入力す

B2.2 冠詞と名詞	das Email
	des & Herz
B2.3 付加語的形容詞と名詞	& schön & Wetter
B2.4 述語的形容詞と名詞	schön /s0 Wetter
B2.5 形容詞つき名詞と動詞	((schöne oder große) /+w3 Augen) /s0 & machen
B2.6 名詞と付加語的名詞	Tag der offenen Tür
	((Tag /+w1 der) /+w1 offenen) /+w1 Tür
B2.7 名詞と前置詞	& Eintrittskarte für das

### B3. 副詞（形容詞述語的用法）

B3.1 副詞単独	sehr
	& gern
B3.2 二語	darüber hinaus
	darüber /+w1 hinaus
	hinaus /-w1 darüber
B3.3 副詞と疑問符	denn /s0 ?
B3.4 副詞と動詞	gern /s0 & machen

### B4. 接続詞

B4.1 接続詞単独	weil
	& dass
	„oder“
B4.2 接続詞とコンマ	weil /-w1 ", "
B4.3 コンマなしの接続詞	weil nicht (weil /-w1 ", ")

る。
特定の定冠詞と、名詞の変化形を検索する場合、名詞のみに「&」記号をつける。
連続する付加語的形容詞 (schön) と名詞 (Wetter) を検索する場合、変化形も含めるためには、それぞれ語頭に&をつけ、二語を隣り合わせにする。
述語的形容詞 (schön) と名詞 (Wetter) の共起を検索する場合、「/s0」を二語の間に入れる。
形容詞 (schöneあるいはgroße) つきの名詞 (Augen) と動詞 (machen) の共起を検索する場合、形容詞から名詞が3語以内とするには「/w3」を二語の間に入れ、この形容詞付き名詞と動詞の変化形が同じ文とするにはその間に「/s0」を入れる。
連続する数語を検索する際には、並び順通りに二語を並べる (Verknüpfungsoperatorは「Wortabstand /+w1」にしておく)。
間隔を表す記号 (/+w1) を2つ以上使う場合、まとまりを括弧で表示する。
「&Eintrittskarte des」などと比較して、定冠詞と隣り合う前置詞の有無を検索する場合、具体的な定冠詞 (das, des) を入れる。定冠詞に変化形を求める記号 (&) は用いることができない。

特定の変化形 (sehr) を検索する場合、その形を入力する。
比較級なども含めて、検索する場合、「&」を語頭に入れる。
連続する2語はそのまま入力できる。
ある副詞 (darüber) から1語 (w) 以内の距離に、もうひとつの副詞 (hinaus) が提示した語順 (+) で現れる文を検索したい場合、「/+w1」を二語の間に入れる。
ある副詞 (hinaus) から1語 (w) 以内の距離に、もうひとつの副詞 (darüber) が提示した語順と逆の語順 (-) で現れる文を検索したい場合、「/-w1」を二語の間に入れる。
副詞 (denn) と疑問符 (?) と共起する文を検索する場合、副詞と疑問符の間に「/s0」を入力する。
副詞 (gern) と動詞 (machenの変化形) が共起する文を検索する場合、副詞と動詞の間に「/s0」を入力する。

接続詞 (weil) を単独で検索する場合、その形を入力する。
新旧正書法の両方の形を検索する場合、語頭に「&」を入れる。
検索式に用いられるund, oder, nichtを文字列として検索する際は引用符を用いる。
接続詞 (weil) の直前にコンマ (,) が現れる文を検索する場合、コンマを引用符で囲み、二者の間に「/-w1」を入れる。
接続詞 (weil) が現れ、かつ直前にコンマがない文を検索する場合、接続詞 (weil) のある文から、直前にコンマがあるもの ((weil /-w1 ",") を除く (nicht) という式を用いる。



## 第2章 BBAW のコーパス

- 第1節 DWDS コーパスの概要
- 第2節 DWDS コーパスマニュアル
- 第3節 DWDS コーパス検索具体例

### 第1節 DWDS の概要

Projekt "Digitales Wörterbuch": online-Ressourcen (<http://www.dwds.de>)

#### 0. はじめに

ベルリン・ブランデンブルク科学アカデミー (Berlin-Brandenburgische Akademie der Wissenschaften: BBAW) では, 2000 年以降, 「20 世紀ドイツ語の電子辞書プロジェクト (Projekt „Digitales Wörterbuch der deutschen Sprache des 20. Jahrhunderts“: Projekt DWDS)」を進めてきた。このプロジェクトは, ウェブサイト上で利用できる, 20 世紀ドイツ語の電子辞書システムを開発することを目的としたもので, とりわけ電子辞書とコーパスを関連付けているという点で特徴的である。

電子辞書システムは, 1952 年から 1977 年にかけてドイツ科学アカデミー (1972 年 10 月以降はドイツ民主共和国科学アカデミー) によって作成された「現代ドイツ語辞典 (Wörterbuch der deutschen Gegenwartssprache: WDG)」をデジタル化し, それに 20 世紀ドイツ語のコーパスを関連付け, さらにコロケーション分析などの独自の辞書モジュールを組み込む形で作成された。

本節では, このプロジェクトで構築したオンラインドイツ語コーパス (以下, 「DWDS コーパス」と呼ぶ) の概要を示す。

#### 目次

1. [コーパスの構成](#)
2. [コーパスの特徴](#)
3. [利用条件および利用上の制約](#)
4. [付録](#)

## 1. コーパスの構成

DWDS コーパスは、以下のようなコーパスで構成されている。

- (1) 一般コーパス (Allgemeine Corpora)
  - ① DWDS-Kerncorpus
  - ② "Juilland-D"-Corpus
- (2) 特殊コーパス (Spezialcorpora)
  - ① Corpus Gesprochene Sprache (話し言葉コーパス)
  - ② DDR-Corpus (ドイツ民主共和国コーパス)
  - ③ Corpus Jüdischer Periodika (ユダヤ人定期刊行物コーパス)
  - ④ Corpus Anonymisierung von Eigennamen (固有名詞非表示化コーパス)
- (3) 新聞コーパス (Zeitungscorpora)
  - ① ZEIT-Corpus
  - ② Corpus Berliner Zeitung
  - ③ Tagesspiegel-Corpus
  - ④ Corpus der Potsdamer Neuesten Nachrichten
  - ⑤ DWDS-Ergänzungscorpus
- (4) Berliner Wendecorpus

これらのうち(1)①のDWDS-Kerncorpusは、年代・テキストカテゴリーの配分の面でバランスのとれた1億語規模のコーパスで、DWDSの代表的なコーパスとして位置づけられている。なお、(4)のBerliner Wendecorpusは、ベルリン自由大学のプロジェクトで構築された話し言葉コーパスであるが、他のDWDSコーパスと同様に、DWDSのウェブサイト (<http://www.dwds.de>) で利用できるようになっている。それぞれのコーパスの詳細については、[付録4.1「コーパス一覧」](#)を参照されたい。

## 2. コーパスの特徴

DWDS コーパスは、次のような特徴を持つ。

(1) 検索結果の表示に関して：

- ・ 文およびドキュメントの正確なヒット数が表示される
- ・ 日付によるソートが可能である
- ・ 文レベルの検索／ドキュメントレベルの検索の選択が可能である

(2) 伝統的な検索方法として：

- ・ 演算子検索 (Boolsche Suche: UND, ODER, NOT)
- ・ 共起検索 (順序指定／順序未指定) (Abstandssuche (sowohl gerichtet als auch symmetrisch))：2つ以上の語が共起している文の検索 (2つの語の距離を指定することもできる)

【例】

検索式	結果
@wird && nicht (symmetrisch)	wird と nicht の順序に関係なく、両者を含む文 (順不同)
"@wird #20 nicht" (gerichtet)	wird が nicht に先行しており、両者の間に 0～20 語 (任意) を含む文 (順一致)

- ・ 短縮検索 (Links- und Rechtstrunkierung)：任意の綴りを含む語の検索

【例】

検索式	結果
Arzt*	Arzt で始まる語 (Arzt, Arztbesuch, Arztberuf など) を含む文
*arzt	Arzt で終わる語 (Sportarzt, Hausarzt など) を含む文

(3) とりわけ言語研究に有効な検索方法として：

- ・ タグ情報——形態に基づくタグ (Morphologie) と品詞に基づくタグ (PoS-Tagger) ——が付与されており、それに基づく検索が可能 (DWDS-Ergänzungscorpus を除く)。

① 形態タグに基づく検索

【例】

検索語	結果
gehen	gehe, ging, gegangen などを含む文
Arzt	Arzt, Arztes, Ärzte などを含む文
gutes Restaurant	besseres Restaurant, bestes Restaurant, beste Restaurants などを含む文

\*新正書法によって、綴りの変化がある語を検索する場合は、検索語の前にレンマを示す「\$l=」を加えると、新正書法の変化形を含む文もヒットする。

【例】

検索語	結果
müssen	muß, müßte, müssen などを含む文
\$l=müssen	muß, muss, müßte, müsste, müssen などを含む文

② 品詞タグに基づく検索

【例】

検索式	結果
sein with \$p=PPOSAT	所有冠詞 sein (の変化形) を含む文
sein with \$p=VVFIN	助動詞 sein (の変化形) を含む文
Fischer with \$p=NN	普通名詞の Fischer (の変化形) を含む文
Fischer with \$p=NE	固有名詞の Fischer (の変化形) を含む文

\*品詞タグについては、[付録 4.2 「STTSタグセット」](#)を参照されたい。

- ・ 分類語彙辞典と関連付けられており、上位概念・下位概念の検索が可能
- ・ フレーズの検索が可能 (テキストに統語的タグ情報が付いている場合は、フレーズの範囲を指定することができる)

### 3. 利用条件および利用上の制約

#### 3.1 利用条件

- コーパスのデータは、全体として、直接的にも間接的にも、公開したり、放送で流したり、配布したりしてはいけない。
- コーパスの全体あるいは一部をいかなる形でも永久に保管してはいけない。
- 研究目的あるいは個人的な目的での利用に限られる。いかなる場合も営利目的での利用は固く禁じられている。

[http://www.dwds.de/pages/pages\\_textba/loginnutzung.html](http://www.dwds.de/pages/pages_textba/loginnutzung.html)

#### 3.2 利用上の制約

- 著作権の関係で、表示される事例数は最大 5000 例に限られる。
- ログインしない場合、利用可能なコーパスの規模（語数）が制限される。
- ログインした場合、利用可能なコーパスの規模は大きくなるが、実際表示されるのはウェブサイト上での表示が許可されている作品（図書目録で黄色のマークが付いている）の事例に限られる。まだウェブサイト上での表示が許可されていない作品（図書目録で赤色のマークが付いている）の事例は、統計処理（出現頻度）に反映されるのみである。

<http://www.dwds.de/cgi-bin/rest/loginstart?&qu=>  
[http://www.dwds.de/pages/pages\\_textba/dwds\\_textba\\_rech.htm](http://www.dwds.de/pages/pages_textba/dwds_textba_rech.htm)

## 4. 付録

### 4.1 コーパス一覧

#### (1) 一般コーパス (Allgemeine Corpora)

##### ① DWDS-Kerncorpus

- ・年代・テキストカテゴリーの面でバランスのとれた、最初の、20世紀ドイツ語のコーパス (プロジェクト DWDS の代表的なコーパス)
- ・年代: 20世紀 (1900年~2000年)
- ・規模: 1億語 (79,830ドキュメント)
- ・テキストの種類: 文学作品 (約26%), 新聞・雑誌など (約27%), 専門書 (約22%), 実用書 (約20%), 話し言葉のトランスクリプト (約5%)

<http://www.dwds.de/textbasis/kerncorpus>

##### ② "Juilland-D"-Corpus

- ・Juillandの規準による、年代・テキストの種類・規模の面でバランスのとれた1920年~1939年コーパス
- ・年代: 1920年~1939年
- ・規模: 50万語 (392ドキュメント)
- ・テキストの種類: ドラマ (20%; 6作品), 短編小説 (20%; 39作品), エッセイ (20%; 23作品), 新聞・雑誌 (20%; 286記事), 学術書 (20%; 38作品)

<http://www.dwds.de/textbasis/Juilland-D-Corpus>

#### (2) 特殊コーパス (Spezialcorpora)

##### ① Corpus Gesprochene Sprache (話し言葉コーパス)

- ・年代: 1900年~2001年
- ・規模: 200万5000語 (1500ドキュメント); 756人の発話
- ・内容: 様々な演説・スピーチ (1947年~1961年; 約20万語), ラジオの演説・スピーチ (1929年~1944年; 約40万語), オーストリアの議会プロトコルから抜粋したもの (1948年~1956年; 約20万語), Spiegelのインタビューから抜粋したもの (1980年~2000年; 約40万語), Literarischen Quartettから抜粋したもの (1988年~2001年; 45万語), プロジェクト *Emigrantendeutsch in Israel* (Salzburg大学のAnne Betten氏のプロジェクト) から抜粋したもの (1989年~1994年; 30万語), ドイツ連邦議会のプロトコルから抜粋したもの (1998年~1999年; 約30万語)
- ・635人については名前が公開されている (残りの121人については匿名)。名前は、KWIC形式の検索結果では略語で示されるが、その上にマウスを置くとフルネームが現れる。フィルター機能を使って、特定の人の発話を抽出することもできる (第2節 [「DWDSマニュアル」](#)の3.(2)の **Filter**を参照)。

- ② DDR-Corpus (ドイツ民主共和国コーパス)
  - ・年代：1949年～1990年
  - ・規模：900万語(1,150ドキュメント)
  - ・テキスト：1949年～1990年間にドイツ民主共和国で出版されたあるいはドイツ民主共和国出身の作家によって書かれたもの
  - ・フンボルト大学(Humboldt-Universität zu Berlin)との共同作業で今後さらに拡大される予定
- ③ Corpus Jüdischer Periodika (ユダヤ人定期刊行物のコーパス)
  - ・年代：1887年～1938年
  - ・規模：約2600万語(5万頁)
  - ・テキスト：画像資料がある8つの雑誌
  - ・プロジェクト Compactmemory の協力によって作成されたもので、共同作業により今後さらに拡大される予定
- ④ Corpus Anonymisierung von Eigennamen (固有名詞非表示化コーパス)

匿名化(Anonymisierung)の技術を用いて、著作権で保護されているテキストも言語研究に利用できるようにしたもの。デモンストレーションコーパスでは固有名詞は検索できないようになっている(商業的目的での競争を避けるため)が、検索結果としてのヒット事例数は表示される。

### (3) 新聞コーパス (Zeitungscorpora)

- ① ZEIT-Corpus
  - ・年代：1946年～1988年, 1996年～2007年
  - ・規模：1億600万語(20万記事)
  - ・テキスト：1996年～2007年の全号および1946年～1988年の22号分
  - ・毎日更新される
- ② Corpus Berliner Zeitung
  - ・年代：1994年1月3日～2005年12月31日
  - ・規模：2億5200万語(86万9000記事)
  - ・テキスト：上記期間でオンライン上に公開された全ての記事
- ③ Tagesspiegel-Corpus
  - ・年代：1996年～2005年6月
  - ・規模：1億7000万語(35万記事)
  - ・テキスト：上記期間中オンライン上に公開された Berliner Tagesspiegel の全ての記事
- ④ Corpus der Potsdamer Neuesten Nachrichten
  - ・年代：2003年～2005年6月

- ・規模：約 1500 万語（4 万 2000 記事）
- ・テキスト：上記期間中オンライン上に公開された Potsdamer Neuesten Nachrichten の全ての記事

⑤ DWDS-Ergänzungscorpus

- ・年代：1990 年～2000 年
- ・規模：10 億語
- ・テキスト：主に最近の新聞から適宜選択
- ・著作権の関係で内部公開のみ

(4) Berliner Wendecorpus

- ・ドイツ学術振興会 (DFG) の協力を得て、ベルリン自由大学 (Freie Universität Berlin) の Norbert Dittmar 氏の管理下で遂行されたプロジェクト
- ・話し言葉コーパス
- ・内容：39 人の東ベルリン人と 38 人の西ベルリン人を対象に行なった、「1989 年 11 月 9 日のベルリン壁の崩壊」とその他の個人的な変化に関するナラティブ・インタビュー
- ・目的：ベルリン壁の崩壊に関する討論から、東ドイツと西ドイツにおいて典型的な話し言葉のパターン (Muster) を分析すること
- ・検索：(1) ～ (3) のコーパスと同様の検索機能が使える他に、「正規化バージョンの検索」と「転写バージョンの検索」を選択できる。

【例】

検索式	正規化バージョンの結果	転写バージョンの結果
ge*	gehst, jeht, jesagt など	ge で始まる語
ge* with \$p=VVPP	gesucht, jesagt, jefragt などの過去分詞	ge で始まる語

[http://www.dwds.de/textbasis/Berliner\\_Wendecorpus](http://www.dwds.de/textbasis/Berliner_Wendecorpus)

<http://userpage.fu-berlin.de/~nordit/HP/>

4.2 Stuttgart-Tübingen タグセット (The STTS tagset)

<http://www.ims.uni-stuttgart.de/projekte/CQPDemos/Bundestag/help-tagset.html>

タグコード	意味	具体例
ADJA	付加語的形容詞 (attributives Adjektiv)	[das] große [Haus]
ADJD	副詞成分 (adverbiales) または述語的形容詞 (prädikatives Adjektiv)	[er fährt] schnell [er ist] schnell
ADV	副詞 (Adverb)	schon, bald, doch
APPR	前置詞；左側置詞 (Präposition; Zirkumposition links)	in [der Stadt], ohne [mich]

APPRART	前置詞と冠詞の融合形 (Präposition mit Artikel)	im [Haus], zur [Sache]
APPO	後置詞 (Postposition)	[ihm] zufolge, [der Sache] wegen
APZR	右側置詞 (Zirkumposition rechts)	[von jetzt] an
ART	定冠詞 (bestimmter Artikel) または 不定冠詞 (unbestimmter Artikel)	der, die, das, ein, eine, ...
CARD	基数 (Kardinalzahl) *序数のタグコードは「ADJA」である。	zwei [Männer], [im Jahre] 1994
FM	外国語 (Fremdsprachliches Material)	[Er hat das mit "] A big fish [" übersetzt]
ITJ	間投詞 (Interjektion)	mhm, ach, tja
KOUI	zu 不定詞を伴う従属接続詞 (unterordnende Konjunktion mit "zu" und Infinitiv)	um [zu leben],
KOUS	文を伴う従属接続詞 (unterordnende Konjunktion mit Satz)	weil, daß, damit, wenn, ob
KON	並列接続詞 (nebenordnende Konjunktion)	und, oder, aber
KOKOM	比較接続詞 (Vergleichskonjunktion)	als, wie
NN	普通名詞 (normales Nomen)	Tisch, Herr, [das] Reisen
NE	固有名詞 (Eigennamen)	Hans, Hamburg, HSV
PDS	指示代名詞 (substituierendes Demonstrativpronomen)	dieser, jener
PDAT	指示冠詞 (attribuierendes Demonstrativpronomen)	jener [Mensch]
PIS	不定代名詞 (substituierendes Indefinitpronomen)	keiner, viele, man, niemand
PIAT	不定冠詞など (attribuierendes Indefinitpronomen ohne Determiner)	kein [Mensch], irgendein [Glas]
PIDAT	(冠詞の後の) 不定代名詞 (attribuierendes Indefinitpronomen mit Determiner)	[ein] wenig [Wasser], [die] beiden [Brüder]
PPER	人称代名詞 (irreflexives Personalpronomen)	ich, er, ihm, mich, dir
PPOSS	所有代名詞 (substituierendes Possessivpronomen)	meins, deiner
PPOSAT	所有冠詞 (attribuierendes Possessiv- pronomen)	mein [Buch], deine [Mutter]
PRELS	関係代名詞 (substituierendes Relativpronomen)	[der Hund ,] der
PRELAT	関係代名詞属格 (attribuierendes Relativpronomen)	[der Mann ,] dessen [Hund]
PRF	再帰代名詞 (reflexives Personalpronomen)	sich, einander, dich, mir
PWS	疑問代名詞 (substituierendes Interrogativpronomen)	wer, was
PWAT	疑問冠詞 (attribuierendes Interrogativpronomen)	welche [Farbe], wessen [Hut]

PWAV	疑問副詞, 不定関係代名詞, 関係副詞 (adverbiales Interrogativ- oder Relativpronomen)	warum, wo, wann, worüber, wobei
PAV	代名副詞 (Pronominaladverb)	dafür, dabei, deswegen, trotzdem
PTKZU	不定詞前の"zu" ("zu" vor Infinitiv)	zu [gehen]
PTKNEG	否定詞 (Negationspartikel)	nicht
PTKVZ	分離前つづり (abgetrennter Verbzusatz)	[er kommt] an, [er fährt] rad
PTKANT	応答詞 (Antwortpartikel)	ja, nein, danke, bitte
PTKA	形容詞や副詞に伴う不変化詞 (Partikel bei Adjektiv oder Adverb)	am [schönsten], zu [schnell]
TRUNC	第一構成素 (Kompositions-Erstglied)	An- [und Abreise]
VVFIN	本動詞定形 (finites Verb, voll)	[du] gehst, [wir] kommen [an]
VVIMP	本動詞命令形 (Imperativ, voll)	komm [!]
VVINFINF	本動詞不定形 (Infinitiv, voll)	gehen, ankommen
VVIZU	本動詞 zu 不定形 (Infinitiv mit "zu", voll)	anzukommen, loszulassen
VVPP	本動詞過去分詞 (Partizip Perfekt, voll)	gegangen, angekommen
VAFIN	助動詞定形 (finites Verb, aux)	[du] bist, [wir] werden
VAIMP	助動詞命令形 (Imperativ, aux)	sei [ruhig !]
VAINFINF	助動詞不定形 (Infinitiv, aux)	werden, sein
VAPP	助動詞過去分詞 (Partizip Perfekt, aux)	gewesen
VMFIN	法助動詞定形 (finites Verb, modal)	dürfen
VMINFINF	法助動詞不定形 (Infinitiv, modal)	wollen
VMPP	法助動詞過去分詞 (Partizip Perfekt, modal)	gekonnt, [er hat gehen] können
XY	非語, 特殊記号 (Nichtwort, Sonderzeichen enthaltend)	3:7, H2O, D2XW3
\$,	コンマ (Komma)	,
\$.	文末の句読点 (Satzbeendende Interpunktion)	. ? ! ; :
\$(	その他の文内の句読点 (sonstige Satzzeichen; satzintern)	- [, ] ()

#### 4.3 検索例の一覧

<http://www.dwds.de/HilfeSuche/index>

検索式	例	結果	結果例
-----	---	----	-----

Wort	Haus	「"Haus"の変化形を含む」すべての文	Haus, Häuser, Hauses, Hause, ...
@Wort	@Hause	「"Hause"を含む」すべての文	Hause
Wort*	Ha*	「"Ha"で始まる語を含む」すべての文	Haus, Hans, Habe, Haarputz, ...
*Wort	*haus	「"haus"で終わる語を含む」すべての文	Landhaus, Kartenhaus, Elternhaus, ...
	*'s	「"'s"で終わる語を含む」すべての文	Becker's, geht's, ...
-を含む合成語	*-Hysterie	「"-Hysterie"で終わる語を含む」すべての文	BSE-Hysterie, Stasi-Hysterie
"X1 X2 ... XN"	"das große Haus"	「"das große Haus"の変化形」を含むすべての文	der großen Häuser, des großen Hauses, das Große Haus, ...
Q1 && Q2	Haus && groß	「"Haus"の変化形と"groß"の変化形の両方を含む」すべての文	..., wo das <i>Haus</i> der Nefretete [...] gefunden wurde, ist der <i>große</i> Tempel ...
Q1 && !Q2	Haus &&!groß	「"Haus"の変化形を含み, "groß"の変化形を含まない」すべての文を引き出す	Das Parlament (Reichstag) besteht aus zwei <i>Häusern</i> .
"Q1 #n Q2" (n >= 0)	"groß #1 Haus"	「"groß"の変化形と"Haus"の変化形の中に1つ以下の単語を含む」すべての文	die größeren Software- Häuser ...
	"Haus #10 \$p=POS" (「POS」は品詞)	「"Haus"の変化形とある品目の間に10以下の語を含む」すべての文	

NEAR (Q1,Q2,n)	NEAR (groß,Haus,3)	「"groß"の変化形と"Haus"の変化形を含んでおり、それらが3語以上離れていない」すべての文	<i>großes Haus, große Zahl von Häusern, ...</i>
Q1    Q2	Haus    groß	「"Haus"の変化形あるいは"groß"の変化形を含む」すべての文	Der Vorsprung Künigs an Heutigkeit ist derzeit wirklich <i>groß</i> ; Unfriede, Aufruhr, Streiks ständen ins <i>Haus</i> .
POS Q1  *「タグセット」を参照	\$p=NE	「固有名詞を含む」すべての文	Hans, Tübingen, Goethe, Rom, ...
	"\$p=ADJA \$p=NN"	「付加語的形容詞+名詞を含む」すべての文	beredtes Schweigen, große Stille ...
	\$p=NE @Vogel	「固有名詞+"Vogel"を含む」すべての文を引き出す。これは、固有名詞を含むコンテキストによって動物"Vogel"と名字"Vogel"のあいまい性を取り除くためである。	Henriette Vogel ...
	\$p=NE with Herzog	「"Herzog"を含んでいる固有名詞を含む」すべての文	Roman Herzog, Peter Herzog, ...
	\$p=NE with *zeit	「"zeit"で終わる普通名詞を含む」すべての文	Weihnachzeit, Übergangszeit, Halbzeit, ...

文末記号の検索: 文末記号は直前に「\」を付けなくてはならない	\?!	「"?!"で終わる」すべての文	Was thut man mir an ?!
文を示す記号 (II) : 「\」の前にはスペースを入れる	"schon \?"	「"schon"で終わるすべての疑問文」	Heilt denn Dein Kopf schon?
括弧()には「\」をつける	"\ ( #3 \ ) "	「()の中に最大3つの単語を含む」すべての文	Herr Ninoff ( <i>mit verbundenen Augen</i> ) erklärte:
複雑な共起検索 (komplexe Abstandsabfrage)	near("prächtiges Schloß", \$p=NE,3)	「"prächtiges Schloß"の変化形を含んでおり、それが固有名詞と3つの単語以上離れていない」すべての文	... König Louis XIV. mit seinem <i>prächtigen Schloß</i> Vaux le Vicomte ...
複雑な検索 (komplexe Abfrage)	"\$p=NE @Vogel" && !"Bernhard #1 @Vogel"	「固有名詞と"Vogel"を含むが、"Bernhard Vogel"を含まない」すべての文	Sebastian Vogel, Jochen Vogel, ...
分離動詞 (separable Präfixverben)	"üben #5 aus with \$p=PTKVZ"	「分離動詞で基礎動詞と前つづりは離れている」すべての文	... übt er ein Wahlamt aus ...



## 第2節 DWDS マニュアル

### 0. はじめに

本節では、DWDS コーパスの利用方法を示す。

目次

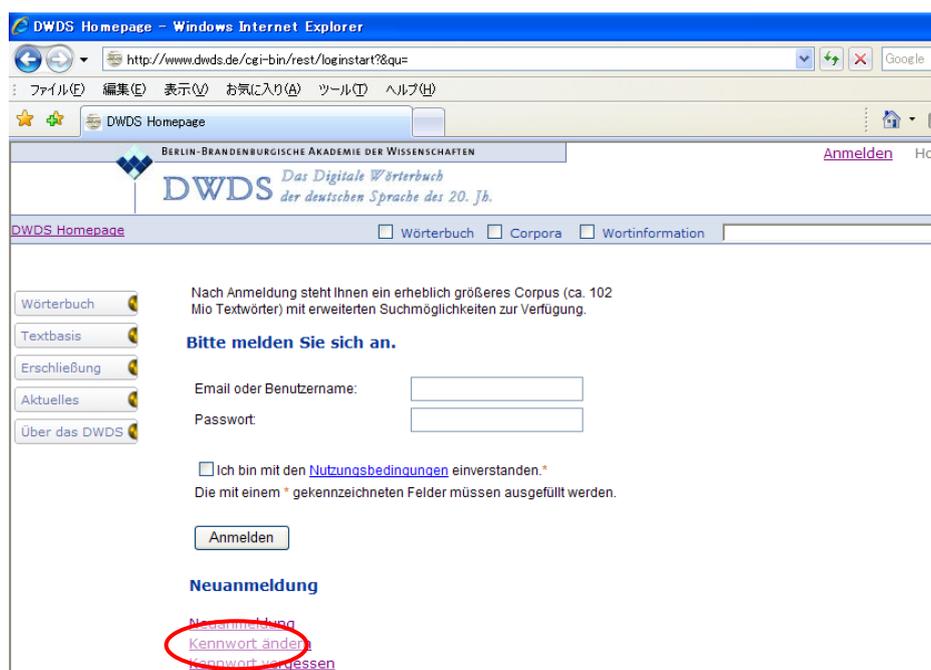
1. [ユーザー登録とログイン](#)
2. [検索語・検索式の入力](#)
3. [検索に関する様々な機能](#)

### 1. ユーザー登録とログイン

(1) まず、DWDSサイト (<http://www.dwds.de>) へアクセスし、トップページ右上の「Anmelden (ログイン)」をクリックする。



(2) 次に、「Neuanmeldung (新規登録)」をクリックする。



(3) 次に、必要事項 (\*印の項目は必須) を入力、利用条件に同意して、「Registrieren (登録する)」をクリックする。

**Anmeldung zum DWDS-Corpus**

Bitte füllen Sie die folgenden Formularfelder aus.  
Obligatorische Felder sind mit einem \* gekennzeichnet.

記入項目は以下のとおりである：

- ・性別
- ・名前
- ・姓
- ・メールアドレス
- ・都市
- ・国
- ・ユーザー名
- ・職業
- ・利用目的
  - 歴史的・意味論的概念の研究
  - 言語研究
  - その他の学術的研究
  - 個人的利用

必ず選択  Newsletter abonnieren  
 Ich bin mit den Nutzungsbedingungen und der Speicherung meiner Daten für interne Zwecke einverstanden. \*

**Registrieren**      利用条件に同意します

(4) ユーザー登録完了のメールを確認後、与えられたパスワードを用いてログインする。  
 なお、パスワードは変更することができる。

**Bitte melden Sie sich an.**

Nach Anmeldung steht Ihnen ein erheblich größeres Corpus (ca. 102 Mio Textwörter) mit erweiterten Suchmöglichkeiten zur Verfügung.

Email oder Benutzername:

Passwort:

メールアドレスまたはユーザー名  
パスワード

必ず選択  Ich bin mit den Nutzungsbedingungen einverstanden. \*  
 Ich bin mit den Nutzungsbedingungen und der Speicherung meiner Daten für interne Zwecke einverstanden. \*

**Anmelden**      利用条件に同意します

## 2. 検索語・検索式の入力

(1) スタート画面の上部にある「Wörterbuch (辞書)」、「Corpora (コーパス)」、「Wortinformation (単語情報)」のうち、利用する項目のチェックボックスをマークし、検索語または検索式を入力した上で、「Suche (検索)」をクリックする。



< 検索語・検索式の例 >

- ① 特定の語形の事例を検索する場合：  
@Brief; @gehen; @groß; ...
- ② ある語の様々な変化形の事例を検索する場合：  
Brief; gehen; groß; ...
- ③ 分離動詞の事例を検索する場合：  
ausgehen || "gehen #10 aus with \$p=PTKVZ" (10 はあくまでも目安)
- ④ 分離動詞の事例を取り除いて、単一動詞の事例のみを検索する場合：  
gehen &&! "gehen #10 \$p=PTKVZ" (10 はあくまでも目安)
- ⑤ 受動文の事例を検索する場合：
  - a) 特定の動詞の場合：  
near(werden with \$p=VAFIN, zerstören with \$p=VVPP, 10) (10 はあくまでも目安)
  - b) 動詞を特定しない場合：  
near(werden, \$p=VVPP, 10) (10 はあくまでも目安)(数字 10 は、2 語が 10 語以内の間隔で現れることを示す)

その他の検索式の詳細については、第 1 節の付録 4.2 「STTS タグセット」と 4.3 「検索式の例」、また第 3 節の「[DWDS 検索具体例](#)」を参照。

(2) たとえば、3つのチェックボックスをマークし、「Brief」という検索語を入力した場合、次のような画面が表示される。<sup>1</sup> なお、2語以上のコロケーション検索や品詞タグを用いた検索では、【左下】以外の部分は空欄になる。

【左上】 WDGの辞書記述

【右上】 語情報：同義語および上位・下位概念

【左下】 DWDS-Kerncorpusの事例

【右下】 コロケーション情報：高頻度で見られる共起語

(3) コーパス分析を行うためには、【左下】の中の「Vollansicht (全面表示)」をクリックして、コーパスの検索結果を大きく表示させる。

Corpus: DWDS Corpus

Abfrage: Brief #less\_by\_date[1900-01-01,2000-12-31] #has\_field[avail,MR\*|OR7W|OR3S|OR15/] #cntxt 1 : kern01,kern02,kern03,kern04,kern05,kern06,kern07,kern08,kern09,kern10

Trefferanzahl: 19187. Davon sind 16150 Treffer aufgrund rechtlicher Nutzungsvereinbarungen anzeigbar.

Seite: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >>|

Be	Ze	Brief
1900	... Ich danke dir für deinen freundlichen	Brief
1900	... neues Jahrhundert! Meinen Dank für den	Brief
1900	... Der Aufsehen erregende	Brief
1900	... ihm verdorben, denn Beleidigungen, wie sie dieser	Brief
1900	... ist das freilich recht drollig. In Ihrem	Brief
1900	... auch an österreichische Staatsbürger adressierten	Briefe
1900	... dein alter getreuer Onkel - Wilhelm, - dem deine	Briefe

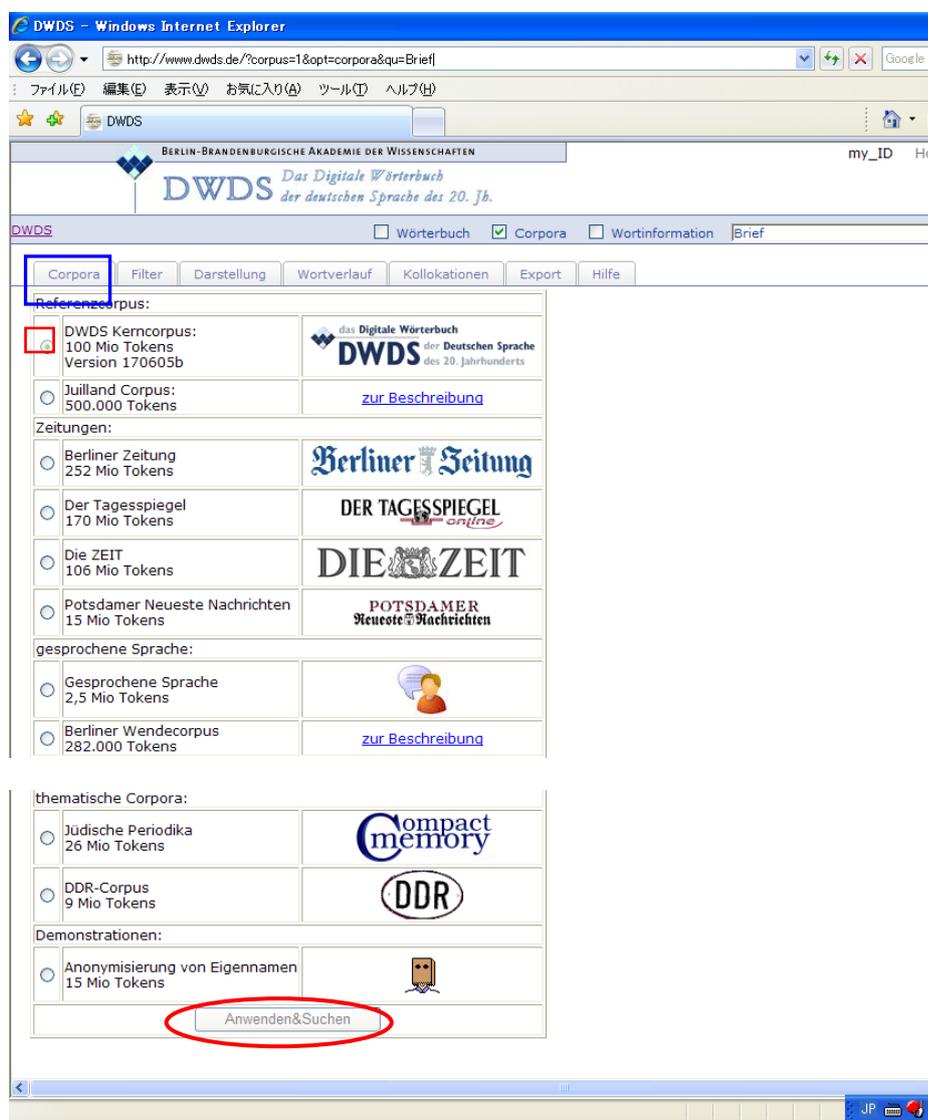
<sup>1</sup> 「Wortinformation (単語情報)」にのみチェックした場合も、上と同様な結果が表示される。

### 3. 検索に関する様々な機能

コーパスの部分进行全面表示にすると、画面の上部に7つのタブが現れる。以下に、それぞれにおける設定内容および機能を簡単に説明する。

#### (1) **Corpora (コーパス)** :

検索対象のコーパスは初期設定で DWDS-Kerncorpus に指定されているが、ここで、検索するコーパスを変更することができる。複数のコーパスを同時に選択することはできない。なお、以下に示す各設定内容に関しては、コーパスによって異なることがあるが、便宜上ここでは DWDS-Kerncorpus を選択することを前提に説明していくことにする。



(2) **Filter (フィルター)** :

ここでは、フィルター機能を利用して、事例検索の範囲を狭めることができる。

設定項目は以下のとおりである：

- ・テキストの時期  
(1990.1.1~2000.12.31)
- ・テキストの種類  
(全て・新聞・文学・学術・実用書)
- ・著者
- ・タイトル

たとえば次は、テキストの時期を「1991.1.1~2000.12.31」に、テキストの種類を「新聞 (Zeitung)」に設定した場合の画面である。上の画面と比べてみると、ヒット事例数が減っていることが確認できる。

Ze	Year	Snippet	Word
1	1991	... am 12. Januar aus Washington abzuziehen. Den	Brief
2	1991	... die Antwort von König FAHD auf einen offenen	Brief
3	1991	... dazu zu bringen, sie zu glauben? In Ihrem	Brief
4	1991	... zufriedengeben,( * Raymond Chandler: "	Briefe
5	1991	... hat. Hier, bei den	Briefen
6	1991	... geht aus den	Briefen
7	1991	... in dieser Angelegenheit aktiv zu werden. In	Briefen
8	1991	... Vermittlung eines spanischen Journalisten einen	Brief
9	1991	... Bewegung zu entfachen. Den fünf Adressaten des	Briefes
10	1991	... Am 25. Mai hätten zehn Intellektuelle in einem	Brief
11	1991	... Amt ausüben. In seinem	Brief
12	1992	... Oldrich SVESTKA und Antonin KAPEK. In dem	Brief
13	1992	... Fund in russischen Archiven informierte und den	Brief
14	1993	... Kroatien-Führer Mate BOBAN schrieb in einem	Brief

このデータをエクスポートする場合は、(6) **Export (エクスポート)** へ。

(3) **Darstellung (表示)** :

ここでは、検索結果の画面表示に関する設定を行うことができる。

設定項目は以下のとおりである：

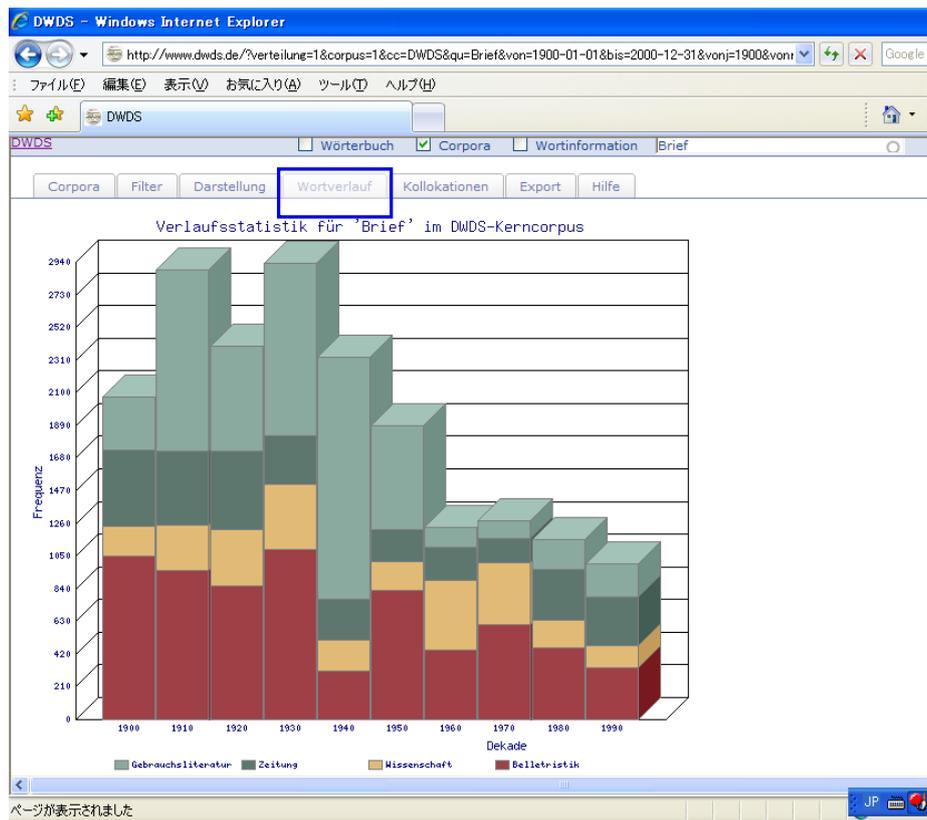
- ・ 1 頁あたり表示する事例数 (最大 500)
- ・ 事例の並び替え (日付順・文の長短・ドキュメントの長短・無作為)
- ・ 1 つのドキュメントから 1 つの事例のみ表示させたい場合はチェックを入れる
- ・ KWIC 表示の代わりに全文表示にしたい場合はチェックを入れる

たとえば、並び替えを「無作為 (Zufallauswahl)」, 「1 つのドキュメントから 1 つの事例のみ」, 「全文表示」の設定を行った場合、画面は次のように変わる。

なお、この状態でエクスポートしても、並び替えの設定は反映されない。

(4) **Wortverlauf (語の使用推移)** :

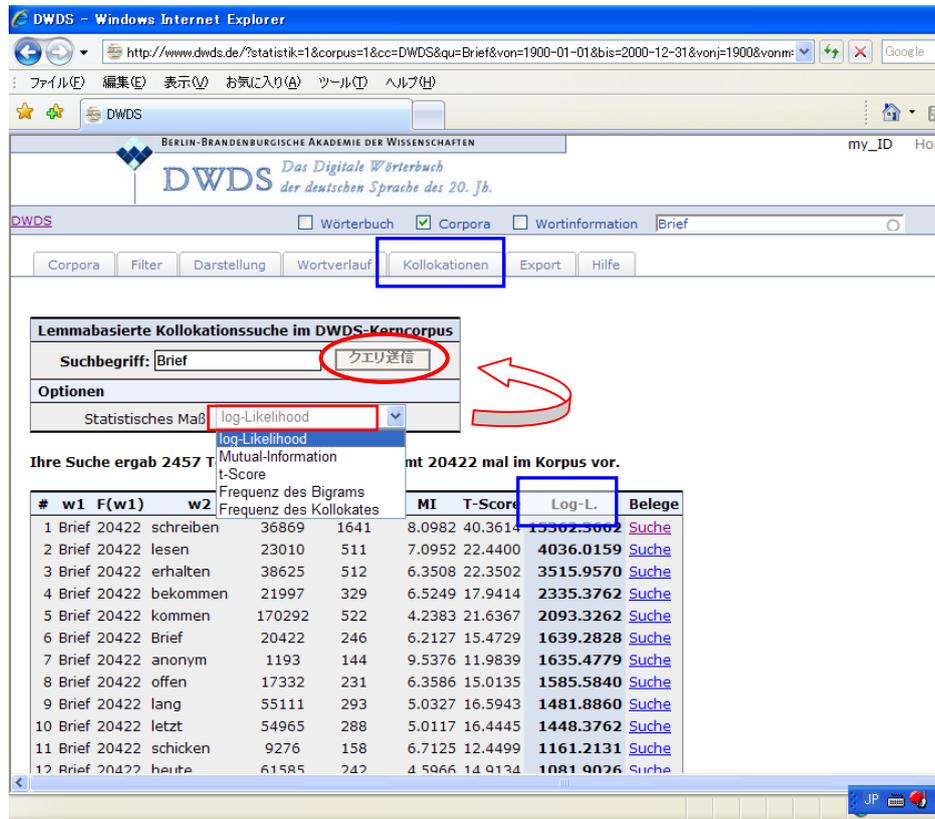
ここでは、検索語の、テキストの年代別・分野別（実用書・新聞・学術書・文学作品）の出現頻度が統計グラフで表示される。この機能は DWDS-Kerncorpus に限定されているため、**Corpora (コーパス)** で他のコーパスを選択した場合でも、ここでは、DWDS-Kerncorpus に基づいたデータが表示される。



このグラフには、(2) **Filter (フィルター)** および (3) **Darstellung (表示)** の設定は反映されないが、この段階でエクスポートしたのものには、両者の設定が反映される（すなわち、(2) あるいは (3) の段階でエクスポートしたものと同様）。

(5) **Kollokationen (コロケーション)** :

ここでは、クエリ機能を利用して、コロケーションの並び替えおよび集計を行うことができる。ここで共起語と見なされるのは、検索語との間に5つ以下の語を含む語を指す。なお、2語以上のコロケーション検索や品詞タグを用いた検索では、この機能は使えない。



- a) 初期設定として「対数尤度比 (log-Likelihood)」に基づいた結果が表示されるが、他のクエリを利用する場合は、次の表の左例の中から1つを選択し、「クエリ送信」をクリックする。<sup>2</sup>

クエリ	意味	略語
log-Likelihood (対数尤度比)	コロケーションの確立のもっともらしさを測る尺度	Log-L.
Mutual-Information (相互情報量)	共起する2つの語の相互依存の尺度	MI
t-Score (t-スコア)	共起関係の強さを示す指標	T-Score
Frequenz des Bigrams (共起の出現頻度)	2つの語が共起している事例の出現頻度	F(w1, w2)
Frequenz des Kollokates (共起語の出現頻度)	検索語と共起する語の出現頻度	F(w2)

たとえば、T-スコア (T-Score) を選択した場合、画面は次のように変わる。出力結果表で、選択されたクエリの列はブルーで塗りつぶされている。

<sup>2</sup> それぞれの統計学上の意味については、[石川 \(2006\)](#) を参照。

LEMMABASIERTE KOLLOKATIONSSUCHE IM DWDS-KERNCORPUS

Suchbegriff:

Optionen

Statistisches Maß:

Ihre Suche ergab 2457 Treffer. Das Wort **Brief** kommt 20422 mal im Korpus vor.

#	w1	F(w1)	w2	F(w2)	F(w1,w2)	MI	T-Score	Log-L	Beleg
1	Brief	20422	schreiben	36869	1641	8.0982	22.3614	15362.366	<a href="#">Suche</a>
2	Brief	20422	lesen	23010	511	7.0952	22.4400	4036.0159	<a href="#">Suche</a>
3	Brief	20422	erhalten	38625	512	6.3508	22.3502	3515.9570	<a href="#">Suche</a>
4	Brief	20422	kommen	170292	522	4.2383	21.6367	2093.3262	<a href="#">Suche</a>
5	Brief	20422	bekommen	21997	329	6.5249	17.9414	2335.3762	<a href="#">Suche</a>
6	Brief	20422	erst	156253	326	3.6832	16.6499	1069.1906	<a href="#">Suche</a>
7	Brief	20422	lang	55111	293	5.0327	16.5943	1481.8860	<a href="#">Suche</a>
8	Brief	20422	jetzt	54965	288	5.0117	16.4445	1448.3762	<a href="#">Suche</a>

b) 一番右列の「Suche (検索)」をクリックすると、該当事例が表示される。

Abfrage: `near($|=Brief,$|=schreiben,5) #less_by_date:1900-01-01,2000-12-31`

Trefferanzahl: 1769. Davon sind 1372 Treffer aufgrund rechtlicher Nutzungsvereinbarungen anzeigbar.

Seite: [1](#) [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [7](#) [8](#) [9](#) [10](#) [>>](#)

1	Ze	1900	... woll nich anners gahn. Die Behörde hatte in dem	<b>Brief</b>	zum Schluß <b>geschrieben</b> : "Gewähr für ...
2	Wi	1900	... im Mai geheiratet. Drei Tage nach der Hochzeit	<b>schrieb</b>	sie den Eltern einen <b>Brief</b> nach Hause, wie ...
3	Ze	1900	... beachtenswert, kleinere sonst zu recommendierende	<b>Briefe</b>	auf Postanweisungen zu <b>schreiben</b> , indem ...
4	Be	1900	... als ein paar flüchtige Postkarten an seine Kinder	<b>geschrieben</b>	hatte; der andere <b>Brief</b> war von Franz ...
5	Wi	1900	... (II, 79) aber lesen wir, Cäsar habe in seinen	<b>Briefen</b>	<b>geschrieben</b> , die zehnte Legion, die auf ...
6	Ze	1901	... vor diesen den gewaltigen Vorzug, daß sie keine	<b>Briefe</b>	<b>schreiben</b> und sich deshalb den Kopf nicht ...
7	Be	1901	... - Liebe Lotte! Ich danke dir für den hübschen	<b>Brief</b>	, den du mir <b>geschrieben</b> hast, denn man ist ...
8	Ge	1901	... Denn wer sich so benommen hat, daß wir ihm einen	<b>Brief</b>	<b>schreiben</b> müssen, den der Empfänger, wie ...
9	Ge	1901	... die uns dazu treibt, einen unangenehmen	<b>Brief</b>	zu <b>schreiben</b> , <b>schreiben</b> zu müssen, ...
10	Ge	1901	... - das aber ist falsch, dann soll man derartige	<b>Briefe</b>	lieber gar nicht <b>schreiben</b> . 413. ...
11	Ge	1901	... haben, jetzt oder später einmal einen anonymen	<b>Brief</b>	zu <b>schreiben</b> , sei nachstehende Anleitung ...
12	Ge	1901	... zu werden, verdient jeder, der einen anonymen	<b>Brief</b>	<b>schreibt</b> . Räuber und Mörder, Hehler und ...

ここでは前で行った設定が全て無効になるため、必要な場合はこの検索結果に関して再び、(1) **Corpora (コーパス)**, (2) **Filter (フィルター)**, (3) **Darstellung (表示)** の設定を行う必要がある。たとえば、**Filter (フィルター)** で再び時期を「1991.1.1. ~2000.12.31」に、テキストの種類を「新聞 (Zeitung)」に設定すると、次のようになる。

DWDS - Windows Internet Explorer

http://www.dwds.de/?vonj=1991&vonm=01&vont=01&bis=2000&bism=128&bis=31&tc=%2F%5EZeitung%2F&autor=&title=

my\_ID Home Kontakt Impressum

DWDS  Wörterbuch  Corpora  Wortinformation

Corpora Filter Darstellung Wortverlauf Kollokationen Export Hilfe

Corpus: DWDS Corpus

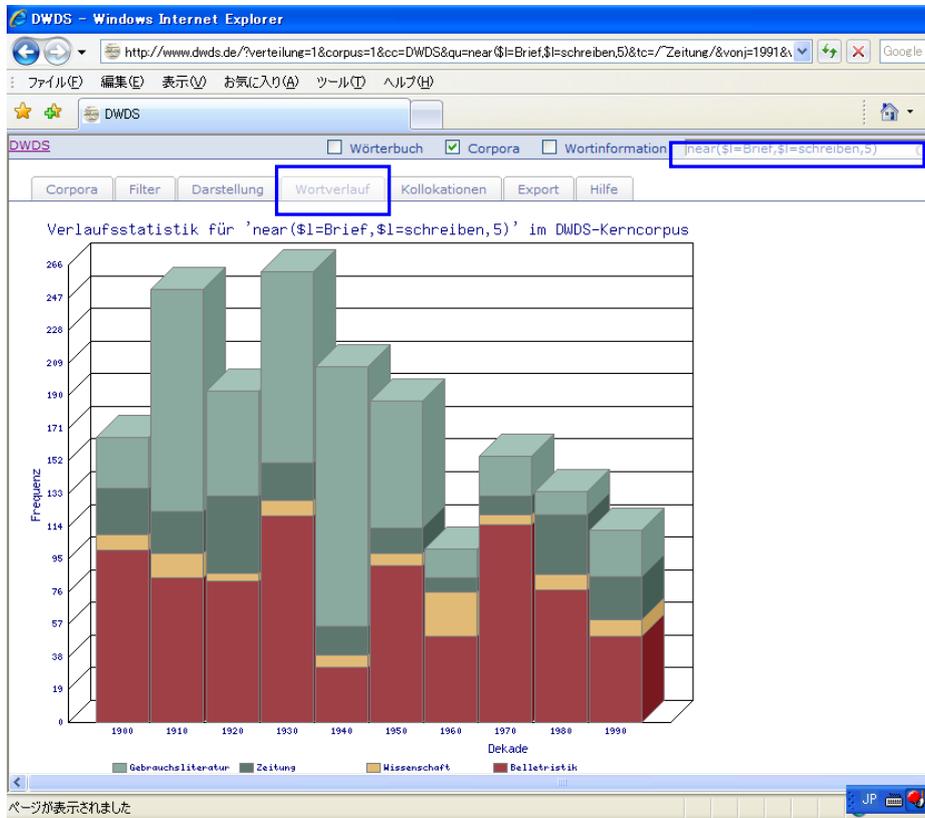
Abfrage: near(\$l=Brief,\$l=schreiben,5) #less\_by\_date [1991-01-01,2000-12-31] #has\_field [textClass/^Zeitung/] #has\_field [avail,MR\*|OR7W|OR3S|OR1S/] #cntxt 1 : kern01,kern02,kern03,kern04,kern05,kern06,kern07,kern08,kern09,kern10

Trefferanzahl: 230. Davon sind 14 Treffer aufgrund rechtlicher Nutzungsvereinbarungen anzeigbar.

Seite: 1

1	Ze	1996	... Bischof Berning (Osnabrück) in einem dramatischen	<b>Brief</b>	<b>geschrieben</b> , der jetzt in einer Neuauflage ...
2	Ze	1996	... Nun hat er ihm einen langen fünfseitigen	<b>Brief</b>	<b>geschrieben</b> . Der beginnt mit "Très cher ...
3	Ze	1996	... der längst verstummt war. In einem späten	<b>Brief</b>	<b>schrieb</b> er: "Die Tage hatschen vorüber, ...
4	Ze	1996	... - Im Frühjahr dieses Jahres haben Sie mir einen	<b>Brief</b>	<b>geschrieben</b> (in der ZEIT vom 26. April ...
5	Ze	1996	... in ihrem letzten	<b>Brief</b>	<b>geschrieben</b> , "ich bin vierzig ...
6	Ze	1997	... über die Tasten. Er	<b>schreibt</b>	<b>Briefe</b> - 25 in ...
7	Ze	1997	... falschen Spur. Monika Weimar	<b>schreibt</b>	anonyme <b>Briefe</b> an sich ...
8	Ze	1997	... PLO-Chef verweigerte ihm ein weiteres Treffen und	<b>schrieb</b>	in einem <b>Brief</b> an CLINTON, daß die ...
9	Ze	1997	... zur Flottenverpflegung. Zwischendurch	<b>schrieb</b>	er <b>Briefe</b> an Gustave ...
10	Ze	1997	... Als sie die ersten	<b>Briefe</b>	tauschten - wir <b>schreiben</b> ...
11	Ze	1997	... verhindern. In einem offenen	<b>Brief</b>	an den US-Präsidenten <b>schreibt</b> ...
12	Ze	1998	... hatte. Für Hitler wurde es, wirklich ernst",	<b>schreibt</b>	Nolte im zweiten von vier <b>Briefen</b> , "als er ...

このデータをエクスポートする場合は、(6) [Export \(エクスポート\)](#) へ。  
 なお、この段階で [Wortverlauf \(語の使用推移\)](#) をクリックすると、当該のコロケーションの出現頻度の推移がグラフで表示される。





文字化けが生じた場合は、「エンコード」を「中央ヨーロッパ言語」を選択すれば文字化けは解消される。Internet Explorerでは上記のような表示になるが、たとえばFirefoxなどのウェブブラウザでエクスポートすると、以下のように、事例ごとに改行が入った、より見やすいフォーマットでダウンロードされる。

```

C:\Dokumente und Einstellungen\Guest\Lokale Einstellungen\Temp\DWDSCorpusExp...
File Edit View Search Window Macro Other 1:1
DWDS Belegcorpus extrahiert am 10.03.2008, 08:05:18
DWDS Kerncorpus Version 170605b
Morphologie: TAGH Version 1.0.1
Tagger: Moot Version 2.0.3
Abfrage: near($I=Brief,$I=schreiben,5) #less_by_date[1900-1-1,2000-12-31] #has_f
ield[availl,/MR*|OR7W|OR3S|OR1S/] #cntxt 1 :kern01,kern02,kern03,kern04,kern05,ke
rn06,kern07,kern08,kern09,kern10
Trefferanzahl: 1769. Davon sind 1372
Treffer aufgrund rechtlicher Nutzungsvereinbarungen anzeigbar.
1) 1900 Ze "Wies den Breef mal her, Junge", sagte der Vater, s
etzte seine Brille auf, las auch und sagte dann: "Ja, et is richtig, da steit et
, dat mag aber bi de Garde woll nich anners gahn. Die Behörde hatte in dem *B
rief* zum Schluß *geschrieben*: "Gewähr für Einstellung kann nicht geleistet wer
den.
o.A., Der kostspielige Dienst bei der Garde, in: Münchner Neueste Nachri
chten (Morgen) 04.10.1900, S. 2
2) 1900 Wi Sie selbst ist im Mai geboren, hat auch im Mai gehe
iratet. Drei Tage nach der Hochzeit *schrieb* sie den Eltern einen *Brief* na
ch Hause, wie glücklich sie sei. Sie war es aber keineswegs.
Freud, Sigmund, Die Traumdeutung, Leipzig: Deuticke 1900, S. 217
3) 1900 Ze Posttaxtarife sind wohl noch immer nicht erhältlich
, und der Andrang der » Posttaxtarif-Anwärter « - neuester Wiener Typus - vor je
dem Schalter soll Scenes wie beim » Einlass zum alten Burgtheater « aufweisen.
Auch für die 1 Heller-Marken muss man » sich anstellen «. Bezüglich der auffal

```

- b) (5) の段階でエクスポートした場合：  
 検索語および共起語の前後には「\*」でマークされている。

http://www.dwds.de/DWDSCorpusExport.txt?expnow=1&qu=near(\$I=Brief,\$I=schreiben,5)&cc=DWDS&von=1 - Windows Internet Explorer

http://www.dwds.de/DWDSCorpusExport.txt?expnow=1&qu=near(\$I=Brief,\$I=schreiben,5)&cc=DWDS&von=1900-01-01&

DWDS Belegcorpus extrahiert am 11.11.2007, 05:18:28 DWDS Kerncorpus Version 170605b Morphologie: TAGH Version 1.0.1 Tagger: Moot Version 2.0.3  
 Abfrage: near(\$I=Brief,\$I=schreiben,5) #less\_by\_date[1900-1-1,2000-12-31] #has\_field[availl,/MR\*|OR7W|OR3S|OR1S/] #cntxt  
 1:kern01,kern02,kern03,kern04,kern05,kern06,kern07,kern08,kern09,kern10 Trefferanzahl: 1769. Davon sind 1372 Treffer aufgrund rechtlicher  
 Nutzungsvereinbarungen anzeigbar. 1) ter, setzte seine Brille auf, las auch und sagte dann: "Ja, et is richtig, da steit et, dat mag aber bi de Garde woll nich anners  
 gahn. Die Behörde hatte in dem \*Brief\* zum Schluß \*geschrieben\*: "Gewähr für Einstellung 2) i geheiratet. Drei Tage nach der Hochzeit \*schrieb\* sie den Eltern  
 einen \*Brief\* nach Hause, wie glüc 3) ltlich, und der Andrang der » Posttaxtarif-Anwärter « - neuester Wiener Typus - vor jedem Schalter soll Scenes wie beim »  
 Einlass zum alten Burgtheater « aufweisen. Auch für die 1 Heller-Marken muss man » sich anstellen «. Bezüglich der auffallenden Erhöhung der  
 Recommendationsgebühr für Locobriefe scheint mir die von dem Einsender B-r geäußerte Anregung beachtenswert, kleinere sonst zu recommendierende \*Briefe\*  
 auf Postanweisungen zu \*schreiben\*, indem man 1 o 4) ter, der bisher kaum mehr als ein paar flüchtige Postkarten an seine Kinder \*geschrieben\* hatte; der andere  
 \*Brief\* war von Franz Krieger. 5) beer ausschließlich den sechs Kohorten. Bei Appian (II, 79) aber lesen wir, Cäsar habe in seinen \*Briefen\* \*geschrieben\*, die  
 zehnte Legion, die auf seinem 6) die einzigen Wesen, die etwa davon auszunehmen wären, sind die Tiere, die man, nach einem alten Wort, immer lieber gewinnt, je  
 näher man die Menschen kennen lernt. Sie haben auch vor diesen den gewaltigen Vorzug, daß sie keine \*Briefe\* \*schreiben\* und sich deshalb den Kopf nicht zu  
 ze 7) ärz 1901. - Liebe Lotte! Ich danke dir für den hübschen \*Brief\* , den du mir \*geschrieben\* hast, denn man ist doch 8) part, an einen andern einen jener  
 unangenehmen Briefe zu schreiben, die in den meisten Fällen den Absender weit mehr quälen und beunruhigen als den Adressaten. Denn wer sich so benommen  
 hat, daß wir ihm einen \*Brief\* \*schreiben\* müssen, den der Empfänger, wie man zu 9) nen Brief schreiben müssen, den der Empfänger, wie man zu sagen pflegt,  
 nicht hinter den Spiegel steckt, der macht sich in den meisten Fällen nur sehr wenig aus unserem Schreiben. Die Veranlassung, die uns dazu treibt, einen  
 unangenehmen \*Brief\* zu \*schreiben\*, \*schreiben\* zu müssen, kann eine 10) ht übel zu nehmen, daß ich Ihnen den Verkehr in meinem Hause hiermit untersage,  
 bin ich mit den herzlichsten Grüßen in alter Gesinnung stets Ihr sehr ergebener -. - Das ist natürlich Unsinn, aber geschrieben wird es deshalb doch, daß man so  
 schließt, entspringt dem Wunsche, dem Freunde die bittere Pille, die man ihm zu schlucken giebt, zu verzuckern - das aber ist falsch, dann soll man derartige  
 \*Briefe\* lieber gar nicht \*schreiben\*. 413. Anonyme Bri 11) Absicht haben, jetzt oder später einmal einen anonymen \*Brief\* zu \*schreiben\*, sei nachstehende  
 Anleitung auf da 12) Zweck gefällten Baumstamm und lasse sich von der Sonne so lange bescheinen, bis man verbrannt ist. Denn auf dem Scheiterhaufen verbrant

a)と同様、Internet Explorerでは上記のような表示になるが、たとえばFirefoxなどのウェブブラウザでエクスポートすると、以下のように、事例ごとに改行が入った、より見やすいフォーマットでダウンロードされる。

```
1 DWDS Belegcorpus extrahiert am 10.03.2008, 08:00:12 ↓
2 DWDS Kerncorpus Version 170605b↓
3 Morphologie: TAGH Version 1.0.1 ↓
4 Tagger: Moot Version 2.0.3 ↓
5 ↓
6 Abfrage: Brief #less_by_date[1900-1-1,2000-12-31] #has_field[avail,/MR*|OR7W|OR3
7 S|OR1S/] #cntxt 1 :kern01,kern02,kern03,kern04,kern05,kern06,kern07,kern08,kern0
8 9,kern10↓
9 Trefferanzahl: 19187. Davon sind 16150↓
10 ↓
11 Treffer aufgrund rechtlicher Nutzungsvereinbarungen anzeigbar.↓
12 ↓
13 ↓
14 ↓
15 1) 1900 Be 1900. - Lieber Baßermann! Ich danke dir für dein
16 en freundlichen *Brief* und wünsche dir gleichfalls ein gutes neues Jahr. Vor
17 allem wünsche und hoffe ich, daß dein Befinden sich beßern möge. ↓
18 Brief von Wilhelm Busch an Otto Bassermann vom 04.01.1900, S. 5299 ↓
19 2) 1900 Be Ich wünsche Dir, wenn auch etwas voreilig, ein fröh
20 liches neues Jahrhundert! Meinen Dank für den *Brief* und das Bild, das mir g
21 efällt. Die alltägliche "Glorie" um' s Haupt ist freilich wegfrisirt, aber da
22 s macht nix, ich kenne sie butewennig. ↓
23 Brief von Wilhelm Busch an Grete Meyer vom 08.01.1900, S. 5300 ↓
24 3) 1900 Ze Der Aufsehen erregende *Brief*, den der nach Paris
25 entflozene Schwager des Sultans, Damad Mahmud Pascha, an den Redacteur des jung
26 türkischen Blattes Mechserei, Achmed Risa Bey, gerichtet hat, lautet folgenderm
27 aßen: - Paris, Grand-Hotel, 25- December 1899. Herrn Achmed Risa Bey. Es ist
28 unnötig, die hohe Achtung zum Ausdruck zu bringen, von der jeder Türke Ihnen geg
29 enüber durchdrungen ist für die sehr bedeutenden Dienste, die Sie unaufhörlich d
30 er heiligen Sache unseres Vaterlandes erweisen. ↓
31 o.A., Noch ein Jungtürke, in: Kölnische Zeitung (Zweites Morgenblatt) 09
32 .01.1900, S. 1 ↓
```

(7) **Hilfe (ヘルプ)**:

ここでは、主に検索式に用いる記号の説明およびその例が示されている。[第 1 節](#)の付録 4.3「検索例の一覧」としてまとめてある。

※ DWDS日本語版プラットフォーム (<http://www.dwds.de/jp>) も参照。

### 第3節 DWDS 検索具体例

#### はじめに

本節では、DWDS コーパスの検索具体例をいくつか挙げる。

A では、一語検索、二語検索の場合、また語の間隔を指定する場合を考慮した「用途別具体例」をまとめた。B では、動詞、名詞、代名詞、副詞（形容詞述語的用法）、前置詞、感嘆詞、接続詞に分け、品詞タグを用いた「品詞別具体例」をまとめた。

偶数ページ（左ページ）に検索語の入力例、奇数ページ（右ページ）に解説を掲載した。

なお、品詞タグについては、次のサイトを参照されたい：

<http://www.ims.uni-stuttgart.de/projekte/CQPDemos/Bundestag/help-tagset.html>

#### 目次

- A 用途別具体例
  - A1. 一語検索
  - A2. 二語検索
  - A3. 語の間隔
- B 品詞別具体例
  - B1. 動詞
  - B2. 名詞
  - B3. 代名詞
  - B4. 副詞（形容詞述語的用法）
  - B5. 前置詞
  - B6. 感嘆詞
  - B7. 接続詞

## A 用途別具体例

### A1 一語検索

A1.1 特定の語形	@Brief
	@gehen
	@groß
A1.2 ある語の様々な語形変化形	Brief
	gehen
	gross
A1.3 任意の文字を含む語	*arzt
	Arzt*

### A2 二語検索

A2.1 二語の両方を含む	Kanzler && Schröder
A2.2 二語のいずれかを含む	Kanzler    Schröder
A2.3 二語の一方を含み、一方を含まない	Kanzler && !Schröder

### A3 語の間隔

A3.1 隣同士 (順序指定)	"@große @Haus"
	"große Haus"
A3.2 特定の間隔以内 (順序指定)	"Gegenwart #3 Zukunft"
A3.3 特定の間隔以内 (順序未指定)	NEAR(Gegenwart,Zukunft,3)

特定の語形を検索する場合、語頭に「@」を入力する。

ある語の様々な語形変化形を含めて検索する場合、その語の辞書形あるいは語形変化形のいずれか1つを入力する。

任意の文字列を含む語を検索する場合、その任意の文字列は「\*」で表す。

二語の変化形を含む文を検索する場合、二語の間に「&&」を入れる。

二語のいずれかの変化形を含む文を検索する場合、二語の間に「||」を入れる。

一語（Kanzler）が含まれ、もう一語（Schröder）が含まれない文を検索する場合、二語の間に「&&」を入れ、除外したい語の前に「!」を入れる。「!」と語の間にはスペースを入れないこと。

隣り合う二語を含む文を検索する場合、二語を「"」で囲む。語形を指定する場合は、それぞれの語頭に「@」を入れる。「@」を入れない場合、それぞれの語の様々な変化形を含む。

二語の距離が3語以内の文を検索する場合、間に「#N」を入れる。

二語の順序に関係なく、二語の距離が3語以内の文を検索する場合、「NEAR」を用いる。

## B 品詞別具体例

- ★ 品詞を指定するには「\$p=品詞略語」の書式を用いる。
- ★ 特定の語の品詞を指定する場合、その語のあとに「with \$p=品詞略語」の書式をつける。  
(品詞略語については「タグセット」を参照)

### B1 動詞

B1.1 動詞単独	@geht
	gehen
	gehen with \$p=VVFİN
	gehen with \$p=VVINF
	ausgehen with \$p=VVIZU
	zerstören with \$p=VVPP
B1.2 動詞と前置詞	warten && auf with \$p=APPR
	warten && !auf with \$p=APPR
	warten && \$p=APPR
	\$p=VVFİN && auf with \$p=APPR
B1.3 動詞といずれかの名詞	(Landschaft    Gegend) && schauen
	(Landschaft    Gegend) && \$p=VVFİN
	\$p=NN && schauen
B1.4 副詞といずれかの動詞	offen with \$p=ADJD && (sprechen    diskutieren)
B1.5 話法の助動詞と本動詞	können with \$p=VMFIN && sprechen with \$p=VVINF
	können with \$p=VMFIN && \$p=VVINF
	werden && zerstört with \$p=VVPP
	"werden #10 @zerstört"

特定の変化形 (geht) のみを検索する場合、その形の前に「@」をつける。
ある動詞 (gehen) の変化形 (gehen, gehe, gehst, geht, ging, gegangenなど) も含めて検索する場合、不定形あるいはある1つの変化形のみを入力する。
ある動詞 (gehen) が定動詞として用いられている場合の変化形 (gehen, gehe, gehst, geht, gingなど) を検索する場合、定動詞の略語「with \$p=VVFIN」をつける。
ある動詞 (gehen) が不定詞として用いられている場合のみを検索する場合、不定詞の略語「with \$p=VVINF」をつける。
ある動詞 (ausgehen) がzuを含む不定詞として用いられている場合を検索する場合、zu不定詞の略語「with \$p=VVIZU」をつける。
ある動詞 (zerstören) の過去分詞のみを検索する場合、過去分詞の略語「with \$p=VVPP」をつける。このような検索は、zerstörenのように、3人称単数現在形と過去分詞が同じ語形 (zerstört) になる動詞に特に有効である。
ある動詞 (warten) の変化形が現れる文で、かつ、ある前置詞 (auf) が現れる文を検索する場合、前置詞指定のためには「with \$p=APPR」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
ある動詞 (warten) の変化形が現れる文で、かつ、ある前置詞 (auf) が現れない文を検索する場合、二語の間に「&&」を入れ、除外したい語の前には「!」をつける。
ある動詞 (warten) の変化形が現れる文で、かつ、ある任意の前置詞が現れる文を検索する場合、前置詞の略語「\$p=APPR」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
ある任意の動詞の変化形とある前置詞 (auf) が現れる文を検索する場合、定動詞の略語「\$p=VVFIN」と前置詞の略語「\$p=APPR」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
二つの語 (LandschaftとGegend) のいずれかが現れる文を検索するには、二語の間に「  」を入れる。また、ある語 (LandschaftあるいはGegend) が現れる文で、かつ、もうひとつの語 (schauenの変化形) が現れる文を検索する場合、二者の間に「&&」を入れる。
二つの語 (LandschaftとGegend) のいずれかと、任意の動詞が現れる文を検索する場合、定動詞の略語「\$p=VVFIN」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
任意の普通名詞とある動詞 (schauen) の変化形が現れている文を検索する場合、普通名詞の略語「\$p=NN」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
ある副詞 (offen) とある動詞 (sprechenあるいはdiskutieren) の変化形が現れる文を検索する場合、副詞の略語「\$p=ADJD」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
ある話法助動詞 (können) の変化形が現れる文で、かつ、もうひとつの語 (sprechen) が不定詞で現れる文を検索する場合、二語の間に「&&」を入れる。
ある話法助動詞 (können) の変化形が現れる文で、かつ、もうひとつの任意の動詞の不定詞が現れる文を検索する場合、不定詞の略語「\$p=VVINF」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
受動文を作る助動詞 (werden) の変化形が現れる文で、かつ、ある動詞の過去分詞 (zerstört) が現れる文を検索する場合、二者の間に「&&」を入れる。
受動文を作る助動詞 (werden) の変化形とある動詞の過去分詞 (zerstört) が、指定の順序で10語以内の距離に現れる文を検索する場合、二語を「"」で囲み、二語の間に「#10」を入れる。

B1.6 受動文	NEAR(werden with \$p=VAFIN,zerstören with \$p=VVPP,10)
	werden && \$p=VVPP
B1.7 lassen構文	lassen && kommen with \$p=VVINF
	"lassen #10 kommen with \$p=VVINF"
	NEAR(lassen,kommen with \$p=VVINF,10)
	lassen && \$p=VVINF
B1.8 zu不定詞を伴う構文	beginnen && \$p=PTKZU
	"beginnen #10 \$p=PTKZU"
B1.9 基礎動詞と分離前つづり	fordern && heraus with \$p=PTKVZ
	"fordern #10 heraus with \$p=PTKVZ"
B1.10 分離動詞	herausfordern    (fordern && heraus with \$p=PTKVZ)
	herausfordern    "fordern #10 heraus with \$p=PTKVZ"

## B2 名詞

B2.1 名詞単独	@Herzens
	Herz
	*heit
	Kohl with \$p=NN
	Kohl with \$p=NE
	\$p=NN with *mann
	\$p=NE with *mann
B2.2 冠詞と名詞	"@die @Email"
	"@das @Email"
	"\$p=ART Email"

受動文を作る助動詞 (werden) の変化形とある動詞の過去分詞 (zerstört) が、順序に関係なく10語以内の距離に現れる文を検索する場合、「NEAR()」の括弧の中に「二語と10」をコンマで区切って入れる。
受動文を作る助動詞 (werden) の変化形が現れる文で、かつ、任意の動詞の過去分詞が現れる文を検索する場合、過去分詞の略語「\$p=VVPP」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
使役助動詞 (lassen) の変化形が現れる文で、かつ、ある動詞 (kommen) の不定形が現れる文を検索する場合、不定詞の略語「\$p=VVINF」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
使役助動詞 (lassen) の変化形とある動詞 (kommen) の不定形が、指定の順序で10語以内の距離に現れる文を検索する場合、二語を「"」で囲み、二語の間に「#10」を入れる。
使役助動詞 (lassen) の変化形とある動詞 (kommen) の不定形が、順序に関係なく10語以内の距離に現れる文を検索する場合、「NEAR()」の括弧の中に「二語と10」をコンマで区切って入れる。
使役助動詞 (lassen) の変化形が現れる文で、かつ、任意の動詞の不定詞が現れる文を検索する場合、不定詞の略語「\$p=VVINF」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
ある動詞 (beginnen) の変化形が現れる文で、かつ、任意の動詞の不定詞の前にzuが現れる文を検索する場合、不定詞の前のzuの略語「\$p=PTKZU」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
ある動詞 (beginnen) の変化形と任意の動詞の不定詞の前にzuが、指定の順序で10語以内に現れる文を検索する場合、二語を「"」で囲み、二語の間に「#10」を入れる。
ある基礎動詞 (fordern) の変化形と前つづり (heraus) の二語が (順番に関係なく) 現れる文を検索する場合、二語の間に「&&」を入れる。
ある基礎動詞 (fordern) の変化形と前つづり (heraus) が、提示した順番で、10語以内に現れる文を検索する場合、二語の間に「#10」を入れる。
ある分離動詞 (herausfordern) の変化形と、ある基礎動詞 (fordern) の変化形と前つづり (heraus) の二語の組合せのいずれかが現れる文を検索する場合、二者の間に「  」を入れる。
ある分離動詞 (herausfordern) の変化形と、ある基礎動詞 (fordern) の変化形と前つづり (heraus) が10語以内に現れる組合せのいずれかが現れる文を検索する場合、二者の間に「  」を入れる。

特定の変化形 (Herzens) のみを検索する場合、その形の前に「@」をつける。
名詞 (Herz) について変化形 (Herz, Herzen, Herzensなど) も含めて検索する場合、不定形あるいは1つの変化形を入力する。
接尾辞 (heit) を持つ語を検索する場合、接尾辞以外の任意の文字列は「*」で表す。
普通名詞のKohlを検索する場合、普通名詞の品詞タグ「\$p=NN」を用いる。
固有名詞のKohlを検索する場合、固有名詞の品詞タグ「\$p=NE」を用いる。
「mann」で終わる普通名詞を検索する場合、普通名詞の品詞タグ「\$p=NN」を用い、任意の文字列は「*」で表す。
「mann」で終わる固有名詞を検索する場合、固有名詞の品詞タグ「\$p=NE」を用い、任意の文字列は「*」で表す。
特定の二語 (定冠詞dieあるいはdasと名詞Email) が現れる文を検索する場合、「"」で囲み、特定の語形の前後には「@」をつける。
冠詞 (定冠詞あるいは不定冠詞) と名詞 (Email) の変化形の組合せが現れる文を検索する場合、冠詞タグ「\$p=ART」を用いる。

B2.3 付加語的形容詞と名詞	"schön with \$p=ADJA Wetter"
	"\$p=ADJA Wetter"
B2.4 述語的形容詞と名詞	Wetter && schön with \$p=ADJD
	Wetter && \$p=ADJD
B2.5 形容詞つき名詞と動詞	"schöne #2 Augen" && machen
	"\$p=ADJA #2 Augen" && machen
B2.6 名詞と前置詞	"Eintrittskarte für das"
	"Eintrittskarte für \$p=ART"

### B3 代名詞

B3.1 代名詞単独	@mich
	@mich with \$p=PPER
	@mich with \$p=PRF
	damit with \$p=PAV
B3.2 所有代名詞（所有冠詞）と名詞	"\$p=PPOSAT Kind"
B3.3 再帰代名詞と動詞	\$p=PRF && freuen
B3.3 再帰代名詞と動詞と前置詞	\$p=PRF && freuen && über \$p=APPR
B3.4 副詞的關係代名詞と動詞	"wo with \$p=PWAV #10 wohnen"

### B4 副詞（形容詞述語の用法）

B4.1 副詞単独	@bald
	denn with \$p=ADV
	schnell with \$p=ADJD

付加語的形容詞 (schön) の変化形とある名詞 (Wetter) の変化形の組合せを検索する場合、付加語的形容詞の略語「\$p=ADJA」と用い、二語を「"」で囲む。
任意の付加語的形容詞とある名詞 (Wetter) の組合せを検索する場合、付加語的形容詞の品詞タグ「\$p=ADJA」を用い、二者を「"」で囲む。
名詞 (Wetter) と述語的形容詞 (schön) の共起を検索する場合、述語的形容詞の略語「\$p=ADJD」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
名詞 (Wetter) と任意の述語的形容詞の共起を検索する場合、述語的形容詞の略語「\$p=ADJD」を用い、二語の間に「&&」を入れる。
形容詞 (schöne) つきの名詞 (Augen) と動詞 (machen) の共起を検索する場合、形容詞から名詞が2語以内とするには「#2」を二語の間に入れ、この形容詞つき名詞と動詞の変化形が同じ文とするにはその間に「&&」を入れる。
任意の付加語的形容詞とある名詞 (Augen) と動詞 (machen) の共起を検索する場合、付加語的形容詞の略語「\$p=ADJA」を用い、形容詞から名詞が2語以内とするには「#2」を二語の間に入れ、この形容詞つき名詞と動詞の変化形が同じ文とするにはその間に「&&」を入れる。
「&Eintrittskarte des」などと比較して、定冠詞と隣り合う前置詞の有無を検索する場合、任意の定冠詞 (das, des) のいずれかを入れれば、他の定冠詞も含めて検索できる。
定冠詞と不定冠詞を含めて検索する場合、冠詞の略語「\$p=ART」を用いる。

特定の語形を検索する場合、その語形の前に「@」を入力する。
人称代名詞として用いられるある語 (mich) が現れる文を検索する場合、(非再帰的用法の) 人称代名詞の略語「\$p=PPER」を用いる。
再帰代名詞として用いられるある語 (mich) が現れる文を検索する場合、再帰代名詞の略語「\$p=PRF」を用いる。
代名詞的副詞として用いられるある語 (damit) を検索する場合、代名詞的副詞の略語「\$p=PAV」を用いる。
任意の所有冠詞 (mein, deineなど) の変化形とある名詞 (Kind) の変化形が、連続して現れる文を検索する場合、所有冠詞の略語「\$p=PPOSAT」を用い、二者を「"」で囲む。
任意の再帰代名詞 (sich, michなど) がある動詞 (freuen) が現れる文を検索する場合、再帰代名詞の略語「\$p=PRF」を用い、二者の間に「&&」を入れる。
任意の再帰代名詞 (sich, michなど) がある動詞 (freuen) およびある前置詞 (über) と共起する文を検索する場合、再帰代名詞の略語「\$p=PRF」および前置詞の略語「\$p=APPR」を用い、三者の間に「&&」を入れる。
ある副詞的關係代名詞 (wo) とある動詞 (wohnen) が、指定の順序で10語以内に現れる文を検索する場合、副詞的關係代名詞の略語「\$p=PWAV」を用い、二語を「"」で囲み、その間に「#10」を入れる。

特定の語形を検索する場合、その語形の前に「@」を入力する。ただし、副詞の場合は、レンマに対応していないため、[@]を入力しなくても、比較級eherや最上級のam ehestenに拡張されない。
副詞として用いられるdennを検索する場合、副詞の略語「\$p=ADV」をつける。
ある形容詞 (schnell) の述語的用法を検索する場合、形容詞の述語的用法の略語「\$p=ADJD」をつける。

B4.2 二語	"darüber #1 hinaus"
	NEAR(darüber, hinaus,1)
B4.3 副詞と疑問符	"schon \?"
B4.4 副詞と動詞	NEAR(\$p=ADV,wissen,5)

#### B5 前置詞

B5.1 前置詞単独	auf with \$p=APPR
B5.2 後置詞と動詞	nach with \$p=APPO
B5.3 前置詞+冠詞の融合形と名詞	"\$p=APPRART \$p=NN"
B5.4 前置詞と動詞	(wegen with \$p=APPR    wegen with \$p=APPO) && können

#### B6 感嘆詞

B6.1 感嘆詞単独	@ach
	\$p=ITJ
B6.2 感嘆詞と感嘆符号	\$p=ITJ && \!

#### B7 接続詞

B7.1 接続詞単独	@denn
	denn with \$p=KON
	dass
	dass    daß
	damit with \$p=KOUS
B7.2 接続詞と動詞	"wenn with \$p=KOUS #10 @hätte"

ある語 (darüber) から1語以内の距離に、もうひとつの語 (hinaus) が提示した順序で現れる文を検索する場合、二語の間に「#1」を入れ、それを「"」で囲む。
ある語 (darüber) ともう1つの語 (hinaus) が、順序に関係なく1語以内の距離に現れる文を検索する場合、「NEAR()」の括弧の中に「二語と10」をコンマで区切って入れる。
副詞 (schon) で終わる疑問文を検索する場合、疑問符の前に「\」を入力する。
任意の副詞とある動詞 (wissen) が、順序に関係なく5語以内に現れる文を検索する場合、副詞の略語「\$p=ADV」を用い、「NEAR()」の括弧の中に「二語と5」をコンマで区切って入れる。

ある前置詞 (auf) が現れる文を検索する場合、前置詞の略語「\$p=APPR」を用いる。そうすることによって、基礎動詞と離れている前つづり auf が現れる文を取り除くことができる。
ある後置詞 (nach) が現れる文を検索する場合、後置詞の略語「\$p=APPO」を用いる。そうすることによって、前置詞として用いられている nach の文を取り除くことができる。
任意の前置詞+冠詞の融合形と任意の普通名詞が連続して現れる文を検索する場合、前置詞+冠詞の融合形の略語「\$p=APPRART」と普通名詞の略語「\$p=NN」を用い、二者を「"」で囲む。
前置詞 wegen あるいは後置詞 wegen と動詞 können の変化形が現れる文を検索する場合は、前置詞の略語「\$p=APPR」と後置詞の略語「\$p=APPO」の間に「  」を入れ、動詞との間には「&&」を入れる。

特定の感嘆詞が現れる文を検索する場合、その語の前に「@」を入力する。
感嘆詞が現れるすべての文を検索する場合は、感嘆詞の略語「\$p=ITJ」を用いる。
任意の感嘆詞と感嘆符号が現れる文を検索する場合、感嘆詞の略語「\$p=ITJ」を用い、!の前には「\」を入れ、二者の間に「&&」を入れる。

特定の語形を検索する場合、その語形の前に「@」を入力する。ただし、接続詞の場合、語形変化しないため、「@」の有無にかかわらず結果は同じである。なお、denn の場合、同形で副詞としても接続詞としても用いられるため、必要に応じて両者を区別する必要がある。
接続詞として用いられる denn を検索する場合、接続詞の略語「\$p=KON」をつける。
新正書法の形 (dass) を検索する場合は、その語形のみあるいはその前に「@」を入力する。
新旧正書法の両方 (dass あるいは daß) の形を検索する場合は、二語の間に「  」を入れる。
接続詞として用いられるある語 (damit) を検索する場合、接続詞の略語「\$p=KOUS」を用いる。
接続詞 (wenn) とある動詞の特定の語形 (hätte) が、指定の順序で10語以内に現れる文を検索する場合、接続詞の略語「\$p=KOUS」を用い、特定の語形の前には「@」を入れ、二者の間に「#10」を入れて全体を「"」で囲む。



## 巻末付録：主なドイツ語コーパス・コーパスに基づく辞書

### 【書き言葉と話し言葉の両方を含むコーパス】

IDS-Korpora	<a href="http://www.ids-mannheim.de/service/">http://www.ids-mannheim.de/service/</a>
DWDS-Corpus	<a href="http://www.dwds.de/">http://www.dwds.de/</a>
DeWaC	<a href="http://www.sketchengine.co.uk">http://www.sketchengine.co.uk</a>

### 【書き言葉コーパス】

Limas-Korpus	<a href="http://www.ikp.uni-bonn.de/Limas/index.htm">http://www.ikp.uni-bonn.de/Limas/index.htm</a>
Tiger Project	<a href="http://www.ims.uni-stuttgart.de/projekte/TIGER/">http://www.ims.uni-stuttgart.de/projekte/TIGER/</a>
Negra Korpus	<a href="http://www.coli.uni-sb.de/sfb378/negra-corpus/negra-corpus.html">http://www.coli.uni-sb.de/sfb378/negra-corpus/negra-corpus.html</a>
Schweizer Textkorpus	<a href="http://www.dwds.ch/">http://www.dwds.ch/</a>

### 【話し言葉コーパス】

Bayerisches Archiv für Sprachsignale	<a href="http://www.phonetik.uni-muenchen.de/Bas/BasHomedeu.html">http://www.phonetik.uni-muenchen.de/Bas/BasHomedeu.html</a>
Kiel Corpus	<a href="http://www.ipds.uni-kiel.de/forschung/kielcorpus.de.html">http://www.ipds.uni-kiel.de/forschung/kielcorpus.de.html</a>

### 【文学作品のコーパス】

Gutenbergprojekt	<a href="http://gutenberg.spiegel.de">http://gutenberg.spiegel.de</a>
Austrian literature online	<a href="http://www.literature.at/webinterface/library">http://www.literature.at/webinterface/library</a>

### 【コーパスに基づく辞書】

WAHRIG Die deutsche Rechtschreibung	<a href="http://www.wissenmediaverlag.de/195.0.html">http://www.wissenmediaverlag.de/195.0.html</a>
Deutscher Wortschatz	<a href="http://wortschatz.uni-leipzig.de/">http://wortschatz.uni-leipzig.de/</a>

※ 他のドイツ語コーパスについては、以下の URL のリストを参照。

<http://www.lemnitzer.de/lothar/KoLi/mkap5.html>



## 参考文献

- Beißwenger, Michael (2003) Wörterbücher im Internet. Linguistik imInternet. In: ZGL 31. 2003, 310-316.
- Institut für Deutsche Sprache (2007) Sprachreport Sonderheft März 2007. Auslandskooperationen des Instituts für Deutsche Sprache.  
<http://www.ids-mannheim.de/pub/laufend/sprachreport/pdf/sr07-sonderheft.pdf>
- Lemnitzer, Lothar / Zinsmeister, Heike (2006) *Korpuslinguistik*. Tübingen, Gunter Narr Verlag.
- Lenz, Susanne (2000) *Korpuslinguistik*. (Studienbibliographien Sprachwissenschaft; Bd.32) Tübingen, Gunter Narr Verlag.
- Scherer, Carmen (2006) *Korpuslinguistik: Kruze Einführungen in die Germanistische Linguistik* (Bd. 2). Universitätsverlag Winter Heidelberg.
- Storrer, Angelika (2005) Online-Corpora zur linguistischen Analyse der deutschen Gegenwartssprache. In: *Zeitschrift für Germanistische Linguistik (ZGL)* 33. 145-150.
- 石川慎一郎 (2006) 「言語コーパスからのコロケーション検出の手法－基礎的統計値について－」 In: 『統計数理研究所共同研究レポート』, 190, 1-14.  
<http://iskwshin.googlepages.com/20060328.pdf>
- 齋藤俊雄／中村純作／赤野一郎 (編) (1998) 『英語コーパス言語学－基礎と実践－』 研究社.